

有害サイトフィルタリングソフト

i-フィルタ 5.0®

操作マニュアル

かんたん設定で
見せたくないサイトをブロックする

家庭向け
フィルタリング
シェアNo.1^{*1}

日本PTA
全国協議会
推薦

全国小中高
20,800校
以上導入実績^{*2}



はじめに

ごあいさつ

このたびは、デジタルアーツ株式会社の「i-フィルター 5.0」をお使いいただき、まことにありがとうございます。お使いになる前に、本書をよくお読みの上、正しくお使いください。また、デジタルアーツ株式会社のホームページ(<http://www.daj.jp/>)でも「i-フィルター 5.0」の情報をご提供いたします。本書と合わせてご覧いただくことをお勧めします。



「ZBRAIN」(ジーブレイン)は、デジタルアーツ株式会社が培ってきたデータベース収集技術のノウハウと、特許*を取得した Web フィルタリング方式が結実した、独自のフィルタリングテクノロジーです。

*日本【特許第 3605343 号】、米国、アジア、欧州等世界 27 の国と地域で取得

商標・登録商標

デジタルアーツ / DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター / i-フィルター はデジタルアーツ株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorerは、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

Celeron は、米国およびその他の国におけるインテル コーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。

Adobe、Adobe ロゴ、Adobe PDF ロゴ、および Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他、記載されている会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

注意事項

本書の内容の一部または全部について、無断で複製、複製、転載することは禁止されています。

本ソフトウェア製品をインストール(あらかじめインストールされている場合は「使用」)することで、使用許諾契約に同意したものとします。

アップデート(バージョンアップ)などに伴い、本文中の内容(画像を含む)は、予告なく変更される場合があります。

本文中の画像は、Windows Vistaの画面を使用しています。

お使いの環境によっては、実際の画面と異なる場合があります。

対象サイトがすべてブロックされることを保証するものではありません。

本書の読みかた

本書で使っている絵記号、略語について、説明しています。

■ 絵記号について

本書で使っている絵記号の意味は、以下のとおりです。



注意

- ・機能についての注意事項やお使いになる上の制限を説明しています。



補足

- ・機能についてのメモや便利な使い方を説明しています。

■ 略語について

本書では、以下の略語で表記しています。また、商標、登録商標を省略しています。

- ・「i-フィルター 5.0」を「i-フィルター」と表記しています。
- ・Windows 7 Ultimate、Windows 7 Professional、Windows 7 Home Premium、Windows 7 Starterを Windows 7と表記しています。
- ・Windows Vista Ultimate、Windows Vista Home Premium、Windows Vista Home Basic、Windows Vista Businessを Windows Vistaと表記しています。
- ・Windows XP Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Media Center Edition 2005を Windows XPと表記しています。
- ・Windows 2000 Professionalを Windows 2000と表記しています。

目次

はじめに	ii
ごあいさつ	ii
商標・登録商標	ii
注意事項	ii
本書の読みかた	iii
■ 絵記号について	iii
■ 略語について	iii
1 「i-フィルター」について	1
「i-フィルター」とは	1
フィルターデータについて	2
「i-フィルター」の動作環境について	3
2 「i-フィルター」を使ってみよう	4
「i-フィルター」をインストールする	4
「i-フィルター」を使う	9
設定画面を表示する	9
設定画面のトップページについて	10
フィルターを設定する	11
フィルターをオン/オフする	12
■ 「i-フィルター」をオフにする	12
■ 「i-フィルター」をオンにする	12
かんたんナビゲーションで操作がすぐわかる	13
3 フィルターを設定しよう	14
利用者について	15
「i-フィルター」の利用者とは	15
新しい利用者を作る	15
利用者情報を変える	17
利用者を切り替える	18
■ 「i-フィルター」の設定画面から利用者を切り替える	18
■ 通知領域(タスクトレイ)のアイコンから利用者を切り替える	18
起動時の利用者を選ぶ	19
利用者を削除する	20
フィルタリング設定のいろいろ	21
フィルターの強度を設定する	23
フィルター強度を設定する	23
掲示板・ブログへの書き込みを禁止する	24
ショッピングを禁止する	25
個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する	26
見せて良いサイトを登録する(許可 URL)	27
見せて良いサイトを登録する	27
見せて良いサイトをファイルから読み込む	29
見せて良いサイトをファイルに保存する	30
見せて良いサイトを削除する	31

見せたくないサイトを登録する(禁止 URL)	32
見せたくないサイトを登録する	33
見せたくないサイトをファイルから読み込む	34
見せたくないサイトをファイルに保存する	36
見せたくないサイトを削除する	37
インターネットを使う日時を制限する(インターネットタイマー)	38
インターネットを使う時間帯を制限する	39
インターネットを使う制限時間を設定する	39
その他のフィルターを設定する(詳細設定)	41
個人情報を守る(個人情報保護)	41
■ 守りたい個人情報を追加する	42
■ 守りたい個人情報を変える	43
■ 守りたい個人情報を削除する	45
見せたくないサイトを検索結果に表示させない(検索結果フィルター)	46
見せたくない単語を設定する(単語フィルター)	47
■ 見せたくない単語を伏字にする	47
■ 見せたくない単語を含むサイトをブロックする	48
■ 見せたくない単語を登録する	49
■ 見せたくない単語をファイルから読み込む	51
■ 見せたくない単語をファイルに保存する	53
■ 見せたくない単語を削除する	54
■ 見せたくない単語の設定を無効にする	55
サイトの内容を自動的に判断する(ページスキャンの設定)	56
規制信号のあるサイトを見せたくない(PICS フィルター)	57
ファイルをダウンロードさせない(ダウンロード禁止)	58
■ ダウンロードさせないファイル形式を登録する	59
■ ダウンロードさせないファイル形式をファイルから読み込む	60
■ ダウンロードさせないファイル形式をファイルに保存する	62
■ ダウンロードさせないファイル形式を削除する	63
ブロック画面の設定をする(ブロック画面)	64
■ ブロック画面を選ぶ	66
■ ブロック画面にオリジナルのコメントを設定する	67
登録したサイトだけを見せる(ホワイトリスト)	68
■ ホワイトリストを登録する	69
■ ホワイトリストをファイルから読み込む	71
■ ホワイトリストをファイルに保存する	72
■ ホワイトリストを削除する	74
<hr/>	
4 インターネット利用状況を知ろう	75
どんなカテゴリのサイトを見たかを知る(カテゴリ割合)	75
よく見たサイトのランキングを知る(アクセスサイトランキング)	76
ブロックされたサイトを知る(ブロック履歴一覧)	78
検索に使った単語のランキングを知る(検索単語ランキング)	79
よく使うコミュニティサイトのランキングを知る(書き込み回数ランキング)	80
利用状況を詳しく知る(詳細履歴)	81
詳しい履歴から URL を見せて良いサイトに登録する	82
詳しい履歴から URL を見せたくないサイトに登録する	83
詳しい履歴を CSV ファイルに保存する	85

5 「i-フィルター」を使いこなそう(システム設定)	87
「i-フィルター」を最新の状態にする(データ更新)	87
「i-フィルター」を自動でデータ更新する	87
「i-フィルター」を今すぐ更新する	88
履歴の保存日数を設定する	89
「i-フィルター」設定用の管理パスワードを変える	90
起動に関する表示とプロキシサーバーの設定をする	91
「i-フィルター」の起動に関する設定をする	91
■ 自動的に起動する／しない	91
■ 通知領域(タスクトレイ)にアイコンを表示する／しない	92
■ 起動時にログ画面を表示する／しない	93
プロキシサーバーの設定をする	94
バージョン情報を見る	95
「i-フィルター」を停止／起動する	96
「i-フィルター」を停止する	96
「i-フィルター」を起動する	97
6 その他	99
通知領域(タスクトレイ)のアイコンを使う	99
■ 通知領域(タスクトレイ)のアイコンからできること	99
「i-フィルター」の利用期限について	100
利用期限について.....	100
利用期限を知る	100
利用期限のお知らせ	101
利用期限の継続について	101
利用期限の継続手続きをする.....	102
ヘルプを見る	103
「i-フィルター」をアンインストールする	104
Windows 7、Vista をお使いの場合	104
Windows XP、2000 をお使いの場合	107
付録	111
Q&A	111
困ったときには (インストール)	111
困ったときには (管理パスワード)	111
困ったときには (起動・停止)	112
困ったときには (フィルタリング)	113
困ったときには (警告・表示)	114
教えて! 「i-フィルター」	115
フィルターの 카테고리 一覧	119
お問い合わせ	124
■ お問い合わせの前に	124
■ お問い合わせの際にご用意いただくもの	124

1 「i-フィルター」について

「i-フィルター」の概要について説明しています。

「i-フィルター」とは	1
フィルターデータについて	2
「i-フィルター」の動作環境について	3

「i-フィルター」とは

本製品である「i-フィルター」について説明します。

社団法人日本 PTA 全国協議会も認めたフィルタリングソフト

インターネットの情報をフィルタリングして、子どもに見せたくない情報を遮断し、安心・安全・快適にインターネットを使えるフィルタリングソフト、それが「i-フィルター」です。

「i-フィルター」は、子どもを守るフィルタリングソフトとして高い信頼を受けています。データベースの精度、どなたでも使いやすい操作性、多くの販売実績などから「i-フィルター」は、社団法人日本 PTA全国協議会の推薦をいただいております。2009年3月現在、全国19,200校以上の学校でお使いいただいております。

自由度と信頼性の高いフィルターデータ

「i-フィルター」では、どのように「フィルタリング」するのでしょうか。代表的な例として「見せたくないサイト」として登録してあるフィルターデータを使ってフィルタリングする流れをご紹介します。

- ① お客さまがブラウザ上で見たい URL を指定します。(リンクをクリックする、検索するなど)
- ② 「i-フィルター」は、URL を自動で「i-フィルター」のデータベースに問い合わせます。
- ③ フィルターで制限するよう指定された URL であれば、サイトを表示させません。

フィルタリングしてサイトを表示させなくすることを「ブロックする」と呼びます。

「i-フィルター」では、フィルタリングするために各国の研究成果に基づいたデジタルアーツ株式会社独自の格付け基準(カテゴリ分類)を設けています。そのカテゴリ分類に従って制限をかけたい URL のリストを収集しています。日本では、日本独自のデータ収集を行い、データベースに反映しているのです。数秒、数分の高い頻度で情報が更新されるインターネットで、最新のフィルターデータを入手し、最も適したフィルタリング設定をすることで、安心・安全・快適にインターネットを使えます。

フィルターの詳しい設定方法については【フィルターを設定しよう】(P.14)をご覧ください。

ビジネスや公共の場にも対応

ご家庭で情報の渦から子どもを守る以外に「i-フィルター」はビジネスや公共の場でも力を発揮します。

例えば、社員が就業中に会社のパソコンからアダルトサイトやギャンブルサイト、転職情報などを見るのは好ましくありません。「i-フィルター」を使えば、ビジネスに関係のないサイトをブロックすることができ、さらに情報漏洩対策も行えます。また、公共の場に設置したパソコンで、有害サイトにアクセスされるのも問題です。公共施設のサイトや関連したサイトのみを表示するよう設定すれば、本来の用途以外に使われることはありません。

フィルタリングソフトをお使いの約90%*の方に「i-フィルター」をお選びいただいております。

この実績が皆様に信頼されていることを証明します。

* 2008年 BCNによるフィルタリングソフト販売実績より

フィルターデータについて

インターネットの情報にフィルターをかけるには、フィルターデータを使います。

フィルターデータは、どのように作られているのでしょうか。フィルターデータについて説明します。

毎日更新されるフィルターデータ

見せたくないフィルターデータに登録される URL情報は、精度を重視しています。

毎日、日本語・英語・中国語圏の専任スタッフが、完全目視でフィルターのカテゴリ(分類)を確認して、データベースに登録しています。毎日最新のフィルターデータを手に入れているので、めまぐるしく情報が更新されるインターネットに、最新のフィルターをかけられます。

詳しくは【「i-フィルター」を最新の状態にする(データ更新)】(P.87)をご覧ください。

フィルターもカスタマイズ

フィルターは年齢別に設定できますが、フィルタリングしたいカテゴリ(分類)をひとつひとつ選んで設定し、お好みに応じたフィルターを作ることもできます。その他にも、インターネットを完全に禁止したり、特定の単語を表示させないように設定したり、使える時間帯を制限するなど、さまざまにカスタマイズすることができます。

「i-フィルター」では、細やかに自由度の高いフィルターをかけられます。

詳しくは、【フィルターを設定しよう】(P.14)をご覧ください。

「i-フィルター」の動作環境について

「i-フィルター」を使うために必要な環境について説明します。

「i-フィルター」を使うには、以下の環境が必要です。

コンピューター本体	以下の OS が快適に動作するパソコン	
OS (各日本語版)	Windows 7 Ultimate Windows 7 Professional Windows 7 Home Premium Windows 7 Starter Windows Vista Ultimate Windows Vista Home Premium Windows Vista Home Basic Windows Vista Business	Windows XP Professional (Service Pack 2 以上) Windows XP Home Edition (Service Pack 2 以上) Windows XP Media Center Edition 2005 Windows 2000 Professional (Service Pack 4 以上)
CPU	1GHz 以上のプロセッサ	Celeron 533MHz 以上
メモリ	1GB 以上	256MB 以上
ハードディスク	600MB 以上の空き容量	
ディスプレイ解像度	800 × 600 (SVGA) 以上	
ブラウザ	制限なし (Internet Explorer 推奨) ブラウザーは最新のバージョンを使用してください。	
その他	インターネットに接続できる環境	



注意

- インターネットの設定でプロキシサーバーを設定しているときは「i-フィルター」でもプロキシサーバーの設定を行ってください。詳しくは【プロキシサーバーの設定をする】(P.94) をご覧ください。
- IPv6 環境での運用は、サポートしていません。
- ページスキャンフィルター、単語フィルター、個人情報保護機能は Internet Explorerのみ HTTPS (SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル) に対応しております。
- Windows 7、Windows Vistaは、32bit版と 64bit版に対応しています。

2 「i-フィルター」 を使ってみよう

「i-フィルター」をインストールして、かんたんに使う方法について説明しています。

「i-フィルター」をインストールする	4
「i-フィルター」を使う	9
設定画面を表示する	9
設定画面のトップページについて	10
フィルターを設定する	11
フィルターをオン/オフする	12
かんたんナビゲーションで操作がすぐわかる	13

「i-フィルター」をインストールする

「i-フィルター」を CD-ROM からインストールする方法を説明しています。



・ダウンロードして入手した場合や、パソコンにバンドル(付属)していた場合は、インストール方法が一部異なります。



・インストールするときは、必ず管理者(Administrator) 権限で Windows にログオンしてください。
・必ずインターネットに接続した状態でインストールを行ってください。

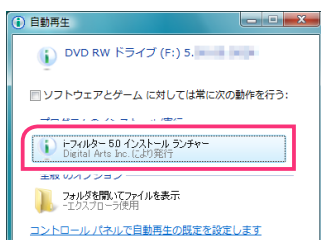
1 ほかのアプリケーションを終了させます。

2 パソコンの CD-ROM ドライブまたは DVD-ROM ドライブに、パッケージに付属の CD-ROM をセットします。



・しばらく待っても手順 3 または手順 4 が表示されない場合は、CD-ROM 内の「if5run.exe」アイコンをダブルクリックしてください。

3 以下の画面が表示された場合は、[i-フィルター 5.0 インストールランチャー] をクリックします。




・Windows XP、Windows 2000 をお使いの場合は、この操作は必要ありません。手順 4 へ進んでください。

4 [かんたんインストール] ボタンをクリックします。





補足

- ・ [詳細インストール] ボタンをクリックすると、インストール先を変えたり、デスクトップに「i-フィルター」のアイコンを表示するかどうかを選べます。通常のインストール先は「C:\Program Files\Digital Arts\iFP5」です。
- ・ [操作マニュアルを見る] ボタンをクリックすると、本操作マニュアルが表示されます。
- ・ 本操作マニュアルをパソコン上で見られない場合は、Adobe Readerというソフトウェアが必要です。
 をクリックして、Adobe Readerをお使いのパソコンにインストールしてください。
- ・ [閉じる] ボタンをクリックすると、インストールを取りやめます。

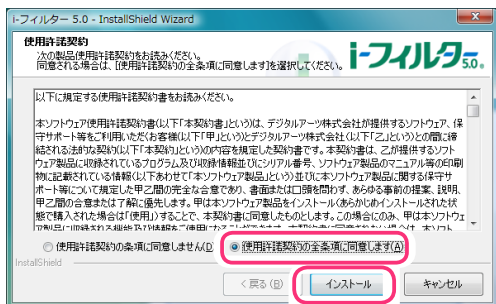
5 「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」というメッセージが表示されたら [続行] ボタンをクリックします。



補足

- ・ Windows XP、Windows 2000の場合は、この操作は必要ありません。手順 6に進んでください。

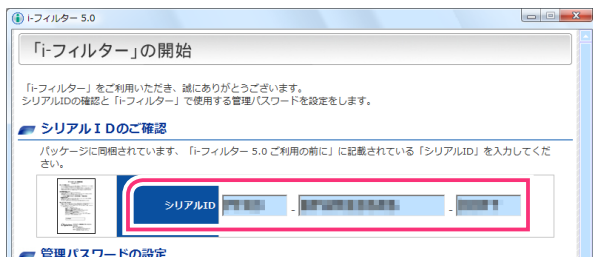
6 [使用許諾契約の全条項に同意します] を選択し [インストール] ボタンをクリックします。



注意

- ・ 使用許諾契約にご同意いただけないと、インストールを続けられません。

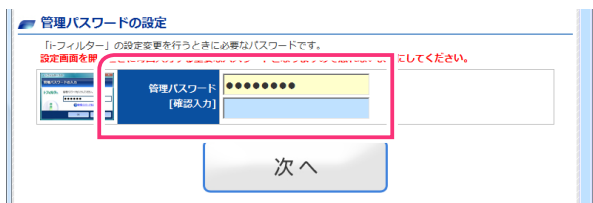
7 [シリアル ID] に、シリアル ID を入力します。 パッケージで購入された場合は付属している『i-フィルター 5.0』ご利用の前に』に記載されています。



補足

- ・ シリアル IDは、半角英字で入力します。

8 [管理パスワード] に設定したい管理パスワードを入力します。



補足

- ・ 管理パスワードとは「i-フィルター」の設定を変えたり、利用状況を見るときに使う大切なパスワードです。ほかの利用者に知られないようなパスワードにしてください。
- ・ 管理パスワードは、15字以内の半角英数字を入力してください。
- ・ 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- ・ 管理パスワードを空欄のままでも設定できますが、セキュリティのため、管理パスワードを設定することをお勧めします。

9 確認のため、設定したい管理パスワードを再度入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

管理パスワードの設定

「i-フィルター」の設定変更を行うときに必要なパスワードです。
設定画面を開くときに毎回入力する重要なパスワードとなりますので忘れないようにしてください。

管理パスワード [確認入力]

次へ



・手順 8と同じ管理パスワードを入力してください。

10 以下のいずれかのボタンをクリックします。

- ・初めて「i-フィルター」を利用する方
→[初めて「i-フィルター」を利用する方] ボタン
- ・以前に「i-フィルター」のお客さま登録をされたことのある方
→[以前のお客さま登録情報を利用する] ボタン

お客さま情報の登録方法を確認

初めて「i-フィルター」をご利用する場合は、お客さま情報の登録が必要となります。
「i-フィルター」にご入力いただきましたお客さまはご自身のボタンをクリックして

初めて「i-フィルター」を利用する方

既に登録いただいているお客さま情報を利用することができます。登録のシリアル

以前のお客さま登録情報を利用する

11 手順 10 でクリックしたボタンによって、次の手順が異なります。該当する手順に従ってください。

- ・初めて「i-フィルター」を利用する方
- ・以前のお客さま登録情報を利用する方 P.8

初めて「i-フィルター」を利用する方

- ① [E-Mailアドレス] と[確認用] に E-Mailアドレスを入力します。

お客さま情報の登録

項目すべてを入力して「確認して確認画面へ」ボタンをクリックしてください。
[E-Mailアドレス] と [確認用] はパスワードや暗号化に必要の機能となります。

E-Mailアドレスの入力

ご登録いただく「E-Mailアドレス」には、デジタルアーチから継続利用のご案内など、重要なお知らせをお送りさせていただきます。

E-Mailアドレス

例: dty@dty.co.jp

[確認用]

※ 半角英数字後に確認のメールをお送りしますので正確にご入力ください。
※ 携帯電話でのメール受信はサイズ制限により全ての内容が受信されない場合がございますのでご注意ください。

- ② [生年月日の設定] [お客さまご利用情報] [お客さま情報の入力] で、お客さまご自身の情報を入力します。

生年月日の設定

生年月日はサポートや各種手続きの際に必要となります。設定後は取り消すことができません。

生年月日

例: 1970年12月24日

※ お子さまによる誤登録防止のため、お客さまの生年月日をお聞かせしております。あらかじめご了承ください。

お客様ご利用情報

登録の種類 個人登録 法人登録

※ 法人の方は[会社名]と[部署名/店舗名]を入力してください。

会社名

例: デジタルアーチ株式会社

部署名/店舗名

例: 情報システム部

お客様情報の入力

ご登録していただく情報は、ご本人さま確認などで利用させていただきます。

お名前

例: 山田太郎

フリガナ

例: ヤマダ タロウ

郵便番号

例: 100-0000

住所

例: 千代田区永田町 2-1-10

電話番号

例: 03-0000-0000

設定項目		設定内容	
生年月日の設定	生年月日	お客さまの生年月日を入力してください。	
お客さまご利用情報	登録の形態	個人登録	個人として登録するときに選びます。
		法人登録	法人として登録するときに選びます。 会社名、部署名を入力してください。
お客さま情報の入力	お名前	お客さまのお名前を入力してください。	
	フリガナ	お客さまのお名前のフリガナを全角カナで入力してください。	
	郵便番号	お客さまの郵便番号を入力してください。	
	住所	お客さまのご住所を入力してください。	
	電話番号	お客さまのお電話番号を半角数字で入力してください。	

- ③ [お預かりする個人情報の取り扱いについて] をクリックして内容をご確認いただき、[同意して確認画面へ] ボタンをクリックします。

配信をご希望されないお客さまは、お手数ですが「希望しない」をお選びください。

メール配信 希望する 希望しない

【ご注意】
※ パソコン・タブレットや継続利用のご案内など、製品機能を維持する上で必要となるお知らせは、情報メール配信の可否にかかわらず、すべてのお客さまに配信させていただいておりますので、あらかじめご了承ください。

「お預かりする個人情報の取り扱いについて」 同意の上、送信内容を確認してください。

同意して確認画面へ



補足

- デジタルアーツ株式会社からの情報メール(メールマガジンなど)の受け取りを希望されない場合は、[メール配信] で[希望しない] を選択してください。[希望しない] を選んだ場合も、重要なお知らせメールはお送りさせていただきます。
- 個人情報保護方針について書かれたページは、ご確認後閉じてください。

- ④ お客さま情報をご確認いただき、[登録する] ボタンをクリックします。

トフィルター 5.0

E-Mailアドレス [REDACTED]

生年月日 [REDACTED]

登録の形態 [REDACTED]

お名前 [REDACTED]

フリガナ [REDACTED]

郵便番号 [REDACTED]

住所 [REDACTED]

電話番号 [REDACTED]

メール配信 希望する

修正する 登録する



補足

- お客さま情報の内容が正しくない場合は、[修正する] ボタンをクリックして、お客さま情報を修正してください。
- 手順 12に進みます。

以前のお客さま登録情報を利用する方

- ① [ご利用中のお客さま情報の入力] で、必要な情報を入力して[確認] ボタンをクリックします。

設定項目	設定内容
シリアル ID	以前に使用していた「i-フィルター」のシリアル ID を半角英数字で入力してください。
E-Mail アドレス	以前に登録した E-Mail アドレスを入力してください。
生年月日	以前に登録したお客さまの生年月日を入力してください。




補足

- ・手順 12に進みます。
- ・[初めてi-フィルター] を利用する方] ボタンをクリックすると、手順 11にもどります。

12 [完了] ボタンをクリックします。





補足

- ・アンケートにご協力いただける場合は[アンケート] ボタンをクリックし、アンケートにお答えください。
- ・登録した E-Mailアドレスに、デジタルアーツ株式会社 サポートセンターからお客さま情報登録完了のお知らせメールが送信されますので、ご確認ください。
「i-フィルター」がインストールされます。通知領域(タスクトレイ)のアイコンに  が表示されます。



補足

- ・通知領域(タスクトレイ)の  は、「i-フィルター」の機能をすぐに呼び出せるので便利です。詳しくは、【通知領域(タスクトレイ)のアイコンを使う】(P.99) をご覧ください。
- ・通知領域(タスクトレイ)の  は、表示させないように設定することもできます。詳しくは【通知領域(タスクトレイ)にアイコンを表示する/しない】(P.92) をご覧ください。

「i-フィルター」を使う

「i-フィルター」の基本的な使い方を説明しています。





設定画面を表示する

「i-フィルター」の設定や利用状況の確認は、設定画面から行います。設定画面の表示方法を説明しています。

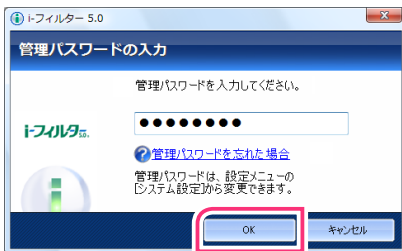
1 通知領域(タスクトレイ)の  をクリックして[設定画面]をクリックします。



補足

- 通知領域(タスクトレイ)の  をダブルクリックしても同様の操作です。
- 通知領域(タスクトレイ)の  は、設定によっては表示されないことがあります。詳しくは【通知領域(タスクトレイ)にアイコンを表示する/しない】(P.92)をご覧ください。また、お客さまの設定により通知領域(タスクトレイ)のアイコンが隠れてしまっている場合があります。
 をクリックし、隠れていたアイコンを表示させてください。
- Windowsのスタートボタンから【すべてのプログラム】(または【プログラム】) →【i-フィルター 5.0】 →【i-フィルター 5.0】 をクリックしても、同様の操作です。
- デスクトップ上の  をダブルクリック(設定によってはシングルクリック)しても同様の操作です。

2 管理パスワードの入力画面で、管理パスワードを入力し [OK] ボタンをクリックします。



補足

- 管理パスワードは、大文字と小文字が区別されます。
- 管理パスワードを忘れてしまった場合は【管理パスワードを忘れた場合】をクリックして、画面の指示に従ってください。詳しくは【困ったときには(管理パスワード)】(P.111)をご覧ください。

設定画面のトップページが表示されます。

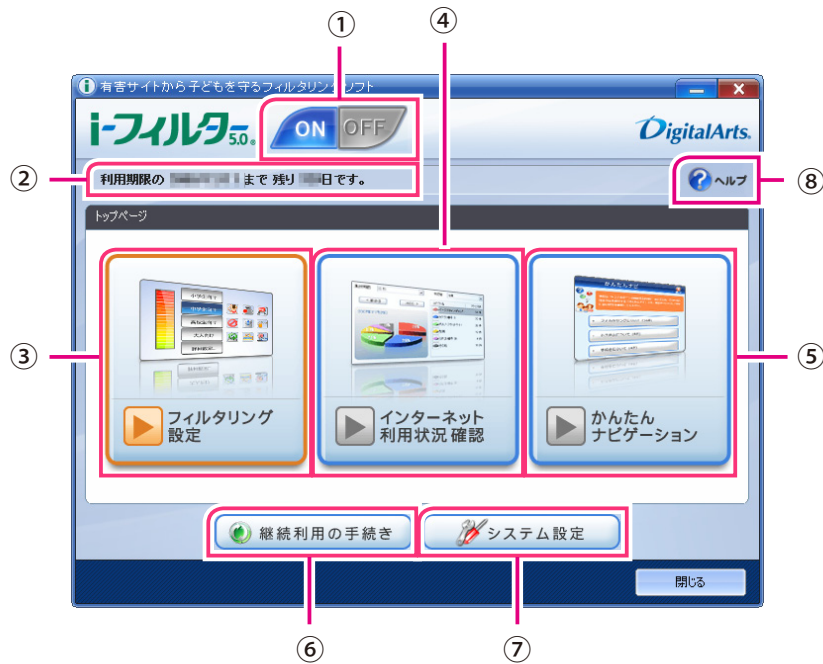


補足

- 設定画面のトップページについて詳しくは【設定画面のトップページについて】(P.10)をご覧ください。

設定画面のトップページについて

設定画面のトップページでは、以下のことが行えます。

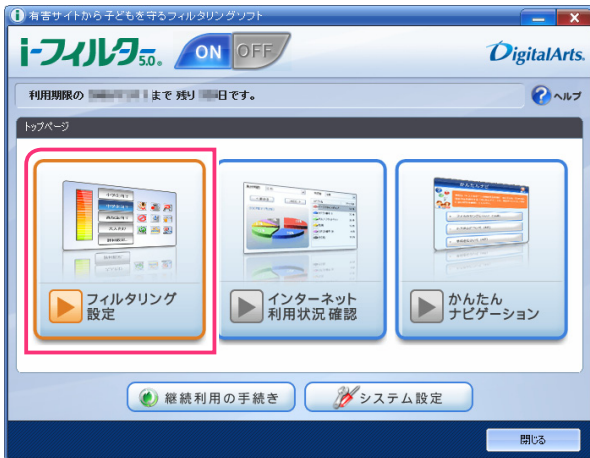


- ① [ON] ボタン[OFF] ボタン
「i-フィルター」の機能をオン／オフにできます。
詳しくは【フィルターをオン／オフする】(P.12) をご覧ください。
- ② 「i-フィルター」の利用期限と残りの日数が表示されます。
- ③ [フィルタリング設定] ボタン
フィルターを設定できます。詳しくは【フィルターを設定しよう】(P.14) をご覧ください。
- ④ [インターネット利用状況確認] ボタン
インターネットの利用状況をグラフやランキングで確認できます。
詳しくは【インターネット利用状況を知ろう】(P.75) をご覧ください。
- ⑤ [かんたんナビゲーション] ボタン
フィルターの設定方法を目的からかんたんに見つけ出せます。
詳しくは【かんたんナビゲーションで操作がすぐわかる】(P.13) をご覧ください。
- ⑥ [継続利用の手続き] ボタン
「i-フィルター」を継続してご利用になるときに使います。
詳しくは【通知領域(タスクトレイ)のアイコンを使う】(P.99) をご覧ください。
- ⑦ [システム設定] ボタン
「i-フィルター」の設定を行います。詳しくは【「i-フィルター」を使いこなそう(システム設定)】(P.87) をご覧ください。
- ⑧ [ヘルプ] ボタン
「i-フィルター」のヘルプを表示します。詳しくは【ヘルプを見る】(P.103) をご覧ください。

フィルターを設定する

かんたんにフィルターを設定する方法を紹介します。初期設定では「ファミリー」という利用者が登録され、「中学生向け」のフィルターが設定されています。「ファミリー」のインターネットへのアクセスは「小学生向け」のフィルターをかけるよう設定を変更する方法を説明しています。

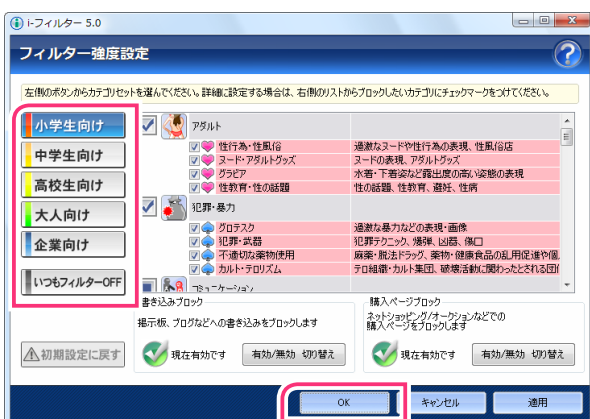
- 1 設定画面のトップページで[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。



- 2 [フィルター強度設定] ボタンをクリックします。



- 3 対象となる年代（例：小学生向け）をクリックして、[OK] ボタンをクリックします。





- ・[小学生向け] 以外にも、次のカテゴリセットを選ぶことができます。

[小学生向け]	お子さまにも安心してインターネットをお使いいただける環境を整えます。 この設定では、ショッピングや懸賞サイト、ウェブメールなどもブロック対象に含まれます。
[中学生向け]	インターネットの便利な面を利用しつつ、刺激の強い内容はブロックします。チャットや掲示板など不特定多数とのコミュニケーションもブロック対象に含まれます
[高校生向け]	情報源としてのインターネットを十分に活用できる環境です。特に刺激の強い内容や、犯罪や暴力、不正 IT 技術に関する内容のほか、SNS や出会いなどのコミュニケーションもブロックされます。
[大人向け]	不正 IT 技術や特に有害な情報やサイトがブロックされます。
[企業向け]	業務外で使われる可能性の高いサイトがブロックされます。業務の種類によって、業務に使われるカテゴリのチェックマークをはずしてください。



- ・フィルターの強度を細かく設定することもできます。詳しくは【フィルター強度を設定する】(P.23)をご覧ください。
- ・[いつもフィルター OFF] ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお楽しみいただけます。詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】(P.26)をご覧ください。
- ・[書き込みブロック] で[有効/無効切り替え] ボタンをクリックし、 有効にします を表示させると、掲示板やブログなどで、情報を発信させないように設定できます。詳しくは【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】(P.24)をご覧ください。
- ・[購入ページブロック] で[有効/無効切り替え] ボタンをクリックし、 有効にします を表示させると、ネットショッピング、オークションなどで購入できないよう設定できます。詳しくは【ショッピングを禁止する】(P.25)をご覧ください。
- ・[初期設定に戻す] ボタンをクリックすると、フィルターの強度設定の各カテゴリセットを初期設定にもどします。

フィルターをオン/オフする

フィルターをかけるには、フィルターをオンにする必要があります。フィルター機能のオン、オフのどちらが設定されているかは、設定画面の上部と通知領域(タスクトレイ)のアイコンにより知ることができます。

- オン(緑色): フィルター機能がオンです。
- オフ(灰色): フィルター機能がオフです。

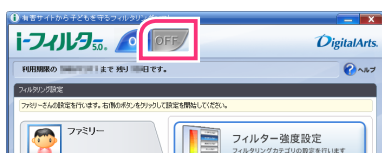
■ 「i-フィルター」をオフにする

「i-フィルター」の機能を一時的に停止させることができます。



- ・いつもフィルター OFFとの違いについては【教えて!「i-フィルター」】の Q26(P.117) をご覧ください。

1 「i-フィルター」の設定画面で、[OFF] ボタンをクリックします。



「i-フィルター」の機能がオフになります。
「i-フィルター」を再起動することで再び[ON] になります。

■ 「i-フィルター」をオンにする

オフ状態の「i-フィルター」の機能を有効にすることができます。

1 「i-フィルター」の設定画面で、[ON] ボタンをクリックします。



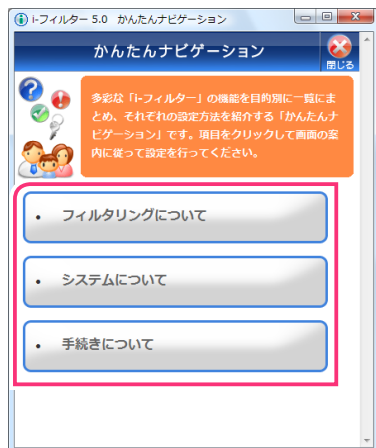
「i-フィルター」の機能がオンになります。

かんたんナビゲーションで操作がすぐわかる

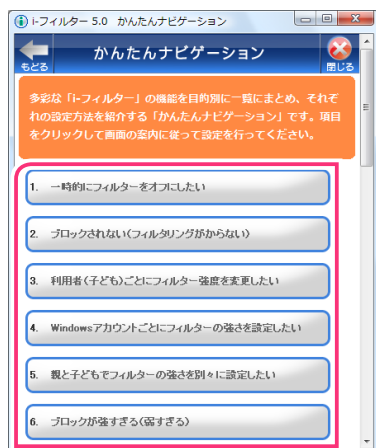
かんたんナビゲーションでは、目的を選ぶだけで「i-フィルター」の使い方をかんたんに探すことができます。かんたんナビゲーションを活用して「i-フィルター」による安心・安全・快適なインターネットをお楽しみください。

1 設定画面のトップページで[かんたんナビゲーション] ボタンをクリックします。

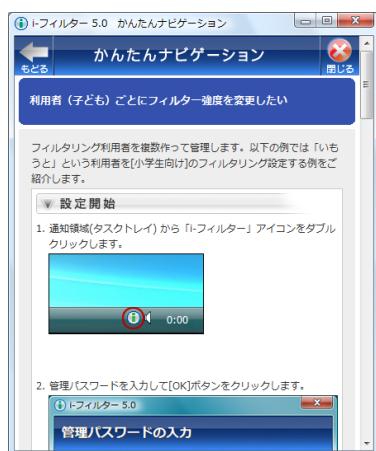
2 知りたい項目を選びます。



3 目的を選びます。



4 知りたい項目を確認します。



補足

- [もどる] ボタンをクリックすると、前の画面にもどります。
- [上へ戻る] をクリックすると、ページの冒頭にもどります。
- [閉じる] ボタンをクリックすると、かんたんナビゲーション画面が閉じます。

3 フィルターを設定しよう

フィルターを設定する方法を説明しています。

利用者について	15
「i-フィルター」の利用者とは	15
新しい利用者を作る	15
利用者情報を変える	17
利用者を切り替える	18
起動時の利用者を選ぶ	19
利用者を削除する	20
フィルタリング設定のいろいろ	21
フィルターの強度を設定する	23
フィルター強度を設定する	23
掲示板・ブログへの書き込みを禁止する	24
ショッピングを禁止する	25
個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する	26
見せて良いサイトを登録する(許可 URL)	27
見せて良いサイトを登録する	27
見せて良いサイトをファイルから読み込む	29
見せて良いサイトをファイルに保存する	30
見せて良いサイトを削除する	31
見せたくないサイトを登録する(禁止 URL)	32
見せたくないサイトを登録する	33
見せたくないサイトをファイルから読み込む	34
見せたくないサイトをファイルに保存する	36
見せたくないサイトを削除する	37
インターネットを使う日時を制限する(インターネットタイマー)	38
インターネットを使う時間帯を制限する	39
インターネットを使う制限時間を設定する	39
その他のフィルターを設定する(詳細設定)	41
個人情報を守る(個人情報保護)	41
見せたくないサイトを検索結果に表示させない(検索結果フィルター)	46
見せたくない単語を設定する(単語フィルター)	47
サイトの内容を自動的に判断する(ページスキャンの設定)	56
規制信号のあるサイトを見せたくない(PICSフィルター)	57
ファイルをダウンロードさせない(ダウンロード禁止)	58
ブロック画面の設定をする(ブロック画面)	64
登録したサイトだけを見せる(ホワイトリスト)	68

利用者について

複数の人が1台のパソコンを使うとき、「i-フィルター」は利用者ごとにインターネットアクセスをフィルタリングできます。

「i-フィルター」の利用者とは

複数の利用者で「i-フィルター」を使う方法を説明しています。

複数の人が同じパソコンで「i-フィルター」を使うには、2つの方法があります。①の「i-フィルター」の利用者を新たに作って、利用者ごとにフィルターを使い分けをお勧めします。Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付ければ、ログオンとともにユーザーアカウントに適したフィルターが自動的にかけられます。

① 複数の利用者を作って、Windowsのユーザーアカウントを使い分ける方法

Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付けることにより、Windowsのログオン時に利用者が切り替わります。この方法で「i-フィルター」を使うには、新たに利用者を作る必要があります。詳しくは【新しい利用者を作る】をご覧ください。

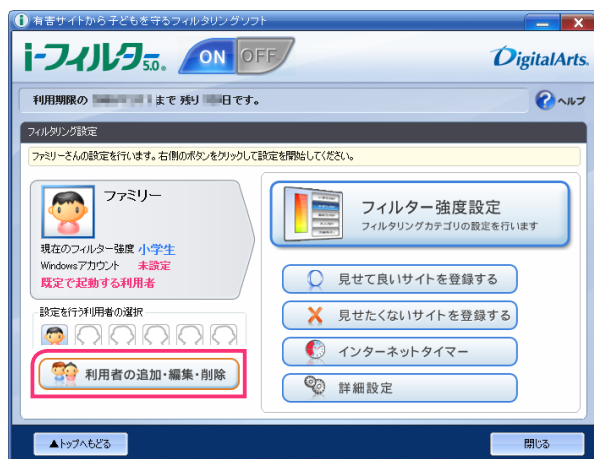
② 複数の利用者を作って、1つのWindowsユーザーアカウントで使う方法

Windows起動時は既定で起動するように設定された利用者で起動されますが、ログオフ／ログオンせずに利用者を切り替えられます。この方法で「i-フィルター」を使うには、新たに利用者を作る必要があります。利用者を作る方法については【新しい利用者を作る】、フィルターをかける利用者を切り替える方法については【利用者を切り替える】(P.18)をご覧ください。

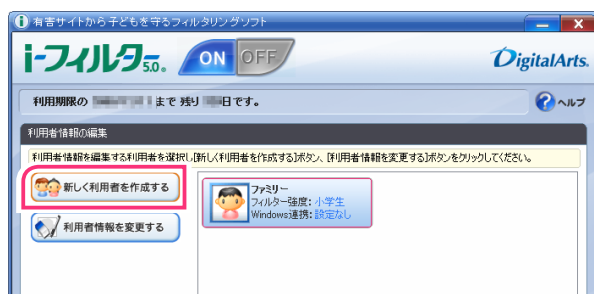
新しい利用者を作る

複数の人にフィルターを使い分けるには、新しい利用者を作ります。利用者は6人まで作れます。後から利用者の情報を変えたり(P.17)、削除する(P.20) こともできます。

- 1 設定画面のトップページで[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [利用者の追加・編集・削除] ボタンをクリックします。



- 3 [新しく利用者を作成する] ボタンをクリックします。



4 利用者情報の編集ページで、利用者の情報を設定し「次へ」ボタンをクリックします。

設定項目	設定内容
アイコン	[▼] をクリックし、利用者の目印となるアイコンを選びます。 ※ 12 種類から選べます。
名前	利用者の名前を入力します。 ※ほかの利用者とは異なる名前を入力してください。 ※全角半角を問わず、20 字以内で入力してください。
生年月日（西暦）	利用者の生年月日を入力します。 ※年は半角数字で西暦を入力してください。
関連付ける Windows アカウント	Windows のユーザーアカウントと「i- フィルター」の利用者を関連付けるときに設定します。[▼]をクリックし、関連付けたいWindows ユーザーアカウントを選びます。Windows のユーザーアカウントと「i- フィルター」の利用者を関連付けない場合は、「< 関連付けを行わない >」を選びます。

5 利用者に応用するフィルターを設定し「登録」ボタンをクリックします。

- 補足
- ・手順4で設定した生年月日を元に、最適と考えられるフィルターが適用されます。
 - ・カテゴリセットのフィルター強度設定については【フィルターを設定する】(P.11)をご覧ください。
- 新しい利用者が登録されます。

利用者情報を変える

利用者の情報を変えることができます。

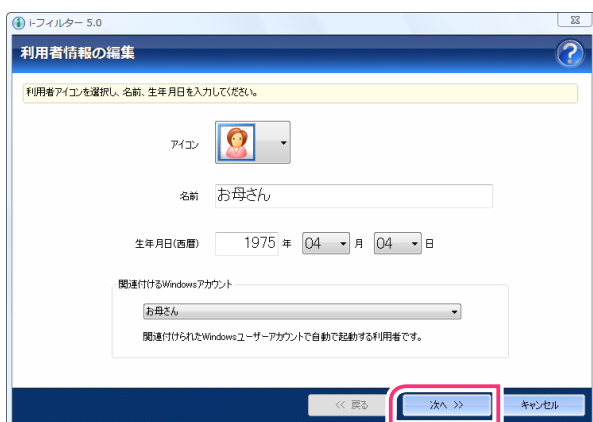
- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [利用者の追加・編集・削除] ボタンをクリックします。



- 3 情報を変えたい利用者をクリックし [利用者情報を変更する] ボタンをクリックします。



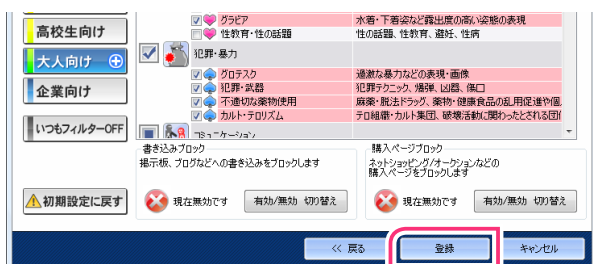
- 4 必要に応じて利用者情報を変えて [次へ] ボタンをクリックします。



補足

・利用者情報の内容については【新しい利用者を作る】(P.15) の手順 4をご覧ください。

- 5 必要に応じてフィルターを設定し、[登録] ボタンをクリックします。



補足

・カテゴリセットのフィルター強度設定については【フィルターを設定する】(P.11) をご覧ください。

利用者情報が変わります。

3

フィルターを設定しよう

利用者を切り替える

複数の利用で「i-フィルター」を使っている場合は、利用者を切り替えてフィルターをかけられます。例えば、大人がパソコンでインターネットを使っているときに小学生の子どもが使いたがった場合、利用者を子ども用に切り替えれば、Windowsのユーザーアカウントを切り替えなくても一時的に子ども用のフィルターをすばやくかけられます。

■ 「i-フィルター」の設定画面から利用者を切り替える


「i-フィルター」の設定画面から利用者を切り替える方法を説明しています。

- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [設定を行う利用者の選択] で、フィルターを使う利用者をクリックします。

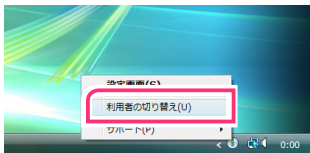


フィルターを使う利用者が切り替わります。

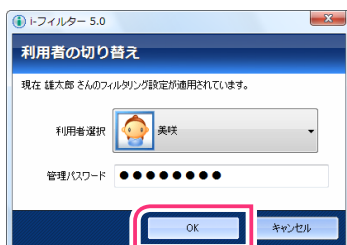
■ 通知領域(タスクトレイ)のアイコンから利用者を切り替える

通知領域(タスクトレイ)の  から利用者を切り替える方法を説明しています。

- 1 通知領域(タスクトレイ)の  をクリックし、[利用者の切り替え] をクリックします。



- 2 [利用者選択] で [▼] をクリックして、フィルターを使う利用者を選び、[管理パスワード] に管理パスワードを入力して [OK] ボタンをクリックします。



・[管理パスワード] は、大文字・小文字が区別されます。

補足

フィルターを使う利用者が切り替わります。

起動時の利用者を選ぶ

「i-フィルター」起動時の利用者を選びます。この利用者を「既定で起動する利用者」と呼びます。既定で起動する利用者は、フィルタリング設定画面で「既定で起動する利用者」と赤字で表示されます。また、利用者の選択画面では、赤い枠で囲まれて表示されます。次回「i-フィルター」起動時は、既定で起動する利用者のフィルターがかかります。



・Windowsのユーザーアカウントと「i-フィルター」の利用者を関連付けている場合は、この設定は適用されません。

- 1 設定画面のトップページで「フィルタリング設定」ボタンをクリックします。
- 2 「利用者の追加・編集・削除」ボタンをクリックします。



- 3 「i-フィルター」起動時の利用者をクリックし「設定」ボタンをクリックします。



利用者が赤い枠で囲まれて表示されます。

3

フィルターを設定しよう

利用者を削除する

利用者を削除することができます。ただし「i-フィルター」に最初から登録されている「ファミリー」（名前は変更されます）を削除することはできません。



- ・一度削除した利用者を元にもどすことはできません。

注意

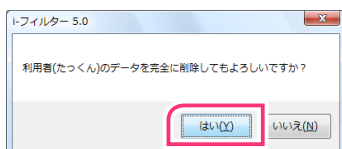
- 1 設定画面のトップページで、「フィルタリング設定」ボタンをクリックします。
- 2 「利用者の追加・編集・削除」ボタンをクリックします。



- 3 削除したい利用者をクリックし「削除する」ボタンをクリックします。



- 4 「はい」ボタンをクリックします。



補足

- ・現在フィルターを使っている利用者を削除すると「i-フィルター」に最初から登録されている「ファミリー」（名前は変更されます）のフィルタリング設定が適用されます。
- ・「既定で起動する利用者」に設定されている利用者を削除すると「i-フィルター」に最初から登録されている「ファミリー」（名前は変更されます）が既定で起動する利用者」を関連付けられます。

利用者が削除されます。



フィルタリング設定のいろいろ

フィルタリング設定はさまざまな方法があります。フィルタリングの方法について説明します。フィルタリングの方法は、大きく分けて6つあります。各方法の複数の機能を併用することで、さらに高い精度のフィルター環境を得られます。環境やポリシーに応じたフィルタリング方法をお使いください。フィルターがかかる優先順位については【教えて!「i-フィルター」】のQ19(P.115)をご覧ください。

① サイトをブロックする方法

・ フィルター強度

カテゴリによって見せたくないサイトをブロックできます。カテゴリセットの設定を選ぶことで、年代にあったカテゴリに該当するページがブロックされます。

詳しくは【フィルターを設定する】(P.11)【フィルター強度を設定する】(P.23)をご覧ください。

・ 見せたくないサイト(禁止 URL)

見せたくないサイトをブロックします。URLを登録することで独自の見せたくない(禁止 URL) リストを作ることができます。詳しくは【見せたくないサイトを設定する(禁止 URL)】(P.32)をご覧ください。

・ ページスキャン

「i-フィルター」のURLデータベースに登録されていないサイトを独自のフィルタリングエンジンでチェックします。詳しくは【サイトの内容を自動的に判断する(ページスキャンの設定)】(P.56)をご覧ください。

・ 見せたくない単語(単語フィルター)

指定したサイト内で、登録した単語を探して該当する単語があったサイトをブロックしたり、伏字にすることができます。詳しくは、【見せたくない単語を設定する(単語フィルター)】(P.47)をご覧ください。

・ PICSフィルター

PICSとは、ホームページを作った人が自分のコンテンツに規制信号(PICSラベル)を付加することで、受信者がアクセスするかどうかを選べるという機能です。PICSフィルターを使った場合は、アクセス先のサイトにPICSラベルがあるかどうかを読み取って、PICSラベルがあるサイトをブロックします。

詳しくは【規制信号のあるサイトを見せたくない(PICSフィルター)】(P.57)をご覧ください。

・ 検索結果フィルター

検索サイトで検索した結果に、ブロック対象サイトを表示させなくできます。

詳しくは【見せたくないサイトを検索結果に表示させない(検索結果フィルター)】(P.46)をご覧ください。

② 表示を許可する方法

・ 見せて良いサイト(許可 URL)

見ても良い URLを見せて良いサイトに登録することで「i-フィルター」のデータベースでブロックされていても、登録したサイトを見られます。詳しくは【見せて良いサイトを設定する(許可 URL)】(P.27)をご覧ください。

・ いつもフィルター OFF

すべてのサイトを見ることができます。ただし、インターネットタイマー、個人情報保護機能は有効にできます。

詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】(P.26)をご覧ください。

③ 情報発信をブロックする方法

・ 個人情報の保護

個人名や住所、クレジットカード番号などを登録しておく、掲示板や送信フォームから個人情報を送信しようとしたときに送信をブロックします。詳しくは【個人情報を守る(個人情報保護)】(P.41)をご覧ください。

・ 書き込みの禁止

掲示板やブログ、SNSやチャットなどから、トラブルが起こったり、個人情報が漏れたりすることもあります。

コミュニケーションカテゴリ(Webメール、ホスティングを除く)に属するサイトでの情報発信を禁止することができます。

詳しくは【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】(P.24)をご覧ください。

- **ショッピングの禁止**

子どもが通販サイトやオンラインゲームサイトなどで、親のクレジットカードを使った買い物をするといったトラブルも相次いで報告されています。ショッピングカテゴリや金融・経済カテゴリ(投資情報、不動産を除く)に属するサイトでの情報発信を禁止することができます。

詳しくは【ショッピングを禁止する】(P.25)をご覧ください。

④ **表示を制限する方法**

- **ホワイトリスト**

URLを登録することで、登録したサイトだけを表示させます。ホワイトリストを使うと、フィルター強度設定、見せて良いサイト、見せたくないサイト、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICSフィルター、ダウンロード禁止は無視されます。

詳しくは【登録したサイトだけを見せる(ホワイトリスト)】(P.68)をご覧ください。

⑤ **インターネットアクセスを制限する方法**

- **インターネットアクセスの日時制限(インターネットタイマー)**

インターネットにアクセスできる時間を設定できます。曜日と時間を指定してインターネットを禁止する時間帯、許可する時間帯をそれぞれ設定できます。また、1日の制限時間を設定することもできます。

詳しくは【インターネットを使う日時を制限する(インターネットタイマー)】(P.38)をご覧ください。

⑥ **ファイルのダウンロードを禁止する方法**

- **ダウンロード禁止**

ファイルの拡張子を指定して、該当するファイルのダウンロードを禁止することができます。

詳しくは【ファイルをダウンロードさせない(ダウンロード禁止)】(P.58)をご覧ください。

フィルターの強度を設定する

サイトをブロックするためのフィルター強度（カテゴリ）の設定方法を説明しています。

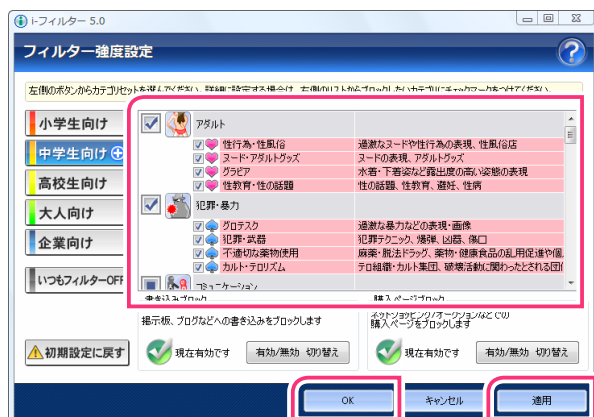
フィルター強度を設定する

フィルター強度（カテゴリ）の設定方法を説明しています。

- 1 設定画面のトップページで[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 フィルターをかける利用者をクリックし [フィルター強度設定] ボタンをクリックします。



- 3 設定したいカテゴリセットをクリックし、必要があればブロックしたいカテゴリにチェックマークを付け、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- カテゴリセットのフィルター強度設定については【フィルターを設定する】(P.11) をご覧ください。
- カテゴリの内容については【フィルターのカテゴリ一覧】(P.119) をご覧ください。
- [いつもフィルター OFF] ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお楽しみいただけます。詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】(P.26) をご覧ください。
- [書き込みブロック] で 有効にします を表示させると、掲示板やブログなどで情報を発信させないように設定できます。詳しくは【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】(P.24) をご覧ください。
- [購入ページブロック] で 有効にします を表示させると、ネットショッピングやオークションなどで購入させないように設定できます。詳しくは【ショッピングを禁止する】(P.25) をご覧ください。
- [初期設定に戻す] ボタンをクリックすると、各カテゴリセットの初期設定にもどします。
- [OK] ボタンをクリックすると、フィルター強度設定画面が閉じます。

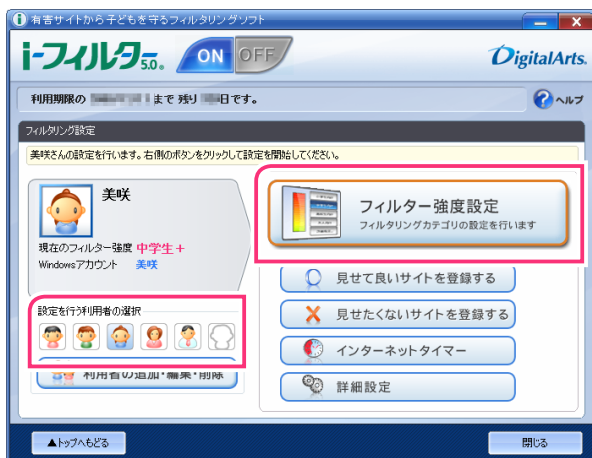
3

フィルターを設定しよう

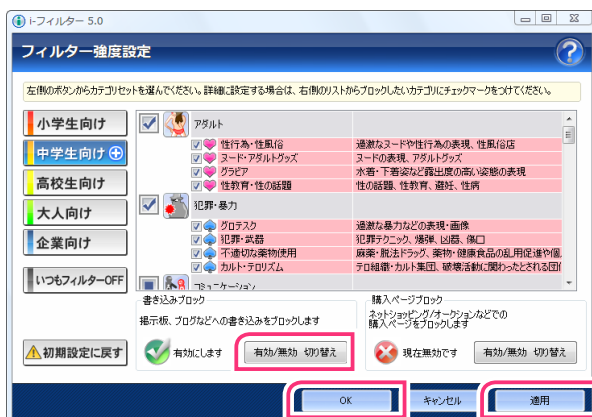
掲示板・ブログへの書き込みを禁止する

掲示板、ブログ、SNS、チャットなど、コミュニケーションカテゴリに属するサイト(Webメール、ホスティングを除く)で、情報の発信をすべてブロックすることができます。

- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 書き込みを禁止する利用者をクリックし [フィルター強度設定] ボタンをクリックします。



- 3 [書き込みブロック] で [有効/無効切り替え] ボタンをクリックして、 有効にします を表示させ、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- 書き込みブロックを無効にしたい場合は、[有効/無効切り替え] ボタンをクリックして、 無効にします を表示させます。
- この画面で、フィルター強度を設定することができます。
詳しくは【フィルター強度を設定する】(P.23)をご覧ください。
- [いつもフィルター OFF] ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお使いいただけます。
詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】(P.26)をご覧ください。
- [初期設定に戻す] ボタンをクリックすると、フィルターの強度設定を初期設定にもどします。
- [OK] ボタンをクリックすると、フィルター強度設定画面が閉じます。

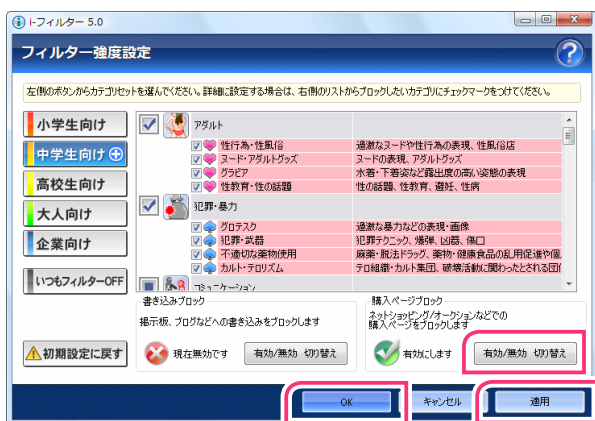
ショッピングを禁止する

ショッピングカテゴリ、または金融・経済カテゴリ（投資情報・不動産を除く）に該当するサイトでの購入操作をブロックすることができます。

- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 ショッピングを禁止する利用者をクリックし [フィルター強度設定] ボタンをクリックします。



- 3 [購入ページブロック] で [有効/無効切り替え] ボタンをクリックして、 有効にします を表示させ、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- 購入ページブロックを無効にしたい場合は [有効/無効切り替え] ボタンをクリックして、 無効にします を表示させます。
- この画面で、フィルター強度を設定することができます。
詳しくは【フィルター強度を設定する】(P.23)をご覧ください。
- [いつもフィルター OFF] ボタンをクリックすると、フィルターをかけずにインターネットをお楽しみいただけます。
詳しくは 個人情報を守りつつインターネットへのアクセスを許可する】(P.26)をご覧ください。
- [初期設定に戻す] ボタンをクリックすると、フィルター強度設定を初期設定にもどします。
- [OK] ボタンをクリックすると、フィルター強度設定画面が閉じます。

3

フィルターを設定しよう

個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する

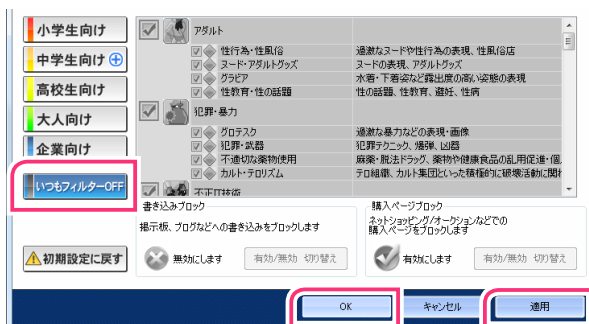
利用者を選んで、すべてのサイトを見ることが許可できます。

いつもフィルター OFF の設定にした場合も、インターネットタイマー、個人情報保護、ブロック画面のフィルター設定は有効です。

- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 すべてのサイトを見ることが許可する利用者をクリックし [フィルター強度設定] ボタンをクリックします。



- 3 [いつもフィルター OFF] ボタンをクリックし [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- [書き込みブロック] で [有効/無効切り替え] ボタンをクリックして、 有効にします を表示させると、掲示板やブログなどで、情報を発信させないように設定できます。詳しくは【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】(P.24) をご覧ください。
- [購入ページブロック] で [有効/無効切り替え] ボタンをクリックして、 有効にします を表示させると、ネットショッピング、オークションなどで購入できないように設定できます。詳しくは【ショッピングを禁止する】(P.25) をご覧ください。
- [初期設定に戻す] ボタンをクリックすると、各カテゴリセットの初期設定にもどします。
- [OK] ボタンをクリックすると、フィルター強度設定画面が閉じます。

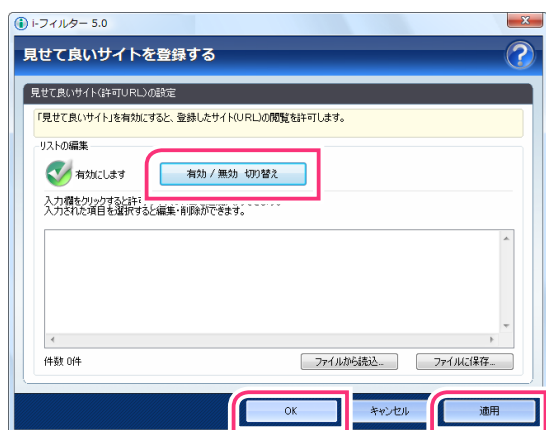
見せて良いサイトを登録する(許可 URL)

ブロックされたサイトを見せて良いサイトとして、アクセスを許可することができます。見せて良いサイトとして登録した URL を「許可 URL」と呼びます。見せて良いサイトのリストはすべての利用者で共有しますが、見せて良いサイト機能の有効/無効は、利用者ごとに適用できます。


- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 見せて良いサイトを有効にする利用者をクリックし [見せて良いサイトを登録する] ボタンをクリックします。



- 3 見せて良いサイトの機能を有効にする場合は [有効/無効 切り替え] ボタンをクリックして、 有効にします を表示させ [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- 見せて良いサイトを無効にしたい場合は [有効/無効 切り替え] ボタンをクリックして、 無効にします を表示させます。
- 入力欄に URL を入力することで、見せて良いサイトを登録できます。
詳しくは【見せて良いサイトを登録する】(P.27) をご覧ください。
- [ファイルから読込] ボタンをクリックすると、見せて良いサイトをファイルから読み込みます。
詳しくは【見せて良いサイトをファイルから読み込む】(P.29) をご覧ください。
- [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、見せて良いサイトをファイルに保存できます。
詳しくは【見せて良いサイトをファイルに保存する】(P.30) をご覧ください。
- [OK] ボタンをクリックすると、見せて良いサイトを登録する画面が閉じます。

見せて良いサイトを登録する

見せて良いサイトを登録する手順を説明しています。

見せて良いサイトは、1件につき半角 500文字以内、1,000件まで登録できます。

- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

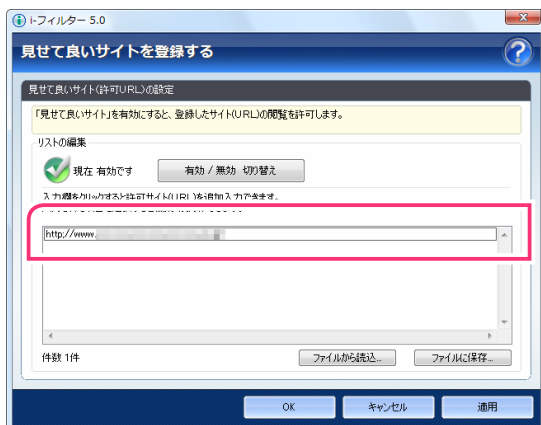
3

フィルターを設定しよう

2 [見せて良いサイトを登録する] ボタンをクリックします。



3 入力欄をクリックし、青く表示された入力欄を再度クリックして、見せて良いサイトの URL を入力します。



注意

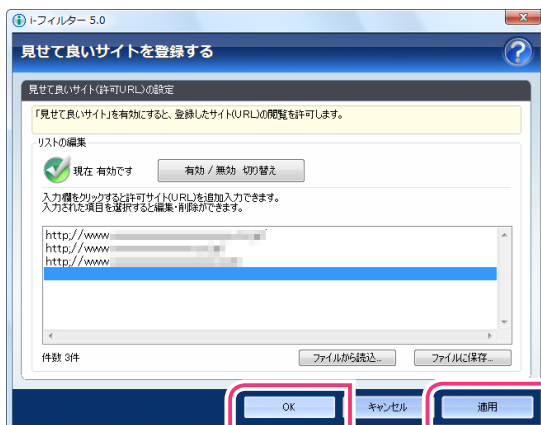
- 見せて良いサイトに登録した URL と部分的に一致する URL を持つサイトはすべて表示されます。例えば「www.daj」と登録すると、http://www.daj.jp/ifilter や http://www.daj.co.jp といったサイトは表示されます。
- 見せて良いサイトとして「http」を登録すると、すべてのサイトが表示されます。これはすべてのサイトで「http」を含むためです。
- 「https」で始まるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URL のホスト名の部分のみを入力してください。例えば https://www.daj.jp/ifilter の場合、www.daj.jp と入力します。



補足

- 1件の URL は、半角 500 文字以内で入力してください。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。

4 必要があれば手順 3 を繰り返し [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



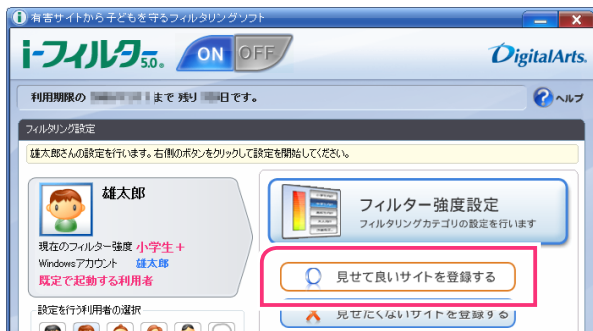
補足

- 1,000 件までの見せて良いサイトを登録できます。
- 登録した URL をクリックすると、URL を変えることができます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき追加した URL は削除されます。
- [OK] ボタンをクリックすると、見せて良いサイトを登録する画面が閉じます。

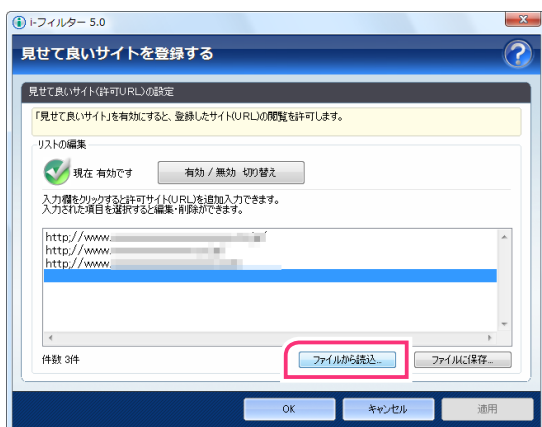
見せて良いサイトをファイルから読み込む

見せて良いサイトのリストをファイルから読み込むことができます。たくさんのサイトを登録するときに便利です。あらかじめ URL のリストがテキスト形式で保存されている必要があります。URL は改行で区切ってください。見せて良いサイトのリストには、1件につき半角 500文字以内、1,000件まで登録できます。

- 1 設定画面のトップページで[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [見せて良いサイトを登録する] ボタンをクリックします。



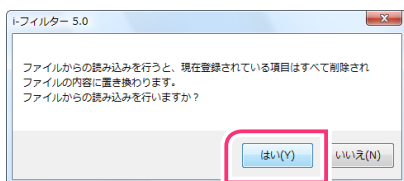
- 3 [ファイルから読込] ボタンをクリックします。



補足

- [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、見せて良いサイトをファイルに保存できます。詳しくは【見せて良いサイトをファイルに保存する】(P.30) をご覧ください。

- 4 以下のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。



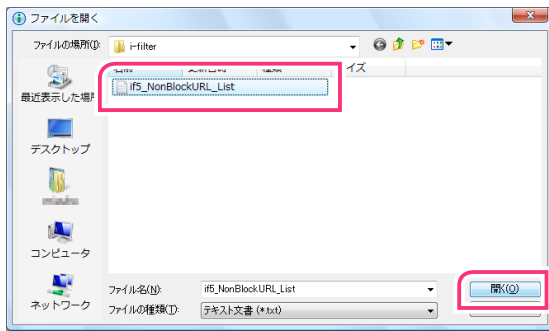
注意

- ファイルからの読み込みを行うと、現在登録されている内容は、すべてファイルの内容に置き換わります。

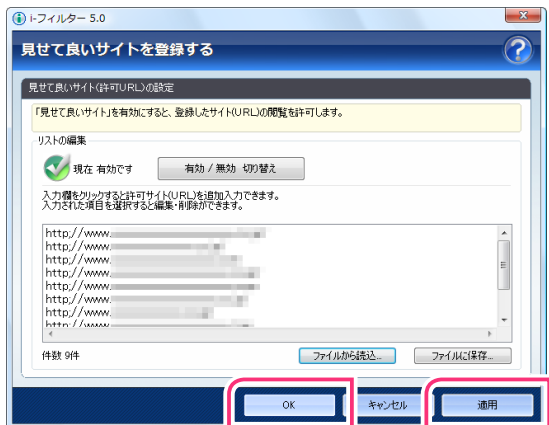
3

フィルターを設定しよう

5 読み込むファイルを指定して、[開く] ボタンをクリックします。



6 [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

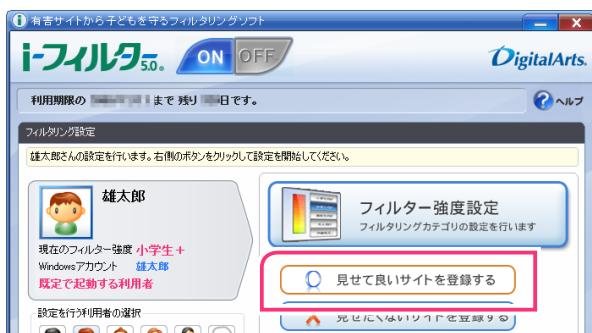
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルから読み込んだリストは適用されず、元の設定にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、見せて良いサイトを登録する画面が閉じます。

見せて良いサイトをファイルに保存する

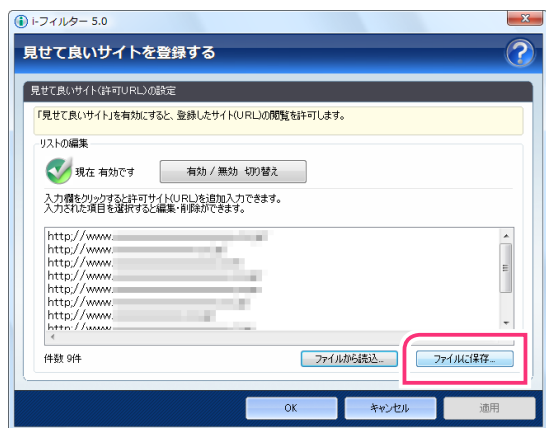
見せて良いサイトのリストをファイルに保存することができます。URLを改行で区切った、テキスト形式で保存されます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 [見せて良いサイトを登録する] ボタンをクリックします。



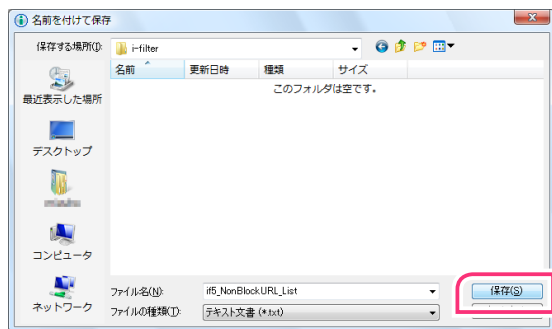
3 [ファイルに保存] ボタンをクリックします。



補足

- ・[ファイルから読み込] ボタンをクリックすると、見せて良いサイトをファイルから読み込みます。詳しくは【見せて良いサイトをファイルから読み込む】(P.29) をご覧ください。

4 保存する場所を指定して、必要があれば [ファイル名] に見せて良いサイトリストのファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



補足

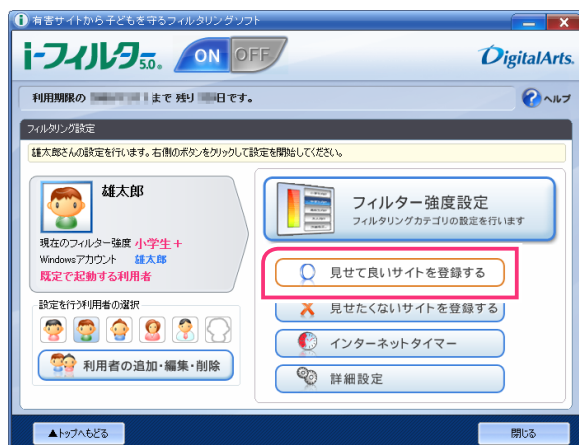
- ・ファイル名を変えない場合は、「if5_NonBlockURL_List.txt」というファイル名で保存されます。

見せて良いサイトのリストがファイルに保存されます。

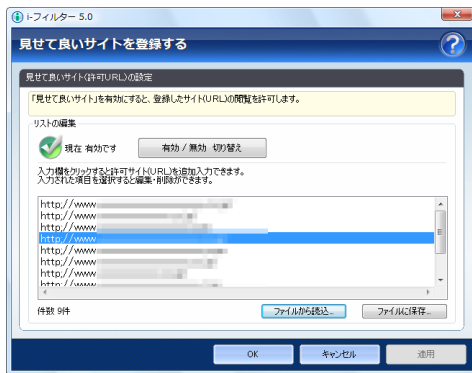
見せて良いサイトを削除する

見せて良いサイトから、サイトを削除する手順を説明しています。

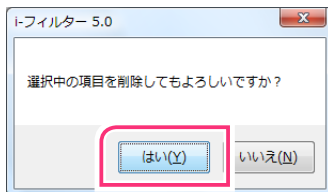
- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [見せて良いサイトを登録する] ボタンをクリックします。



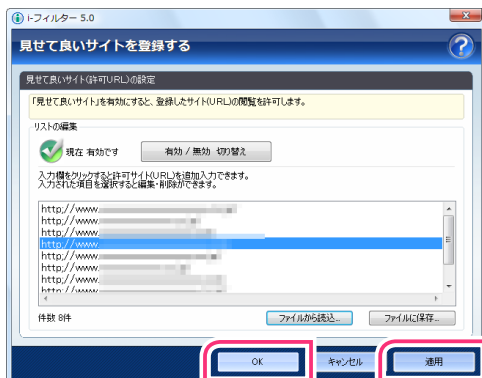
3 削除したい URL を選び、Delete キーを押します。



4 [はい] をクリックします。



5 必要があれば手順 3、4 を繰り返し、[OK] または [適用] ボタンをクリックします。



補足

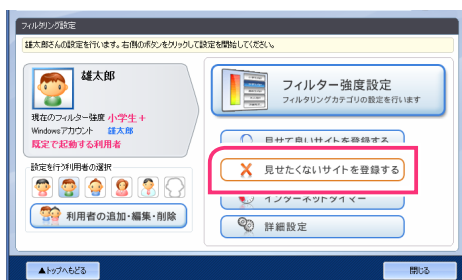
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき削除した URL は元にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、見せて良いサイトを登録する画面が閉じます。


見せたくないサイトを登録する(禁止 URL)

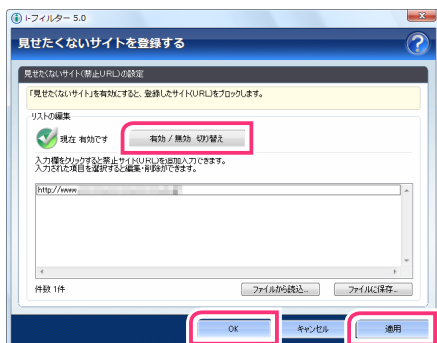
個別にブロックしたいサイトを、見せたくないサイトとしてブロックすることができます。見せたくないサイトとして登録した URL を「禁止 URL」と呼びます。見せたくないサイトのリストはすべての利用者で共用しますが、見せたくないサイト機能の有効/無効は、利用者ごとに適用できます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。


2 見せたくないサイトを有効にする利用者をクリックし、[見せたくないサイトを登録する] ボタンをクリックします。



- 3 見せたくないサイトの機能を有効にする場合は [有効/無効切り替え] ボタンをクリックして、 有効にします を表示させ、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

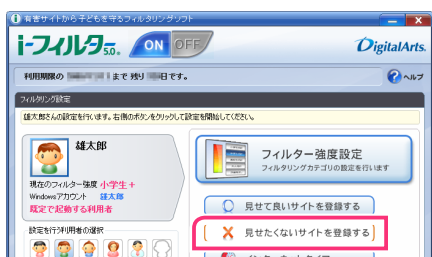
- 見せたくないサイトを無効にしたい場合は、[有効/無効切り替え] ボタンをクリックして、 無効にします を表示させます。
- 入力欄に URL を入力することで、見せたくないサイトを登録できます。詳しくは【見せたくないサイトを登録する】(P.33) をご覧ください。
- [ファイルから読み込] ボタンをクリックすると、見せたくないサイトをファイルから読み込めます。詳しくは【見せたくないサイトをファイルから読み込む】(P.34) をご覧ください。
- [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、見せたくないサイトをファイルに保存できます。詳しくは【見せたくないサイトをファイルに保存する】(P.36) をご覧ください。
- [OK] ボタンをクリックすると、見せたくないサイトを登録する画面が閉じます。

見せたくないサイトを登録する

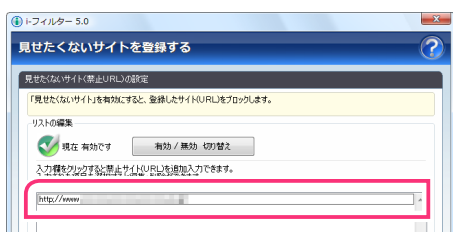
見せたくないサイトを登録する手順を説明しています。

見せたくないサイトは、1件につき半角 500文字以内、1,000件まで登録できます。

- 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- [見せたくないサイトを登録する] ボタンをクリックします。



- 入力欄をクリックし、青く表示された入力欄を再度クリックして、見せたくないサイトの URL を入力します。



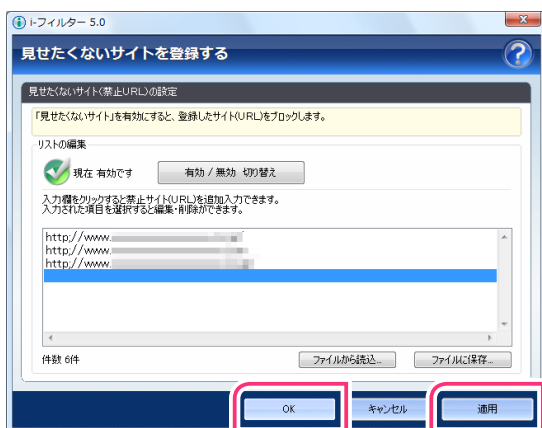
注意

- 見せたくないサイトに登録した URL と部分的に一致する URL を持つサイトはすべてブロックされます。例えば「www.daj」と登録すると、http://www.daj.jp/ifilter や http://www.daj.co.jp といったサイトはブロックされます。
- 見せたくないサイトとして「http」を登録すると、すべてのサイトが表示されなくなります。これはすべてのサイトで「http」を含むためです。
- 「https」で始まるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URL のホスト名の部分のみを入力してください。例えば https://www.daj.jp/ifilter の場合、www.daj.jp と入力します。



- 1件の URL は、半角 500文字以内で入力してください。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。

4 必要があれば手順 3 を繰り返し [OK] または [適用] ボタンをクリックします。



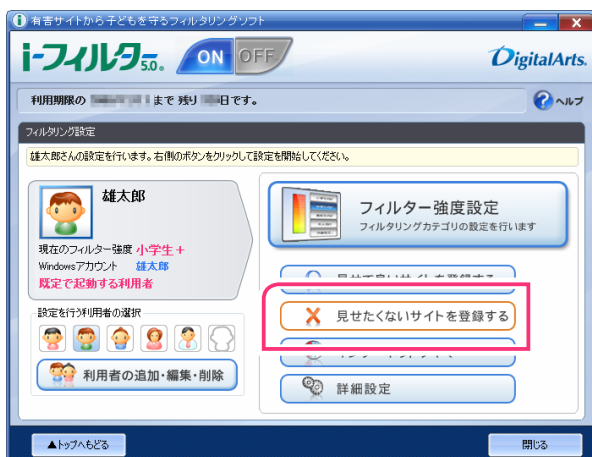
- 1,000件までの見せたくないサイトを登録できます。
- 登録した URL をクリックすると、URL を変更することができます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき追加した URL は削除されます。
- [OK] ボタンをクリックすると、見せたくないサイトを登録する画面が閉じます。

見せたくないサイトをファイルから読み込む

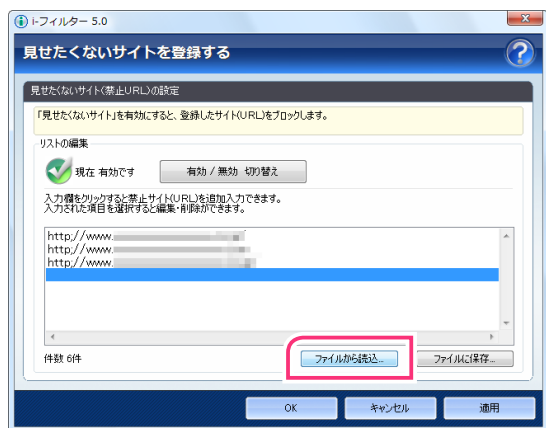
見せたくないサイトのリストをファイルから読み込むことができます。たくさんのサイトを登録するとき便利です。あらかじめ URL のリストがテキスト形式で保存されている必要があります。URL は改行で区切っておいてください。見せたくないサイトのリストには、1件につき半角 500文字以内、1,000件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 [見せたくないサイトを登録する] ボタンをクリックします。



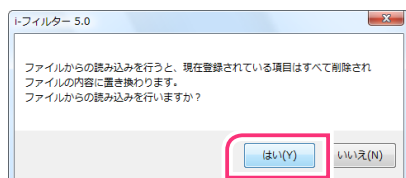
3 [ファイルから読込] ボタンをクリックします。



補足

- ・[ファイルに保存] ボタンをクリックすると、見せたくないサイトをファイルに保存できます。詳しくは【見せたくないサイトをファイルに保存する】(P.36) をご覧ください。

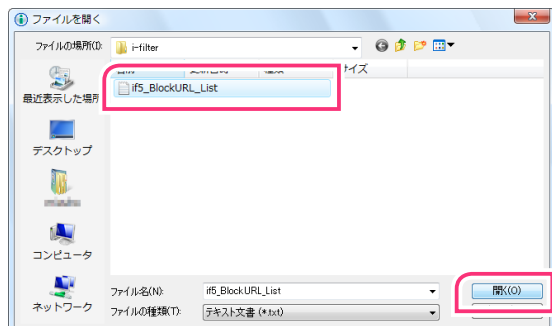
4 以下のメッセージが表示されたら [はい] をクリックします。



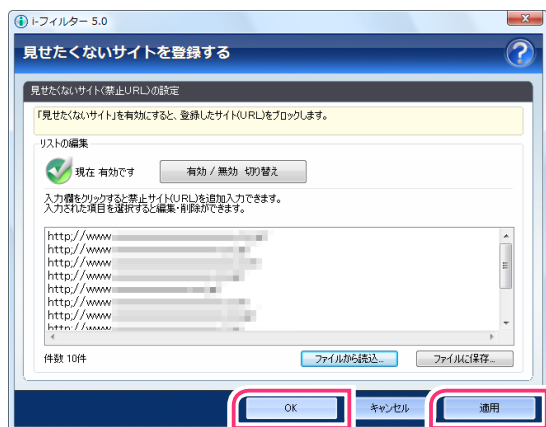
注意

- ・ファイルからの読み込みを行うと、現在登録されている内容は、すべてファイルの内容に置き換わります。

5 読み込むファイルを指定して [開く] ボタンをクリックします。



6 [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



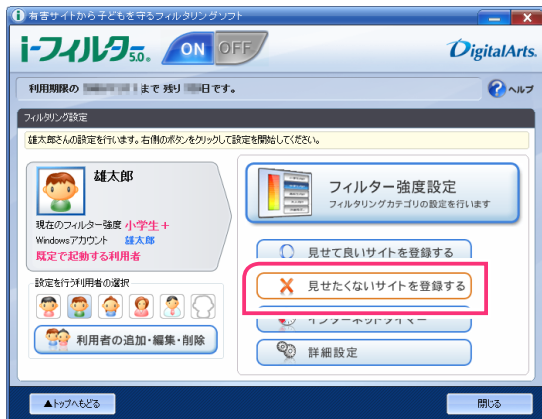
補足

- ・[キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルから読み込んだリストは適用されず、元の設定にもどってしまいます。
- ・[OK] ボタンをクリックすると、見せたくないサイトを登録する画面が閉じます。

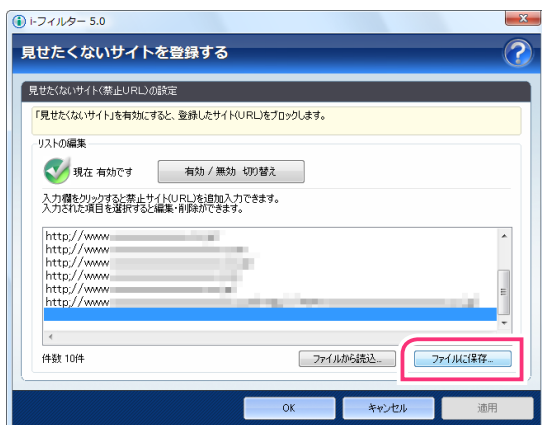
見せたくないサイトをファイルに保存する

見せたくないサイトのリストをファイルに保存することができます。
URLを改行で区切った、テキスト形式で保存されます。

- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [見せたくないサイトを登録する] ボタンをクリックします。

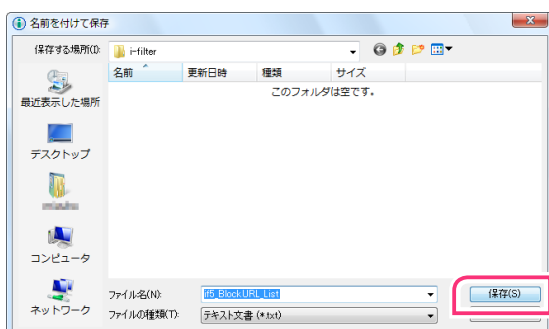


- 3 [ファイルに保存] ボタンをクリックします。



・[ファイルから読み込み] ボタンをクリックすると、見せたくないサイトをファイルから読み込みます。
詳しくは【見せたくないサイトをファイルから読み込む】(P.34) をご覧ください。

- 4 保存する場所を指定して、必要があれば [ファイル名] に見せたくないサイトリストのファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



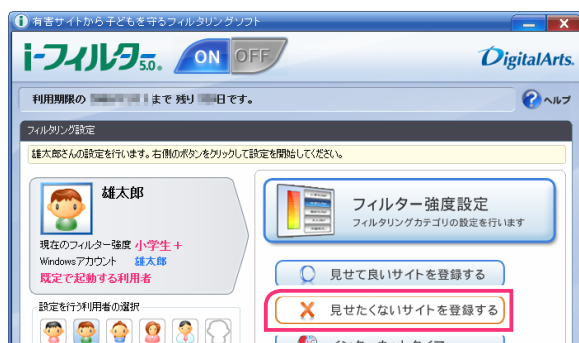
・ファイル名を変えない場合は、「if5_BlockURL_List.txt」というファイル名で保存されます。

見せたくないサイトのリストがファイルに保存されます。

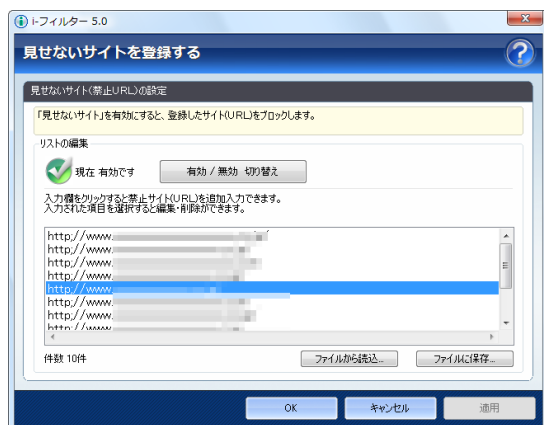
見せたくないサイトを削除する

見せたくないサイトから、サイトを削除する手順を説明しています。

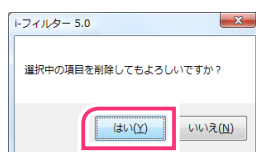
- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [見せたくないサイトを登録する] ボタンをクリックします。



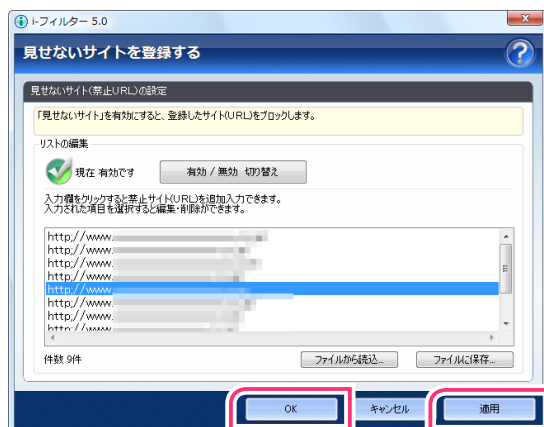
- 3 削除したい URL を選び、Delete キーを押します。



- 4 [はい] をクリックします。



- 5 必要があれば手順 3、4 を繰り返し [OK] または [適用] ボタンをクリックします。



補足

- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき削除した URL は元にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、見せたくないサイトを登録する画面が閉じます。

3

フィルターを設定しよう

インターネットを使う日時を制限する(インターネットタイマー)

曜日ごとにインターネットを使える時間帯を設定したり、1日に使える制限時間を設定することができます。この機能を「インターネットタイマー」と呼びます。

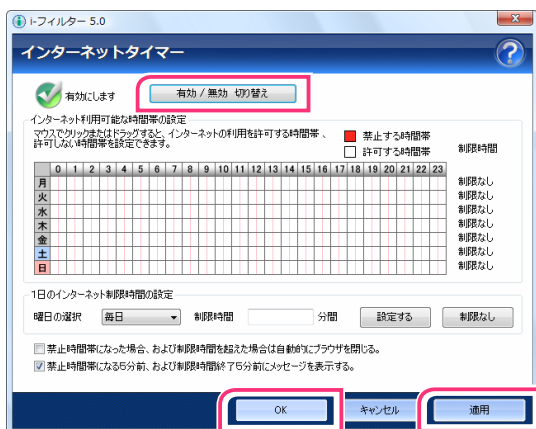


インターネットタイマーの設定をした場合、設定内容によってはインターネットに接続できなくなります。
注意 「i-フィルター」を管理する利用者には、インターネットタイマーの設定をしないことをお勧めします。

- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 インターネットタイマーを設定する利用者をクリックし [インターネットタイマー] ボタンをクリックします。



- 3 [有効/無効 切り替え] ボタンをクリックして、 有効にします を表示させ、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



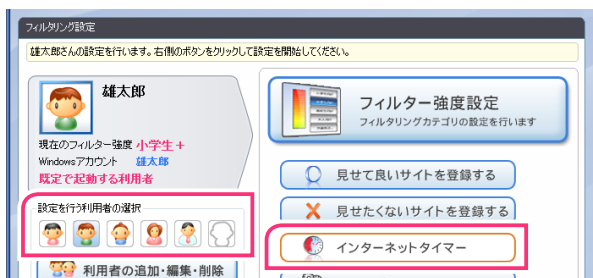
補足

- インターネットタイマーを無効にしたい場合は [有効/無効 切り替え] ボタンをクリックして、 無効にします を表示させます。
- [インターネット利用可能な時間帯の設定] では、曜日ごとにインターネットを使える時間帯を設定できます。詳しくは【インターネットを使う時間帯を制限する】(P.39) をご覧ください。
- [1日のインターネット制限時間の設定] では、1日にインターネットを使える時間を制限できます。詳しくは【インターネットを使う制限時間を設定する】(P.39) をご覧ください。
- [禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザを閉じる] にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になると自動的にブラウザが閉じるよう設定できます。このとき、複数のブラウザを起動していると、ブラウザを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。
- [禁止時間帯になる5分前、および制限時間終了5分前にメッセージを表示する] にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になる5分前にメッセージが表示されるよう設定できます。
- [OK] ボタンをクリックすると、インターネットの利用時間を設定する画面が閉じます。

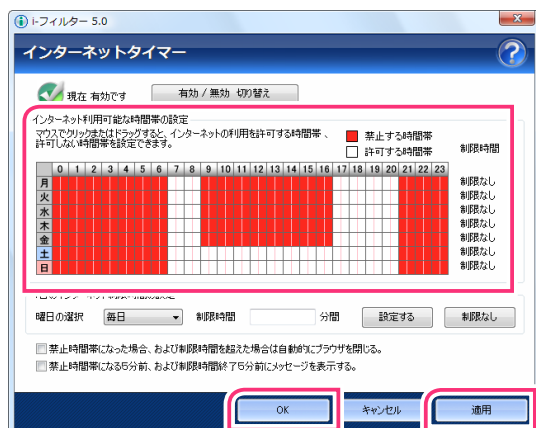
インターネットを使う時間帯を制限する

曜日ごとに、インターネットを使える時間帯を制限することができます。例えば、20時から8時まではインターネットを禁止することで、深夜に使われるのを防げます。

- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 インターネットタイマーを設定する利用者をクリックし [インターネットタイマー] ボタンをクリックします。



- 3 [インターネット利用可能な時間帯の設定] で、インターネットを禁止/許可する時間を設定し、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- [インターネット利用可能な時間帯の設定] で時間帯をクリックまたはドラッグすると、[禁止する時間帯] と [許可する時間帯] の設定が切り替わります。赤色が禁止する時間帯、白色が許可する時間帯です。
- 禁止/許可する時間帯は、30分単位で設定できます。
- 禁止/許可する時間帯は、曜日ごとに設定できます。
- インターネットアクセスを遮断する場合は、表のすべてをクリックまたはドラッグして赤色にし、禁止設定にします。
- [1日のインターネット制限時間の設定] では、1日にインターネットを使える時間を制限できます。詳しくは【インターネットを使う制限時間を設定する】(P.39) をご覧ください。
- [禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザを閉じる] にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になると自動的にブラウザが閉じるよう設定できます。このとき、複数のブラウザを起動していると、ブラウザを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。
- [禁止時間帯になる5分前、および制限時間終了5分前にメッセージを表示する] にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になる5分前にメッセージが表示されるよう設定できます。
- [OK] ボタンをクリックすると、インターネットタイマー画面が閉じます。

インターネットを使う制限時間を設定する

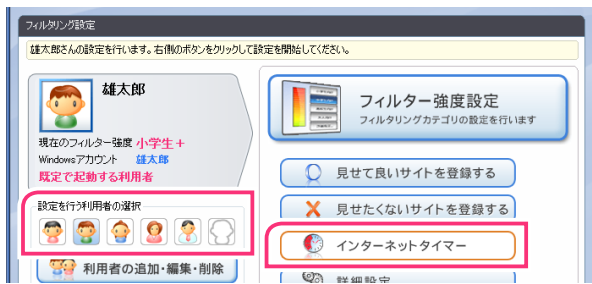
1日にインターネットを使える時間を制限することができます。曜日ごとに設定できるので、平日は1時間、週末は3時間まで、といった柔軟な制限時間を設定できます。

- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

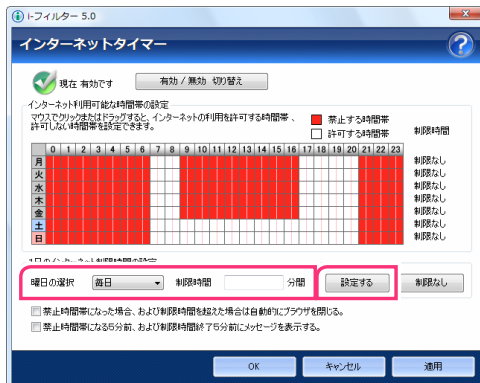
3

フィルターを設定しよう

2 インターネットタイマーを設定する利用者をクリックし [インターネットタイマー] ボタンをクリックします。



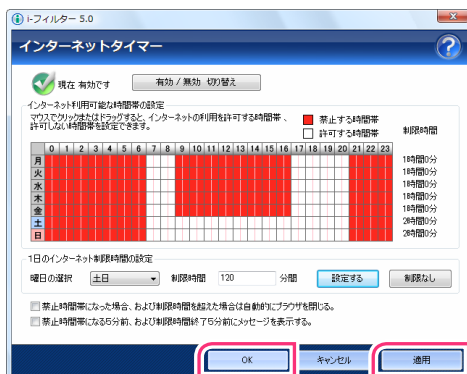
3 [1日のインターネット制限時間の設定] の [曜日の選択] で制限する曜日を選び、[制限時間] にインターネットを使える時間を設定し、[設定する] ボタンをクリックします。



補足

- [曜日の選択] で [毎日] を選んだ場合は、すべての曜日に同じ制限時間が設定されます。
- [曜日の選択] で [平日] を選んだ場合は、月～金曜日に同じ制限時間が設定されます。
- [曜日の選択] で [土日] を選んだ場合は、土、日曜日に同じ制限時間が設定されます。
- 制限時間の単位は分です。
- [制限時間] には、数字を入力してください。
- [制限時間] に「0」を入力すると、指定した曜日は、インターネットアクセス禁止となります。また、[制限時間] に「1440」以上の数字を入力すると、制限が解除されます。(1440分は 24時間です)
- 制限を解除する場合は、[曜日の選択] で曜日を選び、[制限なし] ボタンをクリックします。
- 制限時間カウントのタイミングについては【教えて! i-フィルター】の Q23 (P.116) をご覧ください。
- [インターネット利用可能な時間帯の設定] では、インターネットを使える時間帯を設定できます。詳しくは【インターネットを使う時間帯を制限する】(P.39) をご覧ください。
- [禁止時間帯になった場合、および制限時間を超えた場合は自動的にブラウザを閉じる] にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になると自動的にブラウザが閉じるよう設定できます。このとき、複数のブラウザを起動していると、ブラウザを閉じるメッセージが複数回表示されることがあります。
- [禁止時間帯になる5分前、および制限時間終了5分前にメッセージを表示する] にチェックマークを付けると、設定した禁止時間帯または制限時間になる5分前にメッセージが表示されるよう設定できます。

4 必要があれば手順3を繰り返して設定し、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- [OK] ボタンをクリックすると、インターネットタイマー画面が閉じます。

その他のフィルターを設定する(詳細設定)

その他のフィルターの設定方法を説明しています。さまざまなケースに対応できるよう、以下のフィルターを用意しています。

- 個人情報を守る(個人情報保護)
指定した個人名やクレジットカード番号などを発信しないよう設定できます。
- 見せたくないサイトを検索結果に表示させない(検索結果フィルター)
ブロックされるサイトを検索結果にも表示させないよう設定できます。
- 見せたくない単語を設定する(単語フィルター)
指定した単語を伏字にしたり、単語を含むサイトをブロックするよう設定できます。
- サイトの内容を自動的に判断する(ページスキャンの設定)
学習データを基に、サイトの内容を自動的にブロックするかどうかを判断するよう設定できます。
- 規制信号のあるサイトを見せたくない(PICSフィルター)
サイトを作った人が自主的に付けた規制信号を見つけて、ブロックするよう設定できます。
- ファイルをダウンロードさせない(ダウンロード禁止)
ファイルの拡張子を指定して、該当するファイルをダウンロードさせないよう設定できます。
- ブロック画面の設定をする(ブロック画面)
サイトがブロックされたときに表示されるブロック画面を、お好みに設定できます。
- 登録したサイトだけを見せる(ホワイトリスト)
指定したサイトだけにアクセスすることができるホワイトリスト機能について設定できます。

個人情報を守る(個人情報保護)


氏名やパスワード、クレジット番号などの大切な個人情報がインターネットから漏洩しないように、個人情報を指定して、該当する情報を発信しないよう設定できます。保護する個人情報は、すべての利用者で共有しますが、個人情報保護機能の有効/無効は、利用者ごとに適用できます。

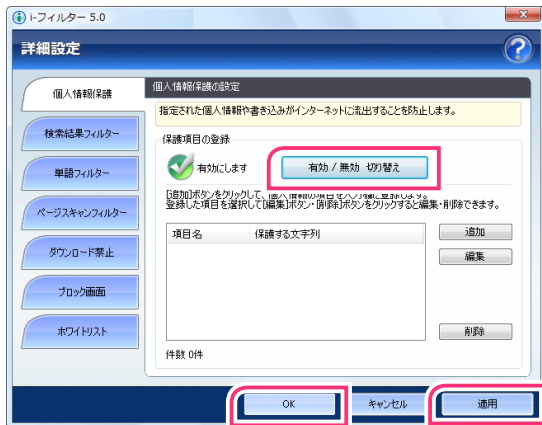


- 個人情報保護機能は、Internet Explorerのみ HTTPS (SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル) に対応しております。


- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 個人情報保護機能を設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。



- 3 [有効/無効 切り替え] ボタンをクリックして、 有効にします を表示させ、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

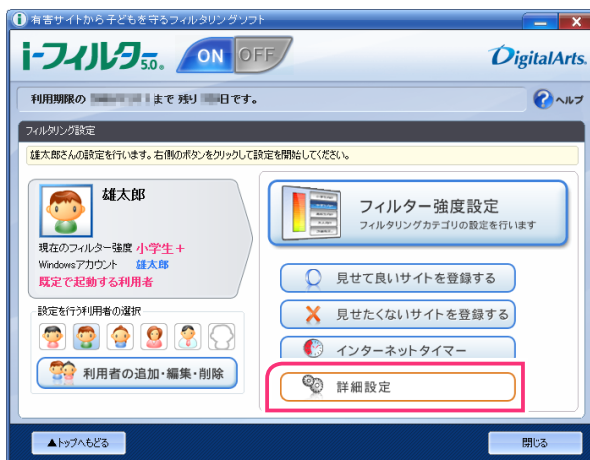
- ・ 詳細設定画面でほかのページが表示されている場合は、[個人情報保護] ボタンをクリックします。
- ・ 個人情報保護機能を無効にしたい場合は、[有効/無効 切り替え] ボタンをクリックして、 無効にします を表示させます。
- ・ [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ 守りたい個人情報を追加する

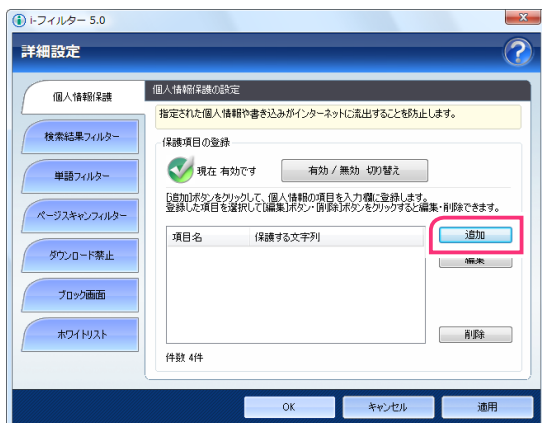
個人情報として守りたい情報を追加する手順を説明しています。

個人情報の設定は、1件につき全角(2文字以上) 半角(4文字以上) 問わず 100文字以内、100件まで登録できます。

- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



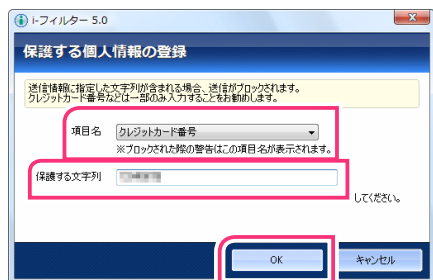
- 3 [追加] ボタンをクリックします。



補足

- ・ 詳細設定画面でほかのページが表示されている場合は、[個人情報保護] ボタンをクリックします。

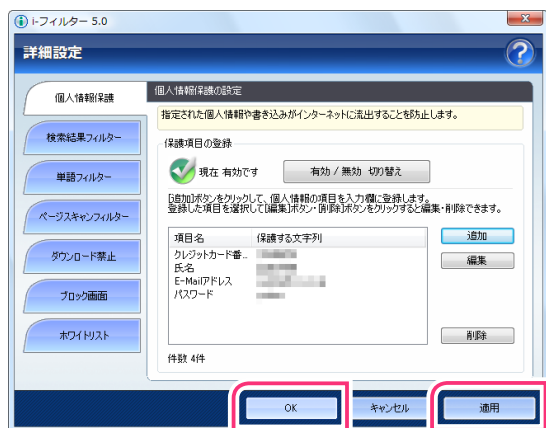
- 4 [項目名] から守りたい個人情報の項目を選び [保護する文字列] に守りたい文字を入力し [OK] ボタンをクリックします。



補足

- [項目名] で選べる項目は、以下のとおりです。
氏名/パスワード/クレジットカード番号/ E-Mailアドレス/その他
- [保護する文字列] には、全角の場合は2文字以上、半角の場合は4文字以上を入力してください。
全角半角問わず100文字まで入力できます。
- [保護する文字列] に入力した文字が短すぎると、意図しないページがブロックされることがあります。
- [保護する文字列] にクレジットカード番号を入力する場合は、番号のすべてを入力せず、一部のみを入力することをお勧めします。より安全にクレジットカード番号を管理することができます。

- 5 必要があれば手順3、4を繰り返して [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき追加した項目は削除されます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ 守りたい個人情報を変える

登録済みの個人情報を変える手順を説明しています。

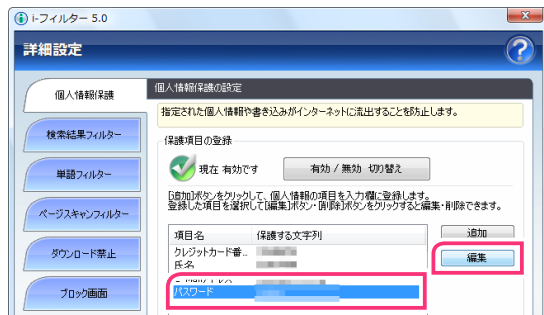
- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



3

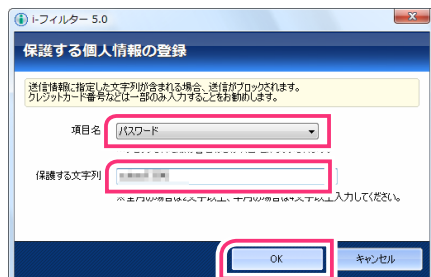
フィルターを設定しよう

3 変えたい個人情報をクリックして [編集] ボタンをクリックします。



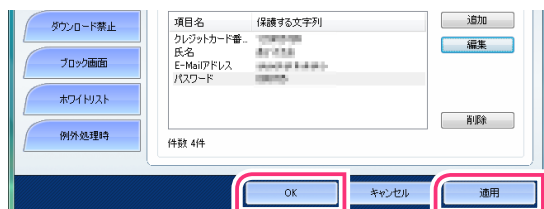
- ・ 詳細設定画面でほかのページが表示されている場合は [個人情報保護] ボタンをクリックします。

4 [項目名] から守りたい項目を選び [保護する文字列] に守りたい文字を入力し [OK] ボタンをクリックします。



- ・ [項目名] で選べる項目は、以下のとおりです。
氏名 /パスワード/クレジットカード番号 /E-Mailアドレス /その他
- ・ [保護する文字列] には、全角の場合は 2文字以上、半角の場合は 4文字以上を入力してください。
全角半角問わず 100文字まで入力できます。
- ・ [保護する文字列] に入力した文字が短すぎると、意図しないページがブロックされることがあります。
- ・ [保護する文字列] にクレジットカード番号を入力する場合は、番号のすべてを入力せず、一部のみを入力することをお勧めします。より安全にクレジットカード番号を管理することができます。

5 必要があれば手順 3、4 を繰り返して [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。

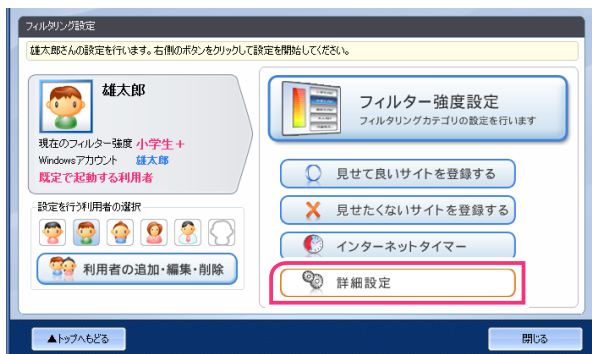


- ・ [キャンセル] ボタンをクリックすると、個人情報設定は変わらず、元の設定にもどってしまいます。
- ・ [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ 守りたい個人情報を削除する

登録済みの個人情報を削除する手順について説明しています。

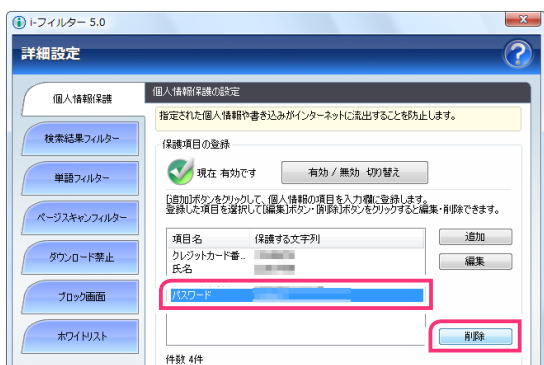
- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



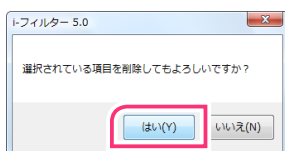
補足

- ・ 詳細設定画面でほかのページが表示されている場合は [個人情報保護] ボタンをクリックします。

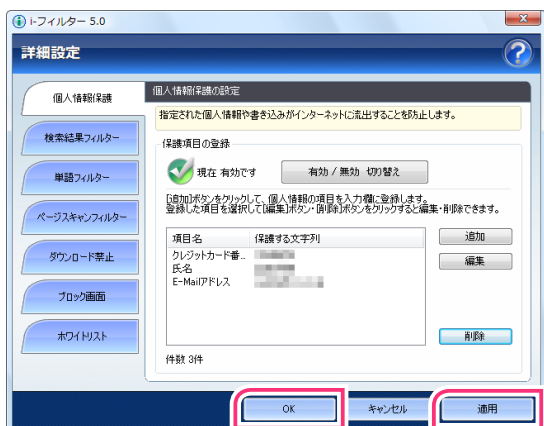
- 3 削除したい個人情報設定を選び [削除] ボタンをクリックします。



- 4 [はい] ボタンをクリックします。



- 5 必要があれば手順 3、4 を繰り返して [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- ・ [キャンセル] ボタンをクリックすると、個人情報設定は変わらず、元の設定にもどってしまいます。
- ・ [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

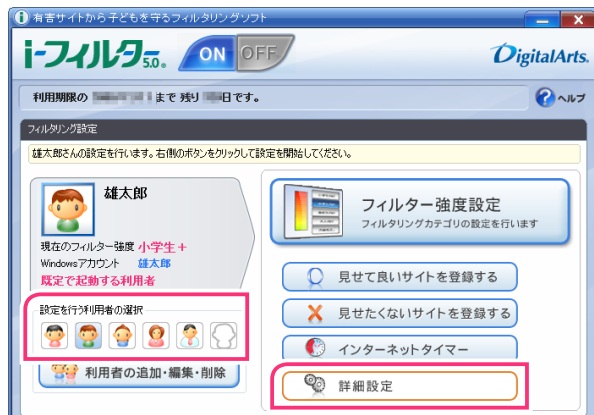
3

見せたくないサイトを検索結果に表示させない(検索結果フィルター)

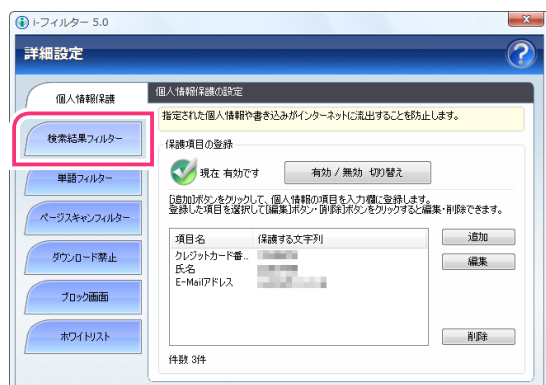
ブロックされるサイトを検索サイトの検索結果一覧にも表示させないように設定できます。

例えば「アダルト」カテゴリをブロックするよう設定している場合、検索結果にアダルト関連のサイトは含まれません。この機能を「検索結果フィルター」と呼びます。検索結果フィルターは、利用者ごとに設定できます。

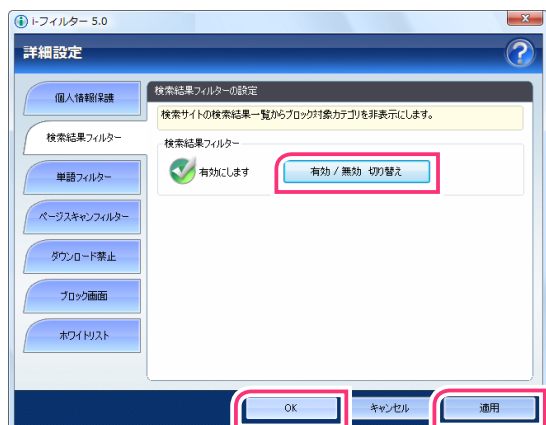
- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 検索結果フィルターを設定する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



- 3 [検索結果フィルター] ボタンをクリックします。



- 4 [有効/無効 切り替え] ボタンをクリックして 有効にします を表示させ [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- 検索結果フィルター機能を無効にしたい場合は [有効/無効 切り替え] ボタンをクリックして 無効にします を表示させます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。



注意

- 検索結果フィルターの対象は、ページの先頭から 200KBytesまでの内容です。

見せたくない単語を設定する(単語フィルター)

指定した単語を「***」(伏字) で表示させたり、指定した単語を含むサイトをブロックすることができます。例えば「ヌード」という単語を指定しておく、「ヌード」という文字が「***」に代わって表示されたり、「ヌード」という文字を含むサイトをブロックすることができます。この機能を「単語フィルター」と呼びます。単語フィルターのリストはすべての利用者で共有しますが、機能の有効/無効、伏字にする、ブロックにするといった設定は利用者ごとに適用できます。

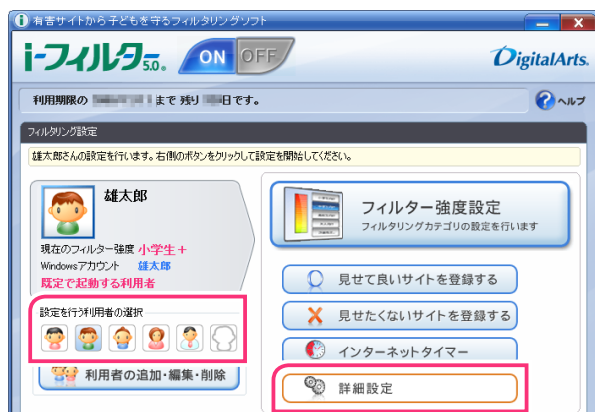


・単語フィルターは、Internet Explorerのみ HTTPS (SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル) に対応しております。

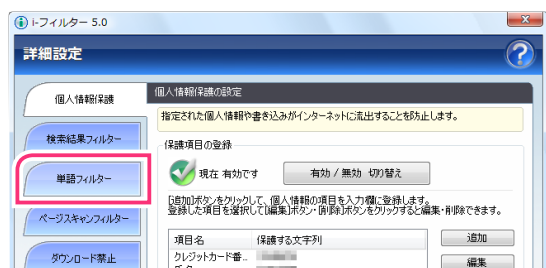
■ 見せたくない単語を伏字にする

見せたくない単語を「***」という伏字で表示させる手順を説明しています。例えば「ヌード」という単語を見せたくない単語として設定している場合、「ヌード」という文字が「***」で表示されます。

- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 単語フィルターを設定する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



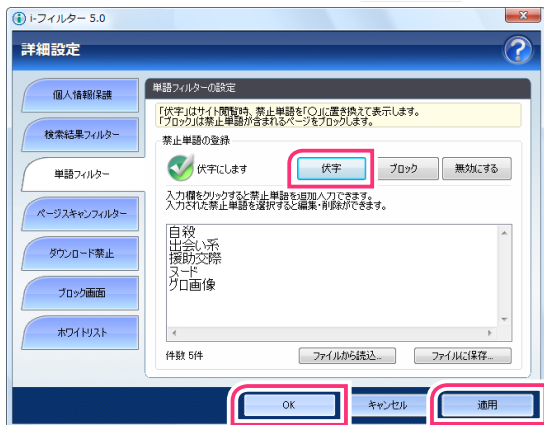
- 3 [単語フィルター] ボタンをクリックします。



3

フィルターを設定しよう

4 [伏字] ボタンをクリックして、 伏字にします を表示させ [OK] または [適用] ボタンをクリックします。



補足

- [ブロック] ボタンをクリックすると、見せたくない単語を含むサイトをブロックするよう設定できます。詳しくは【見せたくない単語を含むサイトをブロックする】をご覧ください。
- [無効にする] ボタンをクリックすると、見せたくない単語として登録した単語がすべて表示されるよう設定できます。詳しくは【見せたくない単語の設定を無効にする】(P.55)をご覧ください。
- [ファイルから読込] ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルから読み込むことができます。詳しくは【見せたくない単語をファイルから読み込む】(P.51)をご覧ください。
- [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルに保存することができます。詳しくは【見せたくない単語をファイルに保存する】(P.53)をご覧ください。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。



注意

- 短すぎる単語を入力すると、ほとんどのサイトがブロックされることがあります。ご注意ください。
- ひらがなや漢字などの全角文字を登録したとき、ブロック対象となるページの文字コードに制限があります。以下の文字コードのみブロックされます。
日本語 (シフト JIS) / 日本語 (EUC) / Unicode (UTF-8)
- ページから単語を検索するときの検索対象は、ページの先頭から 80KBytesまでの内容です。

■ 見せたくない単語を含むサイトをブロックする

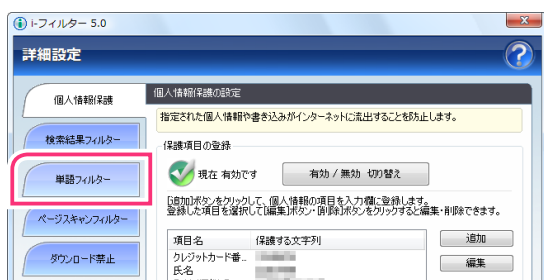
見せたくない単語を含むサイトをブロックする手順を説明しています。例えば「ヌード」という単語を見せたくない単語として設定している場合、「ヌード」という文字を含むサイトがブロックされます。

1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

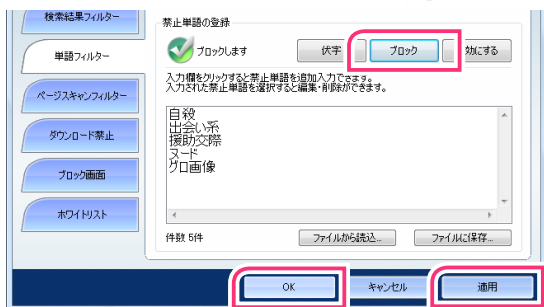
2 単語フィルターを設定する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [単語フィルター] ボタンをクリックします。



4 [ブロック] ボタンをクリックして、 [ブロック] を表示させ [OK] または [適用] ボタンをクリックします。



補足

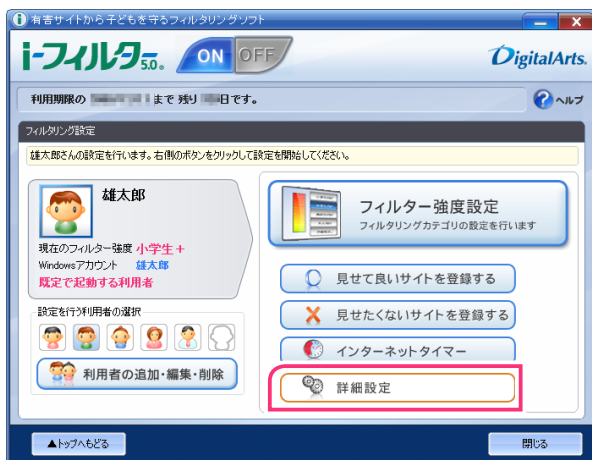
- ・ [伏字] ボタンをクリックすると、見せたくない単語を伏字で表示できるよう設定できます。詳しくは【見せたくない単語を伏字にする】(P.47) をご覧ください。
- ・ [無効にする] ボタンをクリックすると、見せたくない単語として登録した単語がすべて表示されるよう設定できます。詳しくは【見せたくない単語の設定を無効にする】(P.55) をご覧ください。
- ・ [ファイルから読込] ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルから読み込むことができます。詳しくは【見せたくない単語をファイルから読み込む】(P.51) をご覧ください。
- ・ [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルに保存することができます。詳しくは【見せたくない単語をファイルに保存する】(P.53) をご覧ください。
- ・ [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ 見せたくない単語を登録する

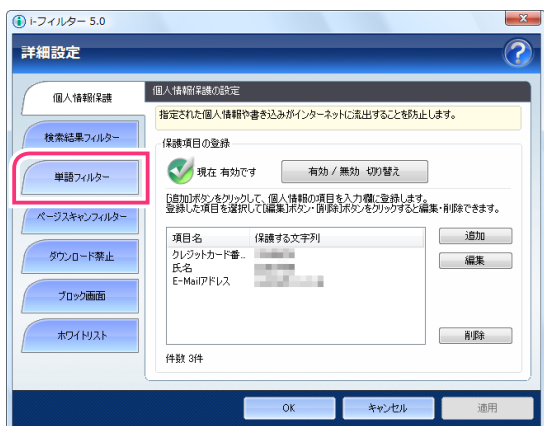
見せたくない単語を登録する手順を説明しています。見せたくない単語は、1件につき全角(2文字以上)半角(4文字以上) 問わず 100文字以内、100件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



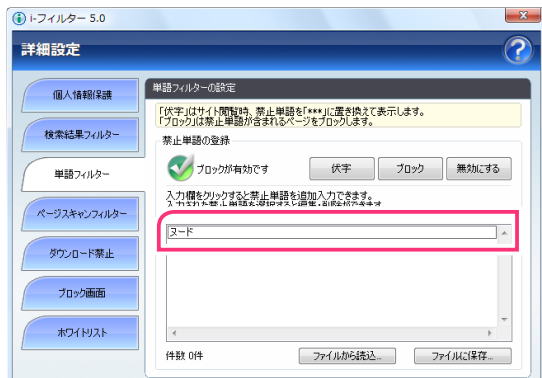
3 [単語フィルター] ボタンをクリックします。



3

フィルターを設定しよう

4 入力欄をクリックし、青く表示された入力欄を再度クリックして、見せたくない単語を入力・編集します。



補足

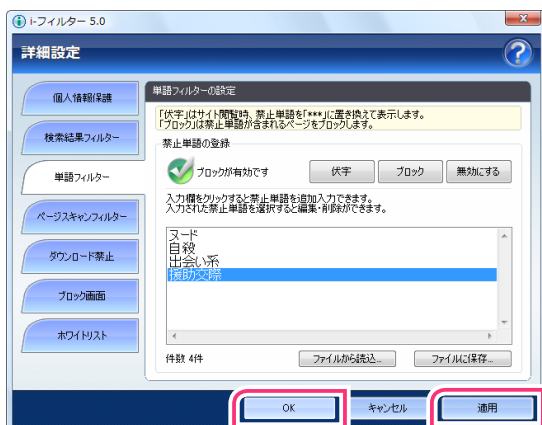
- 全角半角問わず、100文字まで入力できます。
- 半角 4文字、全角 2文字未満は登録できません。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。



注意

- 短すぎる単語を入力すると、ほとんどのサイトがブロックされることがあります。ご注意ください。
- ひらがなや漢字などの全角文字を登録したとき、ブロック対象となるページの文字コードに制限があります。以下の文字コードのみブロックされます。
日本語 (シフト JIS) / 日本語 (EUC) / Unicode (UTF-8)
- ページから単語を検索するときの検索対象は、ページの先頭から 80KBytesまでの内容です。

5 必要があれば手順 4 を繰り返し、[OK] または [適用] ボタンをクリックします。



補足

- 見せたくない単語は、100件まで登録できます。
- [伏字] ボタンをクリックすると、見せたくない単語を伏字で表示するよう設定できます。詳しくは【見せたくない単語を伏字にする】(P.47) をご覧ください。
- [ブロック] ボタンをクリックすると、見せたくない単語を含むサイトをブロックするよう設定できます。詳しくは【見せたくない単語を含むサイトをブロックする】(P.48) をご覧ください。
- [無効にする] ボタンをクリックすると、見せたくない単語として登録した単語がすべて表示されるよう設定できます。詳しくは【見せたくない単語の設定を無効にする】(P.55) をご覧ください。
- [ファイルから読み込] ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルから読み込むことができます。詳しくは【見せたくない単語をファイルから読み込む】(P.51) をご覧ください。
- [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルに保存することができます。詳しくは【見せたくない単語をファイルに保存する】(P.53) をご覧ください。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。
- 登録した単語をクリックすると、単語を変えることができます。

■ 見せたくない単語をファイルから読み込む

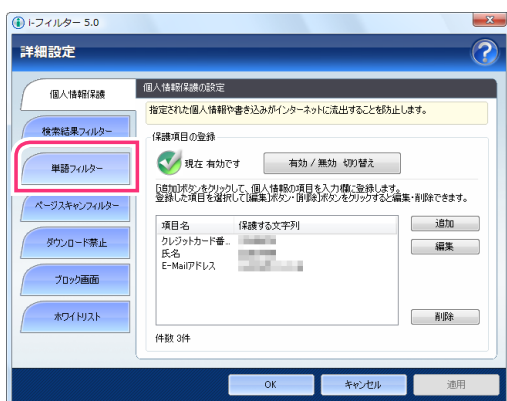
見せたくない単語のリストをファイルから読み込むことができます。たくさん見せたくない単語を登録するときに便利です。あらかじめ単語のリストがテキスト形式で保存されている必要があります。単語は改行で区切っておいてください。見せたくない単語は、1件につき全角(2文字以上) 半角(4文字以上) 問わず100文字以内、100件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

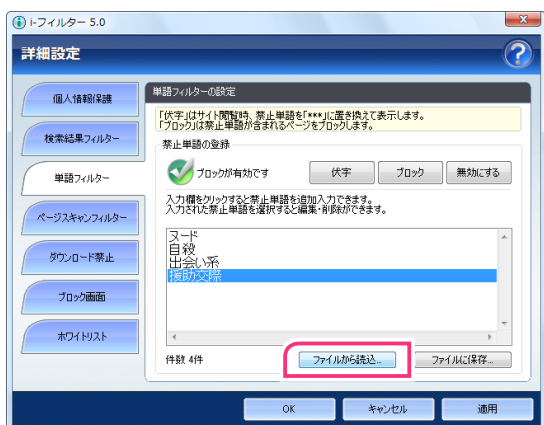
2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [単語フィルター] ボタンをクリックします。

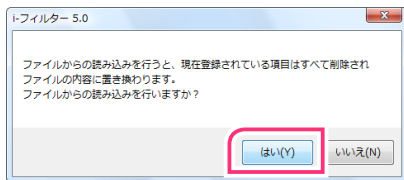


4 [ファイルから読込] ボタンをクリックします。



- ・ [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、見せたくない単語をファイルに保存できます。詳しくは【見せたくない単語をファイルに保存する】(P.53) をご覧ください。

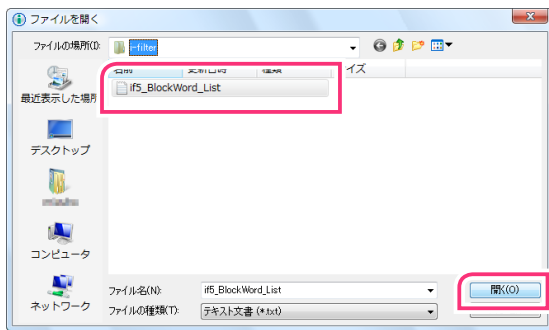
5 以下のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。



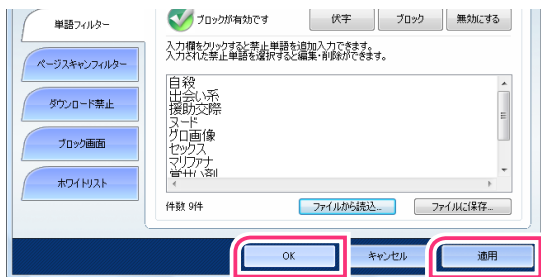
注意

- ファイルからの読み込みを行うと、現在登録されている内容は、すべてファイルの内容に置き換わります。

6 読み込むファイルを指定して、[開く] ボタンをクリックします。



7 [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



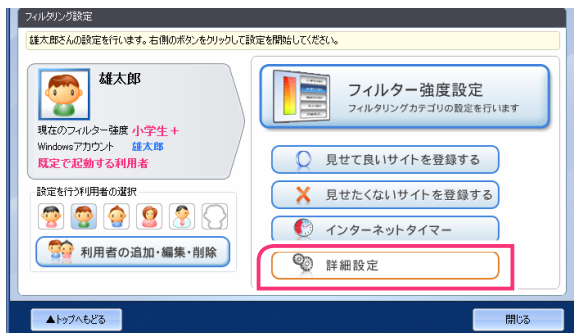
補足

- 半角 4 字、全角 2 字未満の単語を登録することはできません。
- すでに登録された単語を重複して登録することはできません。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルから読み込んだリストは適用されず、元の設定にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

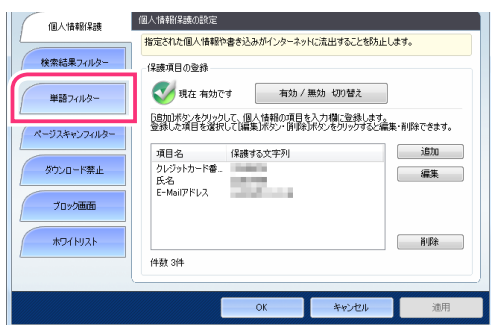
■ 見せたくない単語をファイルに保存する

見せたくない単語のリストをファイルに保存することができます。単語を改行で区切った、テキスト形式で保存されます。

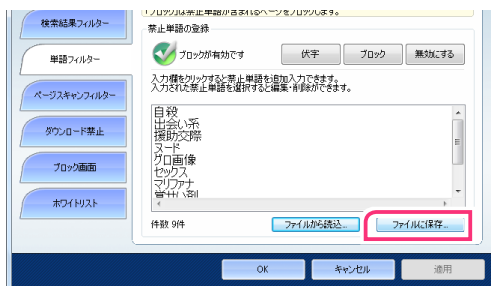
- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



- 3 [単語フィルター] ボタンをクリックします。



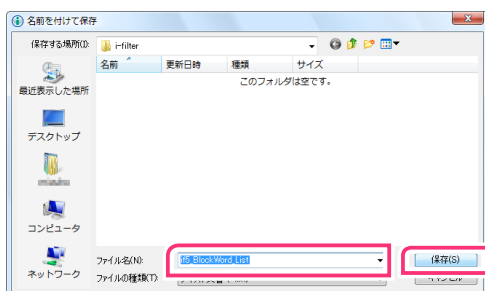
- 4 [ファイルに保存] ボタンをクリックします。



補足

- ・ [ファイルから読み込み] ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルから読み込みます。詳しくは【見せたくない単語をファイルから読み込む】(P.51) をご覧ください。

- 5 保存する場所を指定して、必要があれば [ファイル名] に見せたくない単語リストのファイル名を入力し [保存] ボタンをクリックします。



補足

- ・ ファイル名を変えない場合は、「if5_BlockWord_List.txt」というファイル名で保存されます。

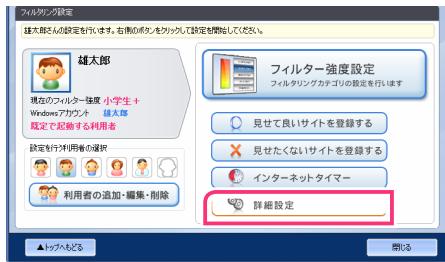
見せたくない単語のリストがファイルに保存されます。

■ 見せたくない単語を削除する

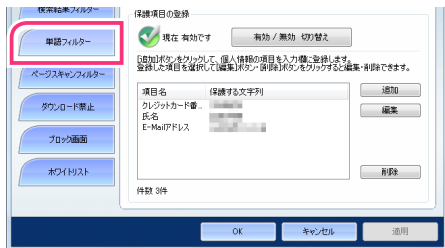
単語フィルターから、登録した単語を削除する手順を説明しています。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

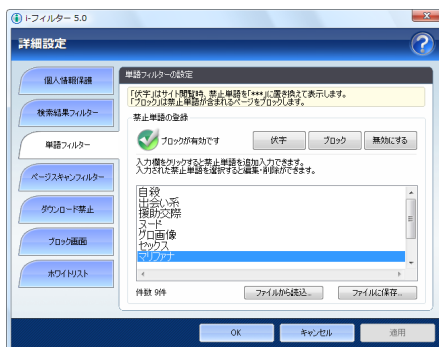
2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



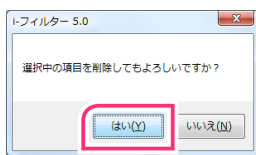
3 [単語フィルター] ボタンをクリックします。



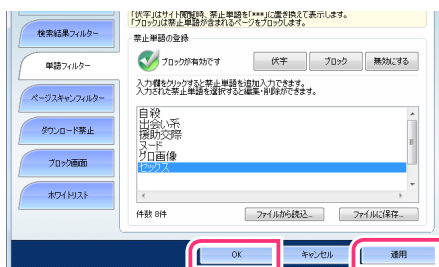
4 削除したい単語を選び、Delete キーを押します。



5 [はい] をクリックします。



6 必要があれば手順 4、5 を繰り返し [OK] または [適用] ボタンをクリックします。



- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき削除した単語は元にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

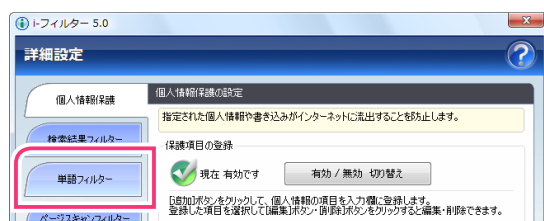
■ 見せたくない単語の設定を無効にする

見せたくない単語として登録してある単語を通常どおり表示させるよう設定できます。

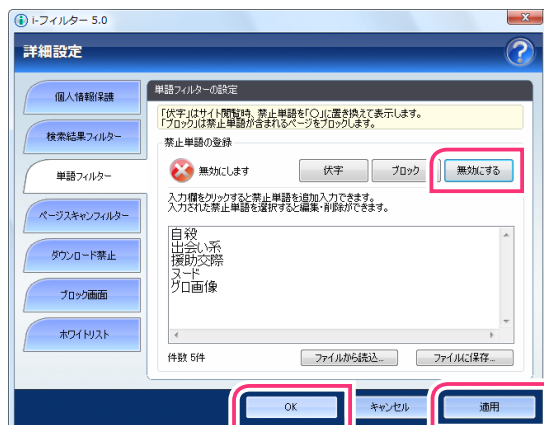
- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 検索結果フィルターを設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。



- 3 [単語フィルター] ボタンをクリックします。



- 4 [無効にする] ボタンをクリックして、[OK] または [適用] ボタンをクリックします。



補足

- [伏字] ボタンをクリックすると、見せたくない単語を伏字で表示するよう設定できます。詳しくは【見せたくない単語を伏字にする】(P.47) をご覧ください。
- [ブロック] ボタンをクリックすると、見せたくない単語を含むサイトをブロックするよう設定できます。詳しくは【見せたくない単語を含むサイトをブロックする】(P.48) をご覧ください。
- [ファイルから読込] ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルから読み込むことができます。詳しくは【見せたくない単語をファイルから読み込む】(P.51) をご覧ください。
- [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、見せたくない単語のリストをファイルに保存することができます。詳しくは【見せたくない単語をファイルに保存する】(P.53) をご覧ください。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

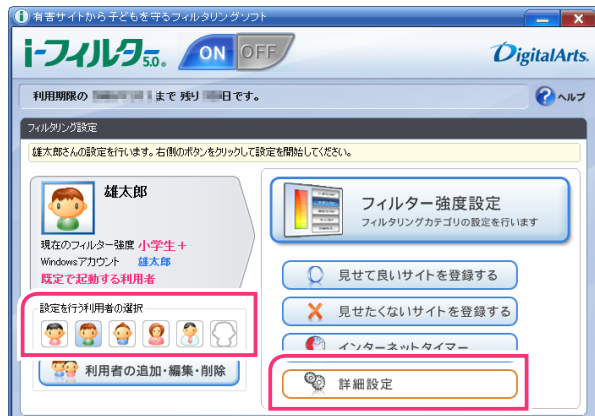
サイトの内容を自動的に判断する(ページスキャンの設定)

学習データを基にサイトの内容を自動的にブロックするかどうかを設定できます。この機能を「ページスキャン」と呼びます。利用者ごとにページスキャンを適用するかどうかを設定できます。

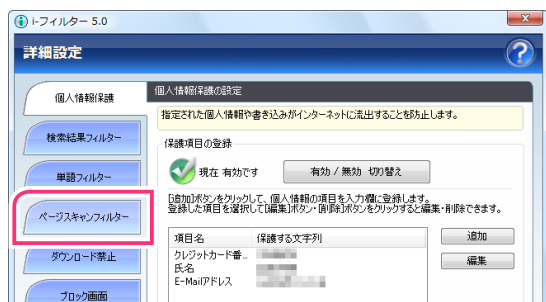


- ・ ページスキャンは、Internet Explorerのみ HTTPS (SSLの暗号化通信をHTTPに実装したプロトコル) に対応しております。

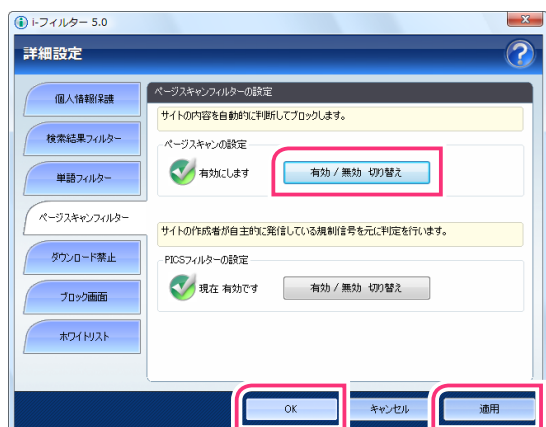
- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 ページスキャンを設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。



- 3 [ページスキャンフィルター] ボタンをクリックします。



- 4 [ページスキャンの設定] の [有効/無効切り替え] ボタンをクリックして を表示させ、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



- ・ ページスキャン機能を無効にしたい場合は、 を表示させます。
- ・ [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

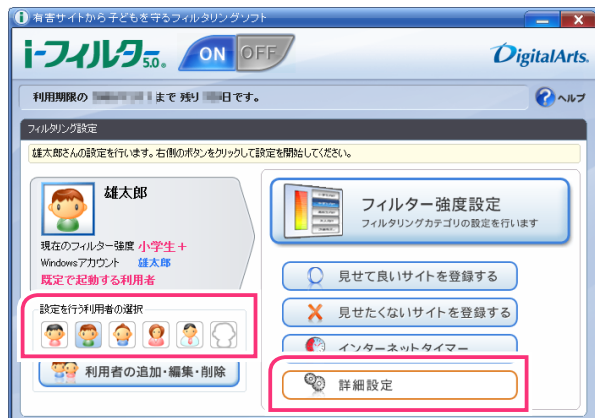
規制信号のあるサイトを見せたくない(PICSフィルター)

サイトを作る人・企業は、自主的に PICSラベルという規制信号を自分のサイトに付けることができます。「i-フィルター」はアクセス先のサイトに PICSラベルが付いているかどうかを判断してブロックすることができます。この機能を「PICSフィルター」と呼びます。

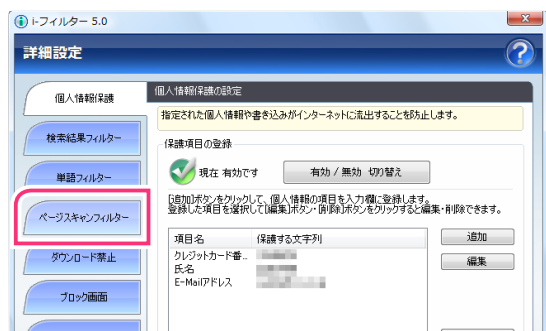



- PICSフィルターは Internet Explorerのみ HTTPS (SSLの暗号化通信を HTTPに実装したプロトコル) に対応しております。

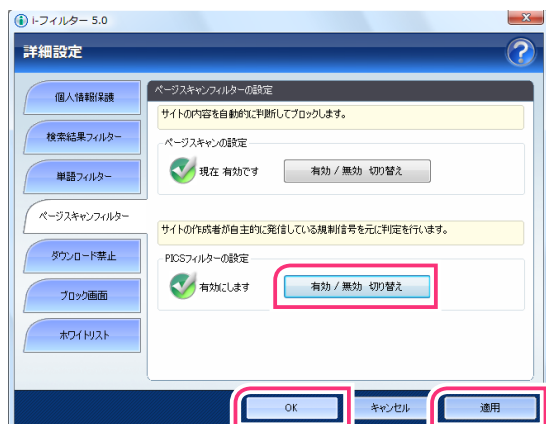
- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 PICS フィルターを設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。




- 3 [ページスキャンフィルター] ボタンをクリックします。



- 4 [PICS フィルターの設定] の [有効/無効 切り替え] ボタンをクリックし  有効にします を表示させ、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



- PICSフィルター機能を無効にしたい場合は、 無効にします を表示させます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

3

フィルターを設定しよう

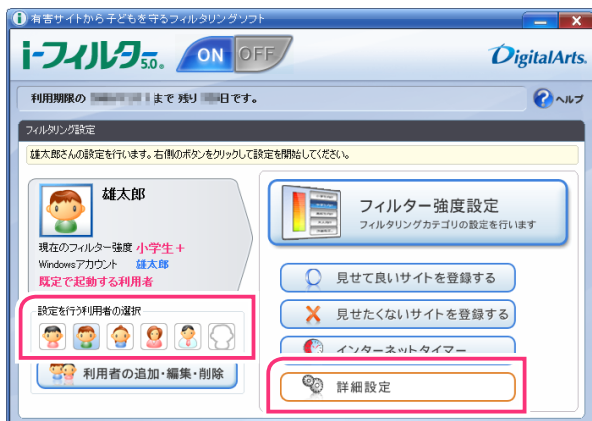
ファイルをダウンロードさせない(ダウンロード禁止)

ファイルの拡張子を指定して、該当するファイルをダウンロードさせないように設定できます。初期設定では、「exe」「zip」「lzh」が登録されています。この設定を変えなければ、exe(実行ファイル)形式、zip(圧縮ファイル)形式、lzh(圧縮ファイル)形式のファイルはダウンロードできません。ダウンロードさせないファイルの拡張子は、すべてのユーザーで共有しますが、ダウンロード禁止機能の有効/無効は、利用者ごとに設定できます。

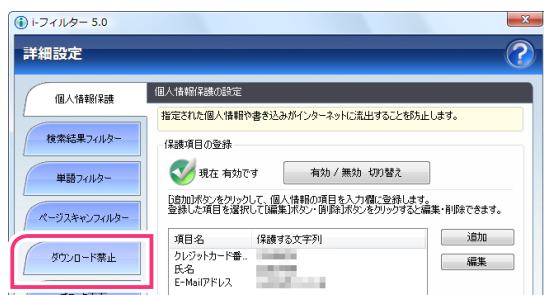


- 「i-フィルター」がダウンロードを禁止できるのは、ブラウザ経由のダウンロードのみです。ダウンロード専用のソフトウェアを使ったダウンロードを禁止することはできません。

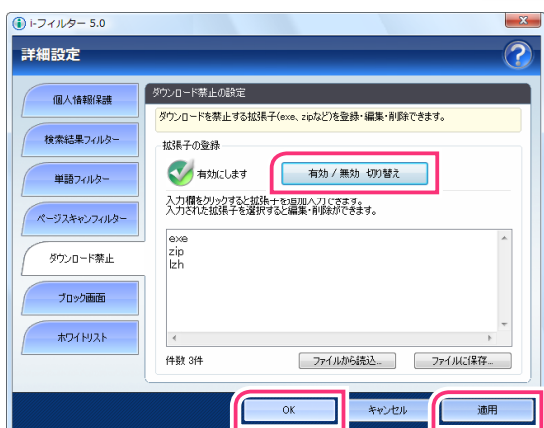
- 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- ダウンロードの禁止を設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。



- [ダウンロード禁止] ボタンをクリックします。



- [有効/無効切り替え] ボタンをクリックし 有効にします を表示させ、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- ダウンロードの禁止機能を無効にしたい場合は [有効/無効切り替え] ボタンをクリックして 無効にします を表示させます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ ダウンロードさせないファイル形式を登録する

ダウンロードさせないファイルのファイル形式を登録する方法を説明しています。

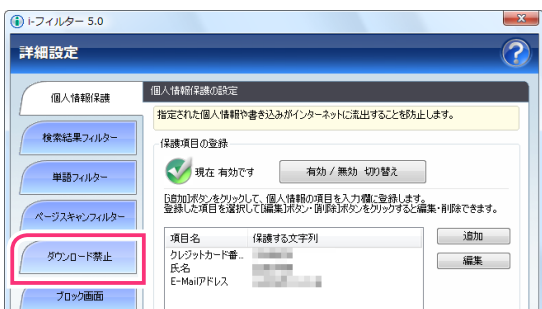
ダウンロードさせないファイルの拡張子は、1件につき半角 3文字以上 500文字以内、1,000件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

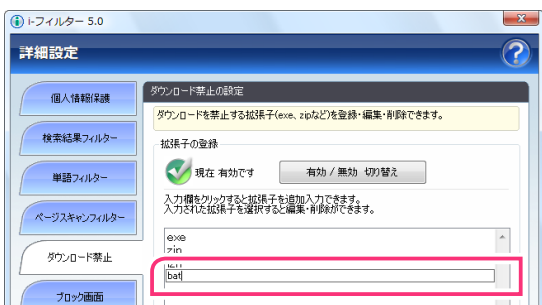
2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [ダウンロード禁止] ボタンをクリックします。



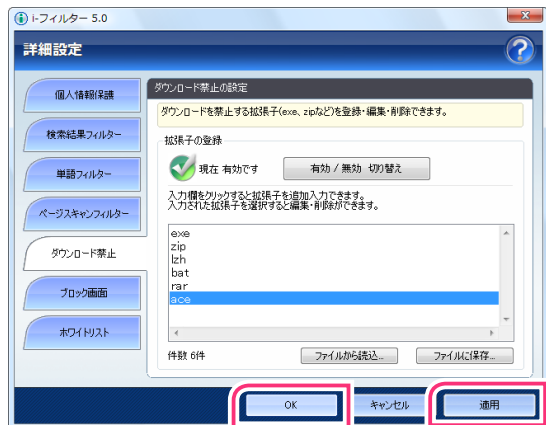
4 入力欄をクリックし、青く表示された入力欄を再度クリックして、ダウンロードさせないファイル形式を入力します。



補足

- ファイルの拡張子を入力してください。拡張子の前に付ける「.」(ドット)は不要です。
- ファイルの拡張子は、1件につき半角 3文字以上 500文字以下で入力してください。
- ダウンロード禁止に登録した拡張子と部分的に一致する拡張子を持つファイルはすべてダウンロードされません。
例えば「jpe」と登録すると、.jpe や .jpeg の拡張子を持つファイルはダウンロードされません。

5 必要があれば手順4を繰り返し、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- ファイルの拡張子は、1,000件まで登録できます。
- 登録した拡張子をクリックすると、拡張子を変えることができます。
- [ファイルから読み込む] ボタンをクリックすると、ダウンロードさせないファイル形式のリストをファイルから読み込むことができます。詳しくは【ダウンロードさせないファイル形式をファイルから読み込む】(P.60)をご覧ください。
- [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、ダウンロードさせないファイル形式のリストをファイルに保存することができます。詳しくは【ダウンロードさせないファイル形式をファイルに保存する】(P.62)をご覧ください。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ ダウンロードさせないファイル形式をファイルから読み込む

ダウンロードさせたくないファイル形式のリストをファイルから読み込むことができます。たくさんのファイル形式を登録するときに便利です。ファイル形式は、拡張子により指定します。あらかじめ拡張子のリストがテキスト形式で保存されている必要があります。拡張子のリストには、1件につき半角3文字以上500文字以下、1000件まで登録できます。

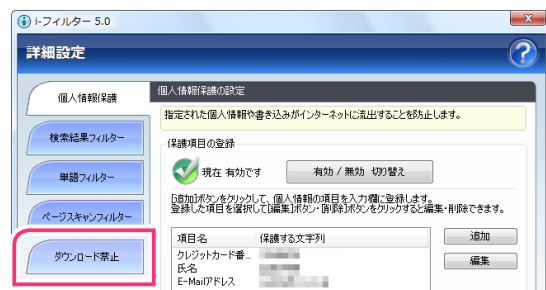
拡張子は改行で区切っておいてください。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

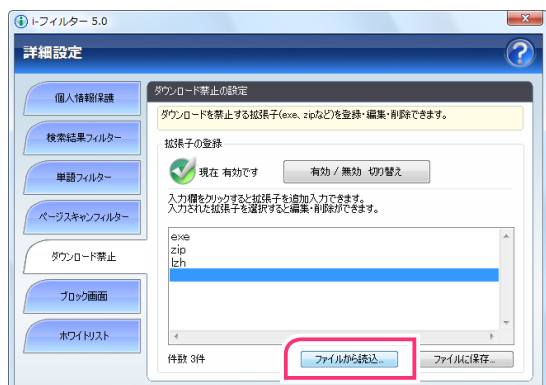
2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [ダウンロード禁止] ボタンをクリックします。

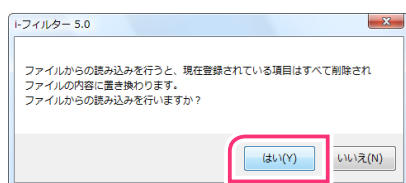


4 [ファイルから読込] ボタンをクリックします。

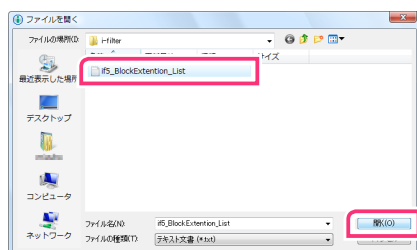


- ・ [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、ダウンロードさせないファイル形式のリストをファイルに保存できます。詳しくは【ダウンロードさせないファイル形式をファイルに保存する】(P.62) をご覧ください。

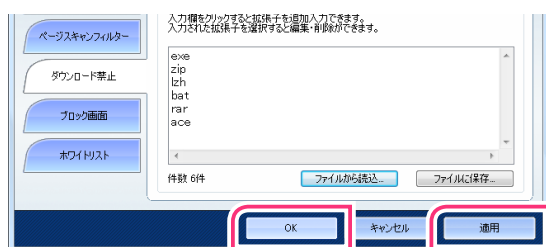
5 以下のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。



6 読み込むファイルを指定して、[開く] ボタンをクリックします。



7 [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



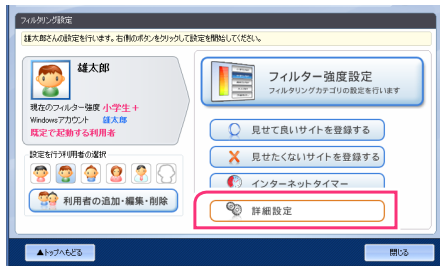
- ・ [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルから読み込んだリストは適用されず、元の設定にもどってしまいます。
- ・ [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ **ダウンロードさせないファイル形式をファイルに保存する**

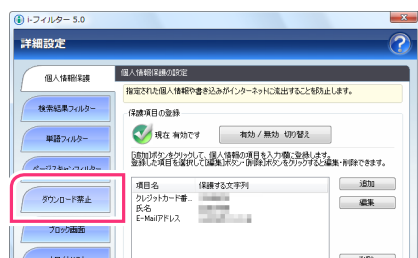
ダウンロードさせないファイル形式のリストをファイルに保存することができます。拡張子を改行で区切った、テキスト形式で保存されます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

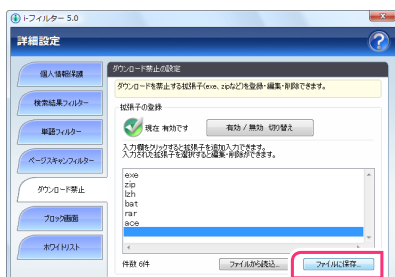
2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [ダウンロード禁止] ボタンをクリックします。

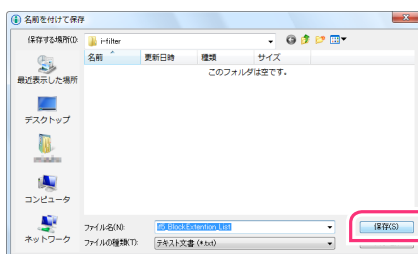


4 [ファイルに保存] ボタンをクリックします。



・ [ファイルから読込] ボタンをクリックすると、ダウンロードさせないファイル形式のリストをファイルから読み込めます。詳しくは【ダウンロードさせないファイル形式をファイルから読み込む】(P.60) をご覧ください。

5 保存する場所を指定して、必要があれば [ファイル名] にダウンロードさせないファイル形式リストのファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



・ ファイル名を変えない場合は、「if5_BlockExtension_List.txt」というファイル名で保存されます。

ダウンロードさせないファイル形式のリストがファイルに保存されます。

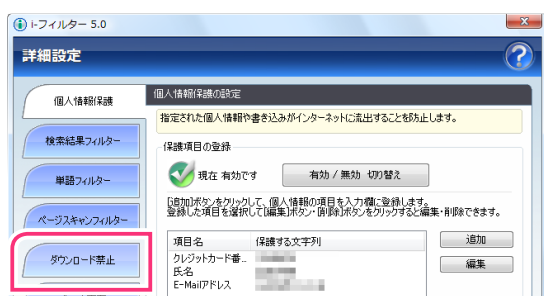
■ ダウンロードさせないファイル形式を削除する

ダウンロードさせないファイル形式として登録した拡張子の設定を削除する方法を説明しています。

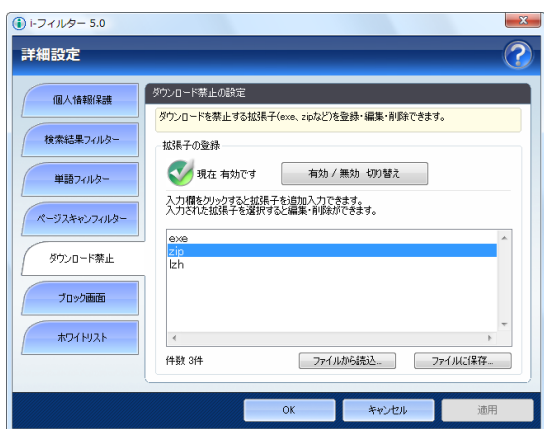
- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



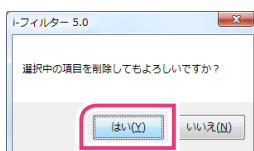
- 3 [ダウンロード禁止] ボタンをクリックします。



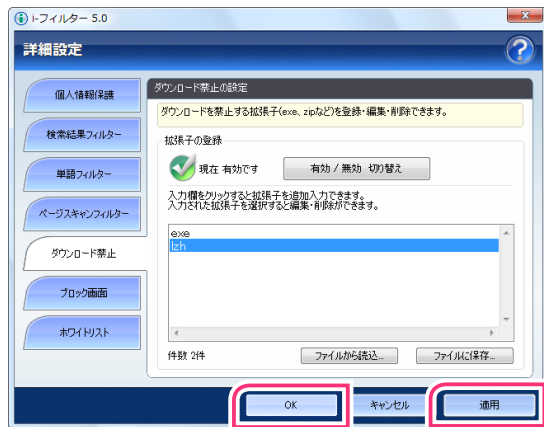
- 4 削除したい単語を選び、Delete キーを押します。



- 5 [はい] をクリックします。



6 必要があれば手順 4、5 を繰り返し、[OK] または [適用] ボタンをクリックします。



補足

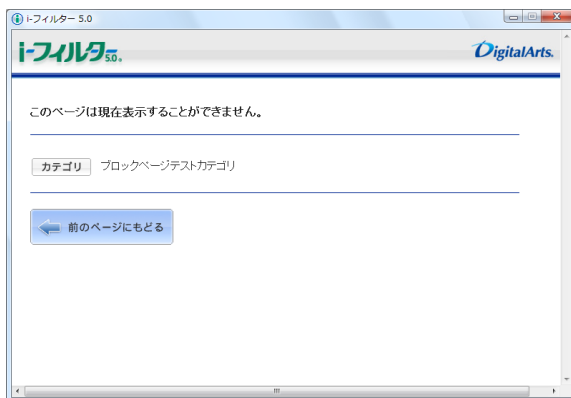
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき削除した拡張子は元にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

ブロック画面の設定をする(ブロック画面)

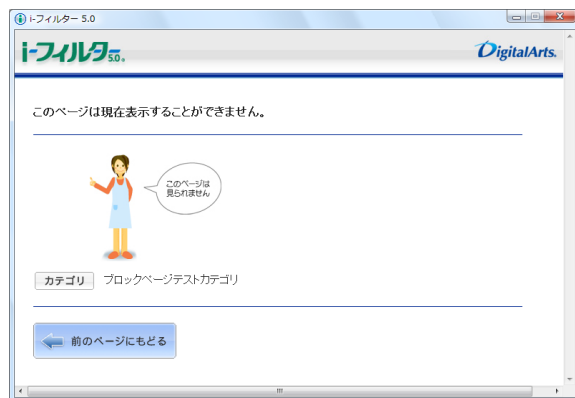
サイトへのアクセスがブロックされたときは、ブラウザにブロック画面が表示されます。ブロック画面の種類は以下のとおりです。利用者ごとにお好みのブロック画面を選ぶことができます。また、ブロック画面をオリジナルで作成することもできます。

ブロック画面 1～3

「i-フィルター」標準のブロック画面の1つです。詳しく設定し、画面をカスタマイズできます。設定によっては、お好みの文字やブロック理由を表示させることができます。また、ブロックを解除できる機能を有効にすることもできます。



ブロック画面 1



ブロック画面 2



ブロック画面 3



補足

- ブラウザーによっては画像が正しく表示されないことがあります。

「アクセス禁止」画面

エラーコード 403の「Webサイトによってこのページの表示を拒否されました」または「Forbidden」画面が表示されます。一般的には、サーバーが「読み出し禁止」にしているコンテンツを読み込もうとしたときに表示される画面です。



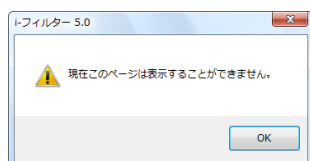
「ページが見つからない」画面

エラーコード 404の「Webページが見つかりません」または「Not Found」ページが表示されます。一般的には、指定された URL が存在しないときに表示されるページです。



補足

- Internet Explorer以外のブラウザを使っている場合、「https」で始まる URL のページがブロックされたときは、以下のブロック画面が表示されます。



3

フィルターを設定しよう

■ ブロック画面を選ぶ

サイトへのアクセスがブロックされたときに表示されるブロック画面を、利用者ごとに選ぶ手順を説明しています。

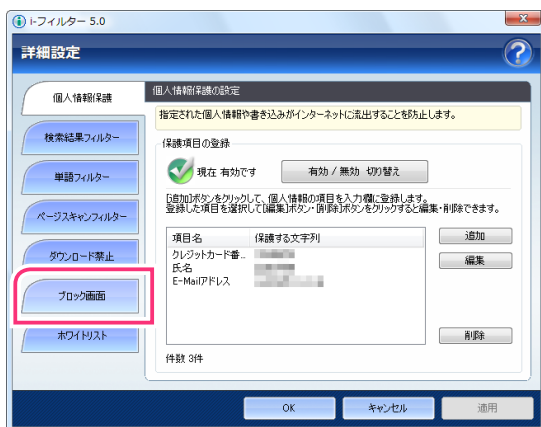


- ブロック画面をカスタマイズしたいときは【ブロック画面にオリジナルのコメントを設定する】(P.67) をご覧ください。

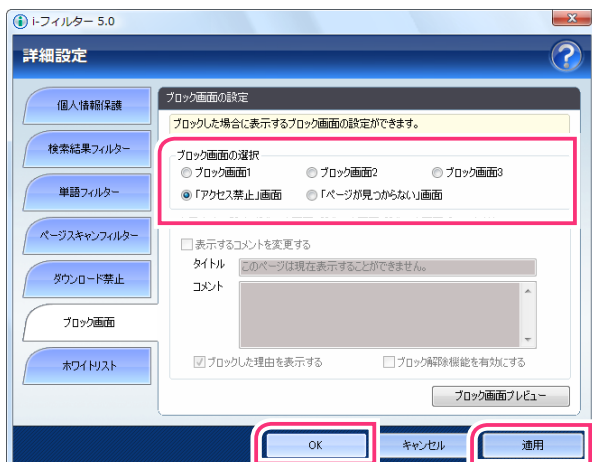
- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 ブロック画面を設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。



- 3 [ブロック画面] ボタンをクリックします。



- 4 [ブロック画面の選択] でお好みのブロック画面をクリックし、[OK] ボタンまたは[適用] ボタンをクリックします。



- [ブロック画面プレビュー] ボタンをクリックすると、選んだブロック画面を確認できます。
- 選べるブロック画面は以下のとおりです。【ブロック画面の設定をする(ブロック画面)】(P.64) の冒頭を参考にしてください。
ブロック画面1/ブロック画面2/ブロック画面3/「アクセス禁止」画面/「ページが見つからない」画面
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ ブロック画面にオリジナルのコメントを設定する

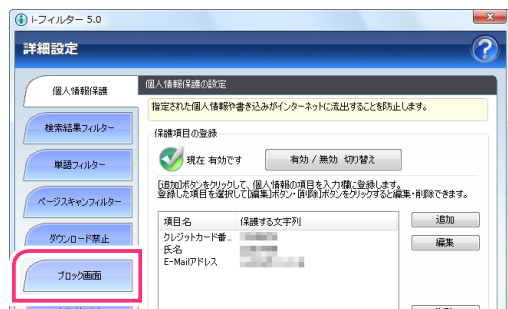
サイトへのアクセスがブロックされたときに表示されるブロック画面に、利用者ごとに異なるコメントを設定する手順を説明しています。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

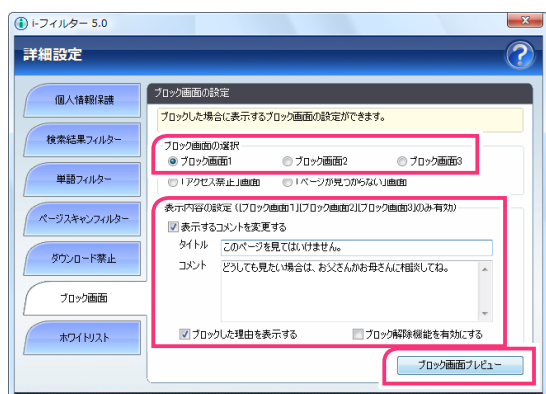
2 ブロック画面を設定する利用者をクリックし、[詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [ブロック画面] ボタンをクリックします。



4 [ブロック画面の選択] で、ブロック画面 1～3 のいずれかの画面をクリックして、[表示内容の設定] で以下の設定をし、[ブロック画面プレビュー] ボタンをクリックします。

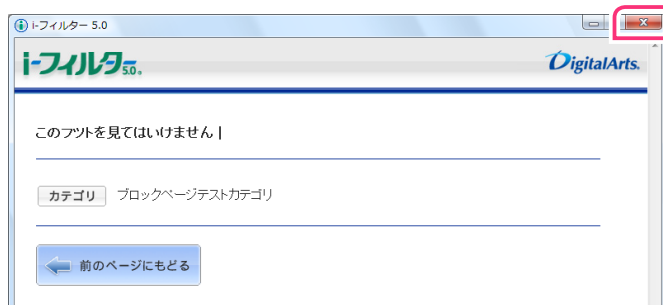


設定項目	設定内容
表示するコメントを変更する	チェックマークを付けるとブロック画面に表示されるコメントとタイトルをオリジナルのものに変えることができます。[タイトル] と [コメント] にお好みの文字を入力しています。 ※ [タイトル] 100 文字、[コメント] 300 文字以内で入力してください。
ブロックした理由を表示する	チェックマークを付けると、ブロックした理由がブロック画面に表示されます。 (例：ブロック状況：インターネット禁止時間)
ブロック解除機能を有効にする	チェックマークを付けると、ブロック画面に [解除] ボタンが表示されます。利用者が [解除] ボタンをクリックすると、「i-フィルター」は 3 分間フィルターオフになり、すべてのサイトを見ることができるようになります。ブロック解除から 3 分経つと、「i-フィルター」がフィルターオン状態になります。インターネットタイマーおよび個人情報保護機能によってブロックされたページを解除することはできません。

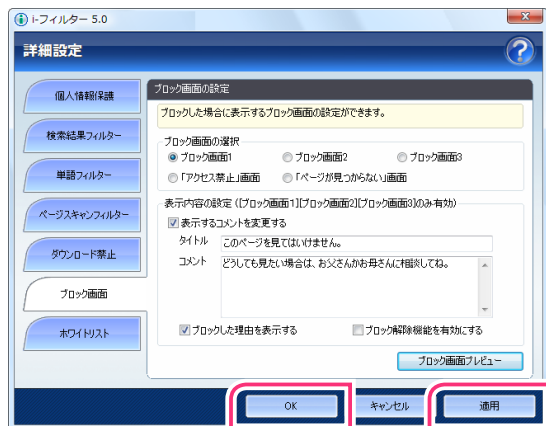
3

フィルターを設定しよう

5 プレビュー画面を確認し、右上の [x] ボタンをクリックして閉じます。



6 [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



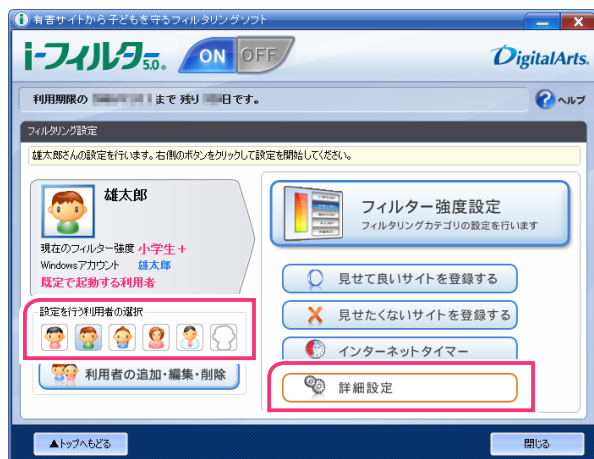
補足

- 確認したブロック画面を変えるには、手順 4、5 を操作しなおしてください。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。
- ブロック画面のプレビューに表示されたボタンをクリックすることはできません。

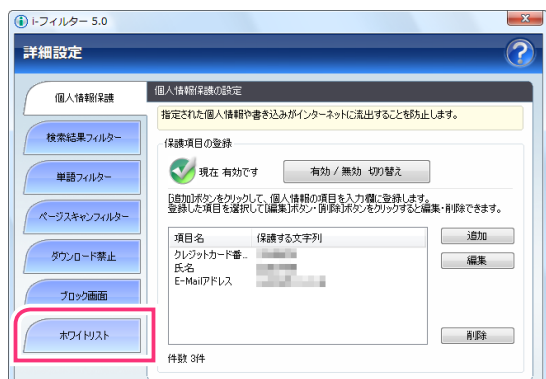
登録したサイトだけを見せる(ホワイトリスト)

指定したサイトだけにアクセスするよう制限することができます。この機能を「ホワイトリスト」と呼びます。ホワイトリスト機能を有効にすると、フィルター強度設定、見せて良いサイト、見せたくないサイト、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICSフィルター、ダウンロード禁止は無効となります。フィルターの優先順位は、【教えて！「i-フィルター」】の Q19 (P.115) をご覧ください。

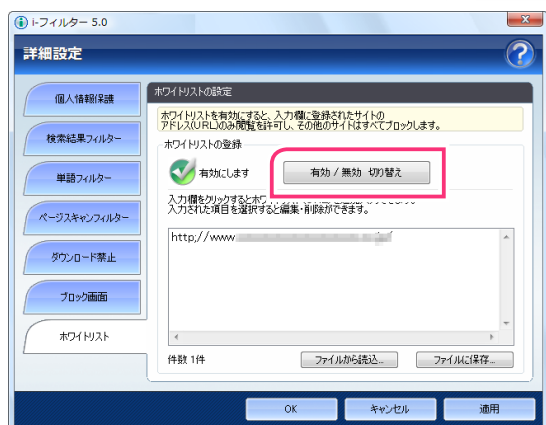
- 1 設定画面のトップページで [フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 ホワイトリストを設定する利用者をクリックし [詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [ホワイトリスト] ボタンをクリックします。



4 [有効/無効切り替え] ボタンをクリックして [有効にします] を表示させ、[OK] ボタンまたは[適用] ボタンをクリックします。



補足

- ・ ホワイトリストを無効にしたい場合は [有効/無効切り替え] ボタンをクリックして、 [無効にします] を表示させます。
- ・ 入力欄に URL を入力することで、ホワイトリストを登録できます。詳しくは【ホワイトリストを登録する】をご覧ください。
- ・ [ファイルから読み込] ボタンをクリックすると、ホワイトリストをファイルから読み込みます。詳しくは【ホワイトリストをファイルから読み込む】(P.71) をご覧ください。
- ・ [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、ホワイトリストをファイルに保存できます。詳しくは【ホワイトリストをファイルに保存する】(P.72) をご覧ください。
- ・ [OK] ボタンをクリックすると、ホワイトリストを登録する画面が閉じます。

■ ホワイトリストを登録する

指定したサイトだけにアクセスできるホワイトリストの URL を追加する手順を説明しています。ホワイトリストは、1件につき半角 500文字、1000件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

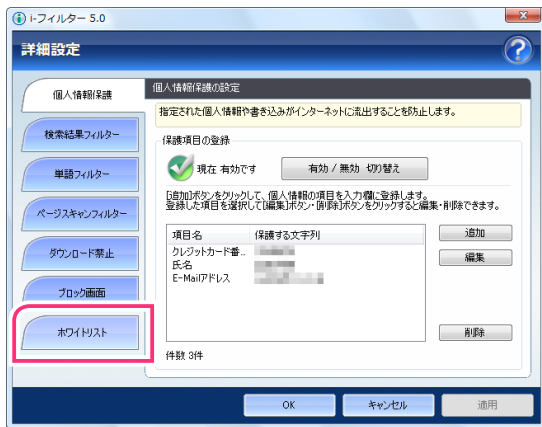
2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



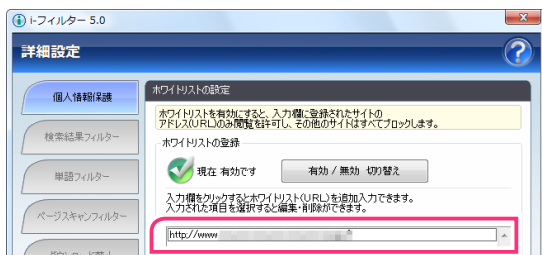
3

フィルターを設定しよう

3 [ホワイトリスト] ボタンをクリックします。



4 入力欄をクリックし、青く表示された入力欄を再度クリックして、ホワイトリストの URL を入力します。



注意

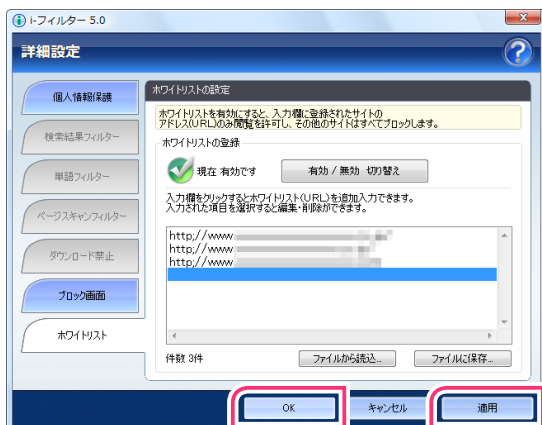
- ホワイトリストに登録した URL と部分的に一致する URL を持つサイトはすべて表示されます。例えば「www.daj」と登録すると、http://www.daj.jp/ifilter や http://www.daj.co.jp といったサイトは表示されます。
- ホワイトリストとして「http」を登録すると、すべてのサイトが表示されます。これはすべてのサイトで「http」を含むためです。
- 「https」で始まるサイトは、性質上ホスト名しか参照することができません。URL のホスト名の部分のみを入力してください。例えば https://www.daj.jp/ifilter の場合、www.daj.jp と入力します。



補足

- 1件の URL は、半角 500 文字以内で入力してください。
- 「?」、「*」をワイルドカードとして使うことはできません。

5 必要があれば手順 4 を繰り返し、[OK] または [適用] ボタンをクリックします。



補足

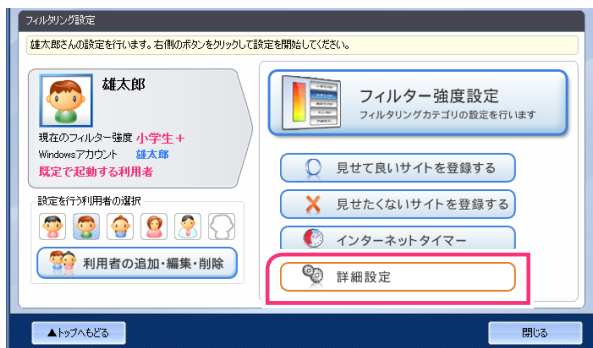
- 1,000 件までの URL をホワイトリストにできます。
- 登録した URL をクリックすると、URL を変えることができます。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき追加した URL は削除されます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ ホワイトリストをファイルから読み込む

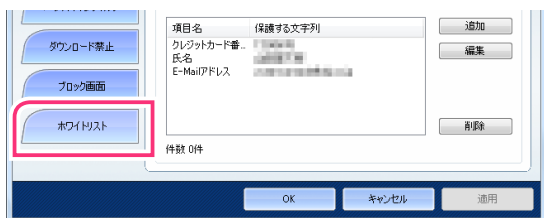
指定したサイトだけにアクセスできるホワイトリストの URLをファイルから読み込むことができます。たくさんのサイトを登録するときに便利です。あらかじめ URLのリストがテキスト形式で保存されている必要があります。URLは改行で区切っておいてください。ホワイトリストには、1件につき半角 500文字、1,000件まで登録できます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

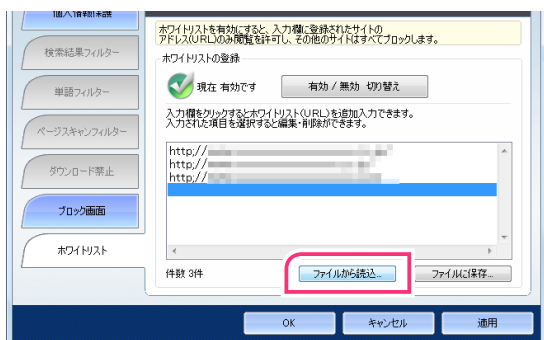
2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [ホワイトリスト] ボタンをクリックします。



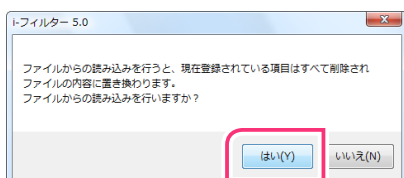
4 [ファイルから読込] ボタンをクリックします。



補足

・ [ファイルに保存] ボタンをクリックすると、ホワイトリストをファイルに保存できます。詳しくは【ホワイトリストをファイルに保存する】(P.72) をご覧ください。

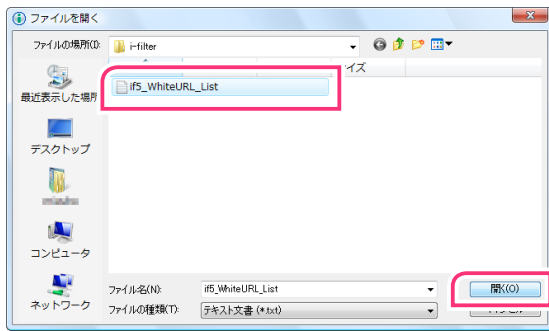
5 以下のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。



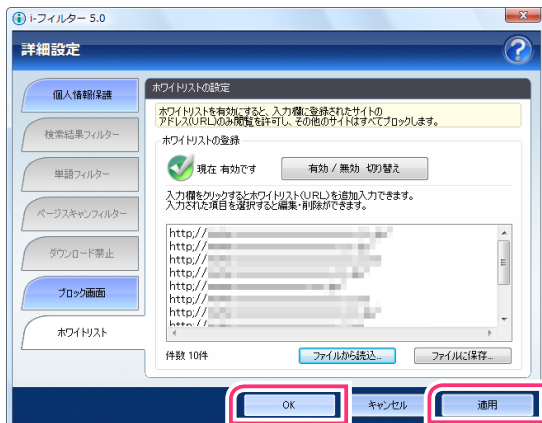
3

フィルターを設定しよう

6 読み込むファイルを指定して、[開く] ボタンをクリックします。



7 [OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルから読み込んだリストは適用されず、元の設定にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

■ ホワイトリストをファイルに保存する

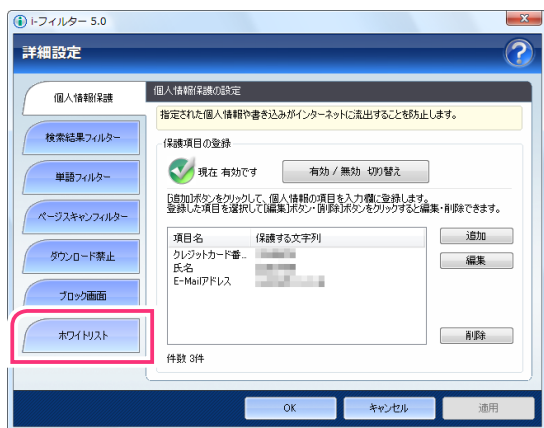
指定したサイトだけにアクセスできるホワイトリストをファイルに保存することができます。URLを改行で区切った、テキスト形式で保存されます。

1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。

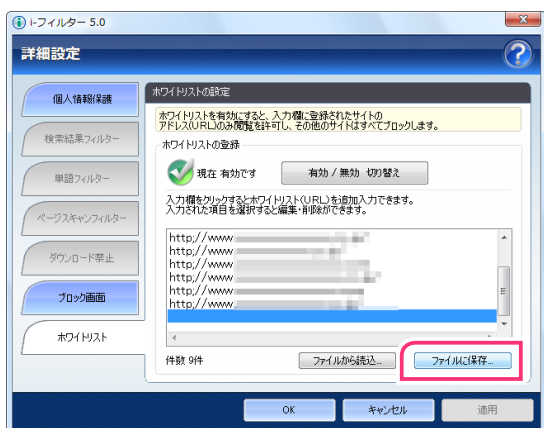
2 [詳細設定] ボタンをクリックします。



3 [ホワイトリスト] ボタンをクリックします。



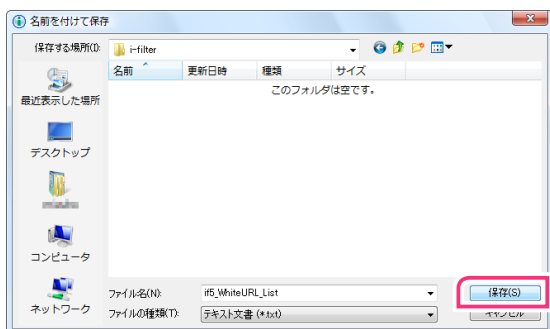
4 [ファイルに保存] ボタンをクリックします。



補足

- ・ [ファイルから読み込み] ボタンをクリックすると、ホワイトリストをファイルから読み込みます。詳しくは【ホワイトリストをファイルから読み込む】(P.71)をご覧ください。

5 保存する場所を指定して、必要があれば [ファイル名] にホワイトリストのファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。



補足

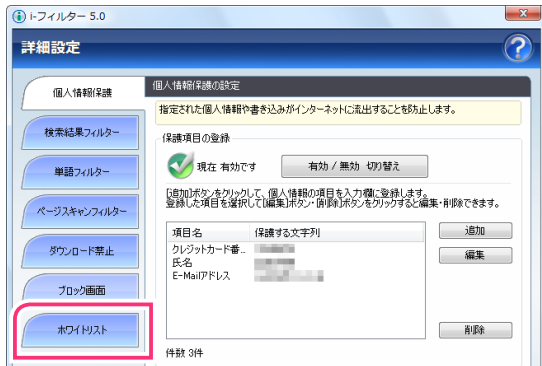
- ・ ファイル名を変えない場合は、「if5_WhiteURL_List.txt」というファイル名で保存されます。

ホワイトリストがファイルに保存されます。

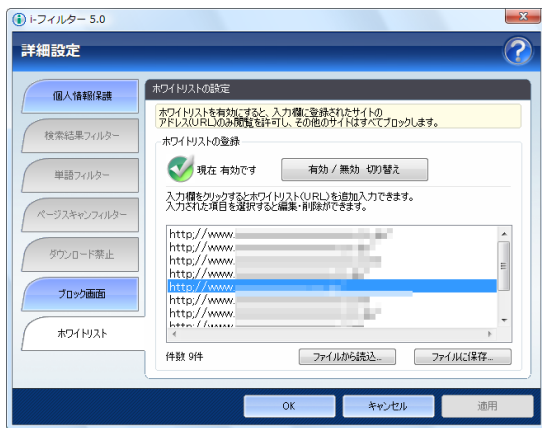
■ ホワイトリストを削除する

指定したサイトだけにアクセスできるホワイトリストから、URLを削除する手順を説明しています。

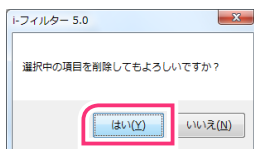
- 1 設定画面のトップページで、[フィルタリング設定] ボタンをクリックします。
- 2 [詳細設定] ボタンをクリックします。
- 3 [ホワイトリスト] ボタンをクリックします。



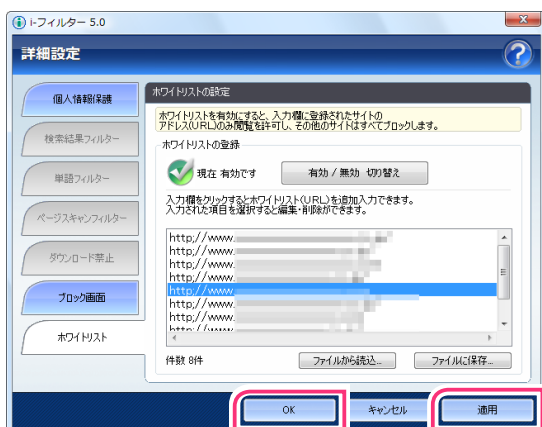
- 4 削除したい URL を選び、Delete キーを押します。



- 5 [はい] をクリックします。



- 6 必要があれば手順 4、5 を繰り返し、[OK] または [適用] ボタンをクリックします。



補足

- [キャンセル] ボタンをクリックすると、そのとき削除した URL は元にもどってしまいます。
- [OK] ボタンをクリックすると、詳細設定画面が閉じます。

4 インターネット利用状況を知ろう

すべての利用者のインターネットアクセス履歴を見られます。アクセス数の多いサイト、サイトのカテゴリ、検索単語のランキングなどが一目でわかります。アクセス履歴から URLを選んでフィルターに追加することもできます。

どんなカテゴリのサイトを見たかを知る(カテゴリ割合)	75
よく見たサイトのランキングを知る(アクセスサイトランキング)	76
ブロックされたサイトを知る(ブロック履歴一覧)	78
検索に使った単語のランキングを知る(検索単語ランキング)	79
よく使うコミュニティサイトのランキングを知る(書き込み回数ランキング)	80
利用状況を詳しく知る(詳細履歴)	81
詳しい履歴から URL を見せて良いサイトに登録する	82
詳しい履歴から URL を見せたくないサイトに登録する	83
詳しい履歴を CSV ファイルに保存する	85

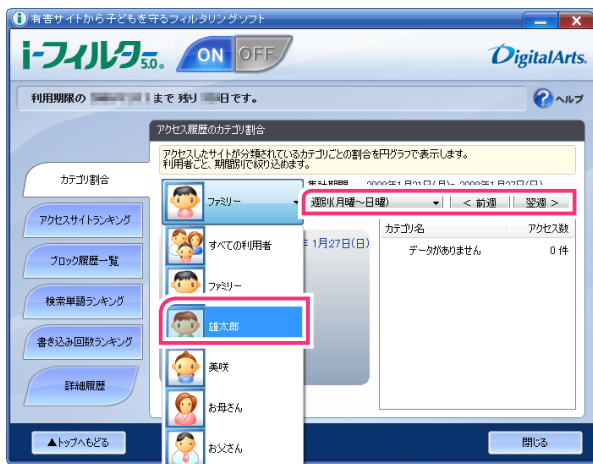
どんなカテゴリのサイトを見たかを知る(カテゴリ割合)

どんなカテゴリ(分類)のサイトを見たかがグラフでわかります。アクセスしたサイトだけでなく、アクセスしようとしてブロックされたサイトもグラフの集計対象となります。日別や週別など集計期間を指定し、利用者ごとのカテゴリ割合もわかります。



・当日分は表示されません。

- 1 設定画面のトップページで[インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。
- 2 利用者を選び、[集計期間] で利用状況の集計期間を選びます。



- ほかのページが表示されている場合は、[カテゴリ割合] ボタンをクリックしてください。
- [すべての利用者] を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。
- 集計期間は、以下のいずれかを選べます。
日別 / 週別 (月曜～日曜) / 月別 / 1年間

カテゴリ割合が円グラフで表示されます。



補足

- ・[集計期間] で [日別] を設定している場合に、[前日] ボタンまたは [翌日] ボタンをクリックすると、表示された日の前日または翌日のカテゴリ割合を見られます。
- ・[集計期間] で [週別 (月曜～日曜)] を設定している場合に、[前週] ボタンまたは [翌週] ボタンをクリックすると、表示された日の前週または翌週のカテゴリ割合を見られます。
- ・[集計期間] で [月別] を設定している場合に、[前月] ボタンまたは [翌月] ボタンをクリックすると、表示された日の前月または翌月のカテゴリ割合を見られます。
- ・カテゴリの内容については【フィルターのカテゴリー一覧】(P.119) をご覧ください。

よく見たサイトのランキングを知る(アクセスサイトランキング)

どんなサイトをよく見たかがグラフと URL でわかります。日別や週別など集計期間を指定し、利用者ごとのアクセスサイトランキングもわかります。



注意

- ・当日分は表示されません。

1 設定画面のトップページで[インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。

2 [アクセスサイトランキング] ボタンをクリックします。



補足

- ・[詳細履歴] ボタンをクリックすると、利用状況を詳しく知ることができます。詳しくは【利用状況を詳しく知る(詳細履歴)】(P.81) をご覧ください。

3 利用者を選び、[集計期間] で利用状況の集計期間を選びます。



補足

- [すべての利用者] を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。
- 集計期間は、以下のいずれかを選べます。
日別 / 週別 (月曜～日曜) / 月別 / 1年間

よく見たサイトとアクセス件数がランキングで表示されます。



補足

- [集計期間] で [日別] を設定している場合に、[前日] ボタンまたは [翌日] ボタンをクリックすると、表示された日の前日または翌日のアクセスサイトランキングを見られます。
- [集計期間] で [週別 (月曜～日曜)] を設定している場合に、[前週] ボタンまたは [翌週] ボタンをクリックすると、表示された日の前週または翌週のアクセスサイトランキングを見られます。
- [集計期間] で [月別] を設定している場合に、[前月] ボタンまたは [翌月] ボタンをクリックすると、表示された日の前月または翌月のアクセスサイトランキングを見られます。

4

利用状況を知ろう

ブロックされたサイトを知る(ブロック履歴一覧)

アクセスしようとしてブロックされたサイトを見ることができます。日別にブロックされたサイトを表示できます。

- 1 設定画面のトップページで[インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。
- 2 [ブロック履歴一覧] ボタンをクリックします。



補足

- ・[詳細履歴] ボタンをクリックすると、利用状況を詳しく知ることができます。詳しくは【利用状況を詳しく知る(詳細履歴)】(P.81) をご覧ください。

- 3 利用者を選びます。



補足

- ・[すべての利用者] を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。

ブロックされたサイトとブロック理由が一覧で表示されます。



補足

- ・[前日] ボタンまたは [翌日] ボタンをクリックすると、前日または翌日にブロックされたサイトを見られます。

検索に使った単語のランキングを知る(検索単語ランキング)

インターネット検索サイトで検索に使った単語が、グラフと検索回数でわかります。日別や週別など集計期間を指定し、利用者ごとの検索単語ランキングもわかります。



・当日分は表示されません。

注意

- 1 設定画面のトップページで[インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。
- 2 [検索単語ランキング] ボタンをクリックします。



・[詳細履歴] ボタンをクリックすると、利用状況を詳細に知ることができます。
詳しくは【利用状況を詳しく知る(詳細履歴)】(P.81)をご覧ください。

補足

- 3 利用者を選び、[集計期間] で利用状況の集計期間を選びます。



・[すべての利用者] を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。
・集計期間は、以下のいずれかを選びます。
日別/週別(月曜～日曜)/月別/1年間

補足

検索に使った単語と検索回数がランキングで表示されます。





- ・ [集計期間] で [日別] を設定している場合に、[前日] ボタンまたは [翌日] ボタンをクリックすると、表示された日の前日または翌日の検索単語ランキングを見られます。
- ・ [集計期間] で [週別 (月曜～日曜)] を設定している場合に、[前週] ボタンまたは [翌週] ボタンをクリックすると、表示された日の前週または翌週の検索単語ランキングを見られます。
- ・ [集計期間] で [月別] を設定している場合に、[前月] ボタンまたは [翌月] ボタンをクリックすると、表示された日の前月または翌月の検索単語ランキングを見られます。

よく使うコミュニティサイトのランキングを知る (書き込み回数ランキング)

掲示板やブログ、SNSなどのコミュニティサイトでどれだけ情報を発信したかが、グラフと書き込み回数でわかります。書き込み先のサイトも表示されます。日別や週別など集計期間を指定し、利用者ごとの書き込み回数ランキングもわかります。



- ・ 当日分は表示されません。

- 1 設定画面のトップページで [インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。
- 2 [書き込み回数ランキング] ボタンをクリックします。



- ・ [詳細履歴] ボタンをクリックすると、利用状況を詳細に知ることができます。詳しくは【利用状況を詳しく知る (詳細履歴)】(P.81) をご覧ください。

- 3 利用者を選び、[集計期間] で利用状況の集計期間を選びます。



- ・ [すべての利用者] を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。
- ・ 集計期間は、以下のいずれかを選びます。
日別 / 週別 (月曜～日曜) / 月別 / 1年間

書き込み数の多いサイトと書き込み回数がランキングで表示されます。



- ・[集計期間] で [日別] を設定している場合に、[前日] ボタンまたは [翌日] ボタンをクリックすると、表示された日の前日または翌日の書き込み回数ランキングを見られます。
- ・[集計期間] で [週別 (月曜～日曜)] を設定している場合に、[前週] ボタンまたは [翌週] ボタンをクリックすると、表示された日の前週または翌週の書き込み回数ランキングを見られます。
- ・[集計期間] で [月別] を設定している場合に、[前月] ボタンまたは [翌月] ボタンをクリックすると、表示された日の前月または翌月の書き込み回数ランキングを見られます。

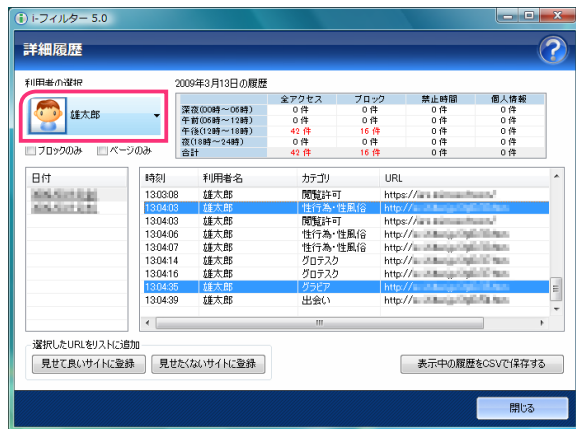
利用状況を詳しく知る(詳細履歴)

利用者ごとに利用状況を詳しく知ることができます。さらに表示された利用状況の URL をフィルターに登録したり、ファイルに保存することもできます。

- 1 設定画面のトップページで[インターネット利用状況確認] ボタンをクリックします。
- 2 [詳細履歴] ボタンをクリックします。



3 [利用者の選択] で利用者を選び、利用状況を確認します。



表示される履歴の意味は以下のとおりです。

○年○月○日の 履歴	全アクセス	以下の利用状況が時間帯ごとに表示されます。 全アクセス ブロックされたアクセスと許可されたアクセスを合わせたアクセス数が表示されます。
	ブロック	ブロックされたアクセス数が表示されます。
	禁止時間	インターネットタイマーで禁止された時間にアクセスしようとした回数が表示されます。
	個人情報	個人情報を発信しようとした回数が表示されます。
(インターネット へのアクセス履歴 が表示されます。)	時刻	アクセスした時刻が表示されます。
	利用者名	利用者名が表示されます。
	カテゴリ	アクセスした結果が表示されます。
	URL	アクセス対象の URL が表示されます。



補足

- ・ [すべての利用者] を選ぶと、すべての利用者のアクセスが利用状況の対象となります。
- ・ [ブロックのみ] にチェックマークを付けると、ブロックされたサイトのみの詳しい履歴が表示されます。
- ・ [ページのみ] にチェックマークを付けると、画像ファイル、音楽ファイル、スタイルシート、スクリプトファイルを除いたページのみの詳しい履歴が表示されます。
- ・ [日付] で日付をクリックすると、該当する日付の詳しい履歴が表示されます。
- ・ 履歴をダブルクリックすると、該当するサイトにアクセスできます。

詳しい履歴から URL を見せて良いサイトに登録する

詳細履歴画面に表示された URL を選んで、見せて良いサイトに登録することができます。

1 詳細履歴画面で、見せて良いサイトとして登録したい URL を選びます。



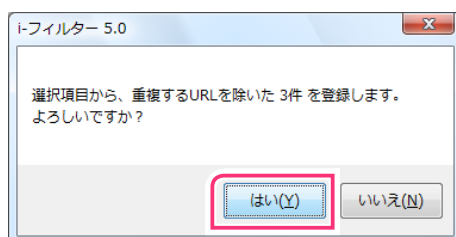
補足

- ・ クリックすると、1つの URL を選べます。
- ・ URL をクリックし、次に Shift キーを押しながら別の URL をクリックすると、最初に選んだ URL と次に選んだ URL の間にあるすべての URL を選べます。
- ・ Ctrl キーを押しながら URL をクリックすると、複数の URL を選べます。

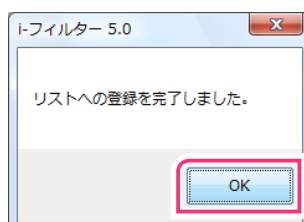
2 [見せて良いサイトに登録] ボタンをクリックします。



3 [はい] ボタンをクリックします。



4 [OK] ボタンをクリックします。

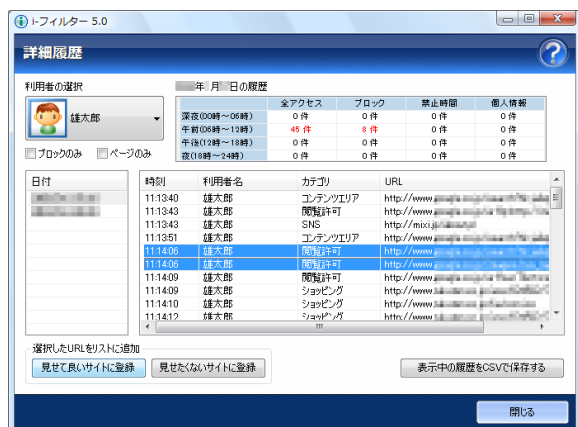


選んだ URLが見せて良いサイトに登録されます。

詳しい履歴から URLを見せたくないサイトに登録する

詳細履歴画面に表示された URLを選んで、見せたくないサイトに登録することができます。

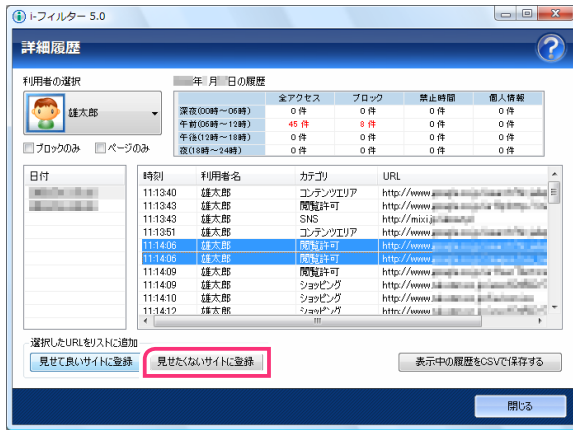
1 詳細履歴画面で、見せたくないサイトとして登録したい URLを選びます。



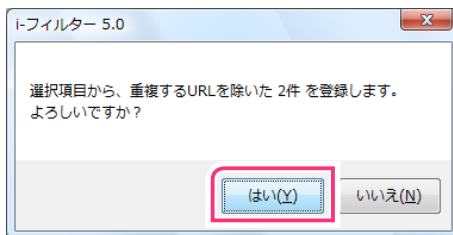
補足

- URLをクリックすると選べます。
- URLをクリックし、次に Shiftキーを押しながら別の URLをクリックすると、最初に選んだ URLと次に選んだ URLの間にあるすべての URLを選べます。
- Ctrlキーを押しながら URLをクリックすると、複数の URLを選べます。

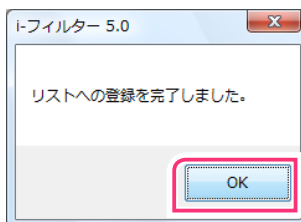
2 [見せたくないサイトに登録] ボタンをクリックします。



3 [はい] ボタンをクリックします。



4 [OK] ボタンをクリックします。

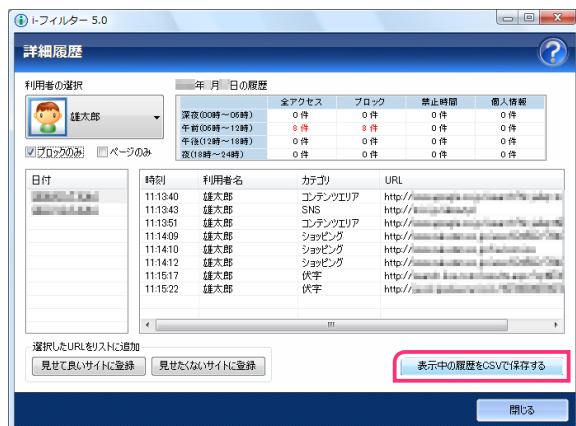


選んだ URLが見せたくないサイトに登録されます。

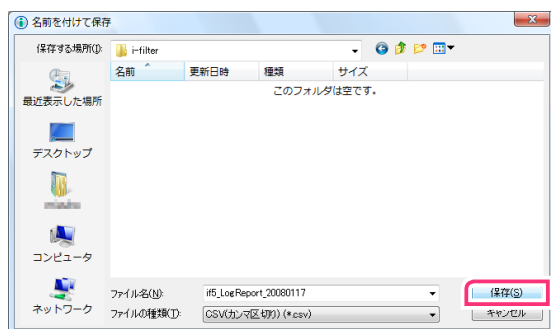
詳しい履歴を CSVファイルに保存する

表示された詳細履歴の内容を CSV形式のファイルで保存することができます。CSV形式とは、テキストデータをカンマ(,) で区切ったファイルの形式です。テキストエディタや表計算ソフトなどで閲覧・編集することができます。

- 1 詳細履歴画面で「表示中の履歴を CSVで保存する」ボタンをクリックします。



- 2 保存する場所を選び、「ファイル名」にファイル名を入力し、「保存」ボタンをクリックします。



補足

- ファイル名を変えない場合は、「if5_LogReport_yyyymmdd.csv」というファイル名で保存されます。yyyy は「年」(西暦 2009 など)、mm は「月」(01～12)、dd は「日」(01～31) で設定されています。

詳しい履歴がファイルに保存されます。

5 「i-フィルター」を使いこなそう (システム設定)

「i-フィルター」を使いこなすためのさまざまな設定について説明しています。

「i-フィルター」を最新の状態にする(データ更新)	87
「i-フィルター」を自動でデータ更新する	87
「i-フィルター」を今すぐ更新する	88
履歴の保存日数を設定する	89
「i-フィルター」設定用の管理パスワードを変える	90
起動に関する表示とプロキシサーバーの設定をする	91
「i-フィルター」の起動に関する設定をする	91
プロキシサーバーの設定をする	94
バージョン情報を見る	95
「i-フィルター」を停止／起動する	96
「i-フィルター」を停止する	96
「i-フィルター」を起動する	97

「i-フィルター」を最新の状態にする(データ更新)

フィルターデータや「i-フィルター」のプログラムは随時更新されています。最新のフィルターデータやプログラムファイルをインターネット経由で手に入れ、フィルターの精度を高めましょう。これを「データ更新」と呼びます。データ更新には、以下の2つの方法があります。

- ・【「i-フィルター」を自動でデータ更新する】
意識しなくても自動的にデータ更新が行われます。つねに最新の「i-フィルター」をお使いいただけます。
- ・【「i-フィルター」を今すぐ更新する】(P.88)
お好きなときにデータ更新できます。

「i-フィルター」を自動でデータ更新する

つねに意識をしなくても、指定した時間ごとに、自動的に最新のファイルをダウンロードしてデータ更新を行うことを「自動更新」と呼びます。「i-フィルター」をつねに最新の状態に保つためには、自動更新の設定を有効にすることをお勧めします。初期設定では、自動更新が有効になっています。



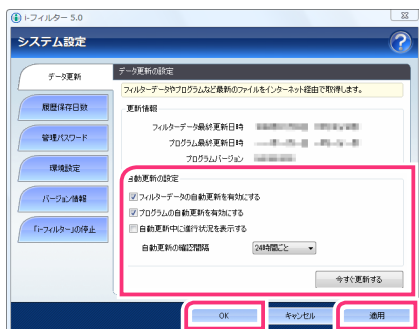
- ・長時間自動更新機能を無効にし、データ更新を行わなかったときは、データ更新に時間がかかることがあります。



- ・データ更新中にインターネットへのアクセスが切断されても、アクセス復旧後にデータの続きをダウンロードし、データ更新の続きを行います。

1 設定画面のトップページで[システム設定] ボタンをクリックします。

2 設定したい内容に設定して、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



設定項目	設定内容
フィルターデータの自動更新を有効にする	チェックマークを付けると、フィルターデータを自動更新するよう設定されます。
プログラムの自動更新を有効にする	チェックマークを付けると、プログラムが自動更新するよう設定されます。
自動更新中に進行状況を表示する	チェックマークを付けると、自動更新中に進行状況が表示されるよう設定されます。
自動更新の確認間隔	自動更新する場合、最新のフィルターデータ、またはプログラムがないか確認する間隔を設定します。以下から時間の間隔を選べます。初期設定では、「24 時間ごと」が設定されています。 3 時間ごと / 6 時間ごと / 9 時間ごと / 12 時間ごと / 24 時間ごと / 48 時間ごと



補足

- システム設定画面でほかのボタンが表示されている場合は、[データ更新] ボタンをクリックします。
- [更新情報] には、フィルターデータの最終更新日時、プログラムの最終更新日時、プログラムのバージョンが表示されます。
- データ更新中にもインターネットにアクセスしたり、フィルター機能を使えます。
- インストール直後のデータ更新は自動で行われます。
- [OK] ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

「i-フィルター」を今すぐ更新する

最新のフィルターデータやプログラムファイルをお好みのときにダウンロードし、データ更新する手順を説明しています。



注意

- 長時間自動更新機能を無効にし、データ更新を行わなかったときは、データ更新に時間がかかることがあります。



補足

- データ更新中にインターネットへのアクセスが切断されても、アクセス復旧後にデータの続きをダウンロードし、データ更新の続きを行います。

1 設定画面のトップページで[システム設定] ボタンをクリックします。

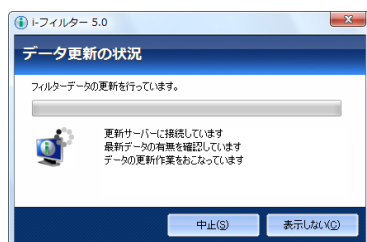
2 [今すぐ更新する] ボタンをクリックします。



補足

- システム設定画面でほかのボタンが表示されている場合は、[データ更新] ボタンをクリックします。
- [更新情報] には、フィルターデータの最終更新日時、プログラムの最終更新日時、プログラムのバージョンが表示されます。

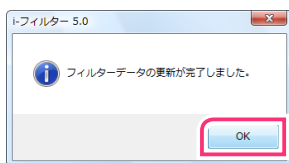
データ更新状況が表示されます。



補足

- データ更新中にもインターネットにアクセスしたり、フィルター機能を使えます。
- インストール直後のデータ更新は自動で行われます。
- 自動更新機能を無効にするには、【「i-フィルター」を自動でデータ更新する】(P.87) をご覧になり、[フィルターデータの自動更新を有効にする] と [プログラムの自動更新を有効にする] のチェックマークをはずしてください。

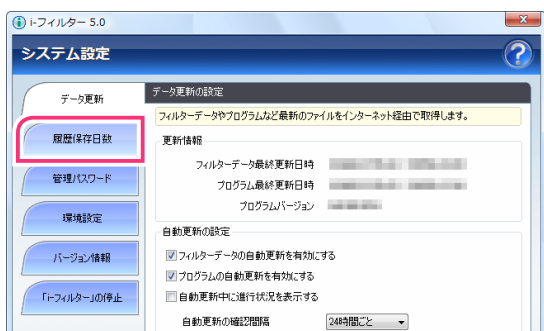
- 3 以下のメッセージが表示されたら、[OK] ボタンをクリックします。



履歴の保存日数を設定する

利用状況の表示(P.81) は、インターネットのアクセス履歴を基にしています。アクセス履歴を保存する日数を設定する方法を説明しています。

- 1 設定画面のトップページで[システム設定] ボタンをクリックします。
- 2 [履歴保存日数] ボタンをクリックします。



- 3 [履歴を保存する日数] を設定して、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- インターネットでアクセスしたり、ブロックされた履歴を保存する日数を以下から選べます。初期設定では、「365」が設定されています。
0(なし) / 7/ 15/ 30/ 60/ 90/ 180/ 365
- [履歴を保存する日数] に「0(なし)」を設定した場合は、履歴が保存されません。
- [履歴を保存する日数] に「0(なし)」以外を設定した場合は、設定した日数が過ぎた履歴が古いものから自動的に削除されます。
- 「i-フィルター」の再起動後に設定が有効になります。
- [OK] ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

「i-フィルター」設定用の管理パスワードを変える

「i-フィルター」の設定に使う管理パスワードを変える手順を説明しています。

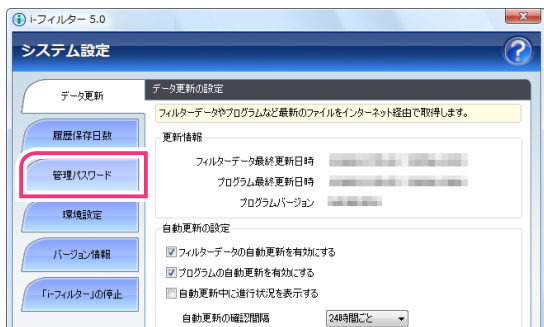


注意

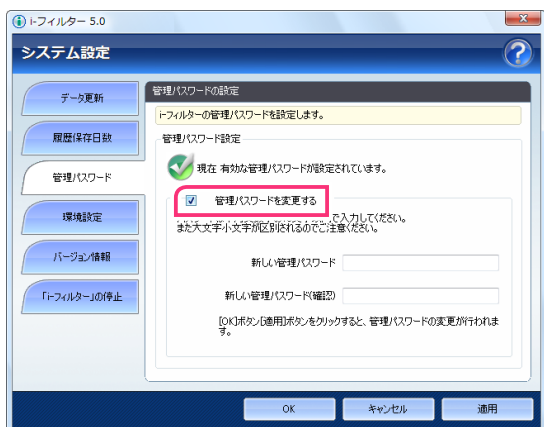
- 管理パスワードを忘れてしまったときは、設定画面にログインできなくなります。管理パスワードの入力画面で「管理パスワードを忘れた場合」をクリックして、パスワード解読キー発行の手続きを行ってください。詳しくは【困ったときには(管理パスワード)】(P.111)をご覧ください。

1 設定画面のトップページで [システム設定] ボタンをクリックします。

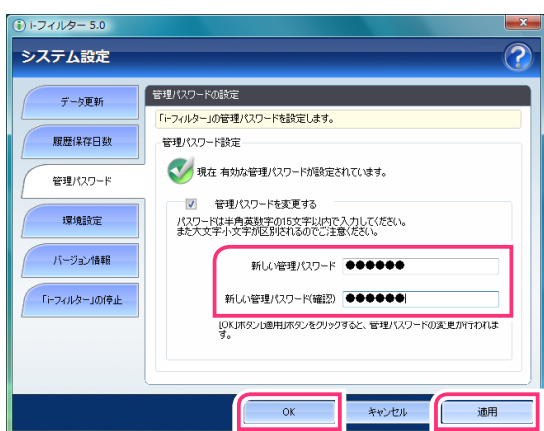
2 [管理パスワード] ボタンをクリックします。



3 [管理パスワードを変更する] にチェックマークを付けます。



4 [新しい管理パスワード] と [新しい管理パスワード (確認)] に新しい管理パスワードを入力して、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



補足

- 管理パスワードは半角英数字 15 字以内で入力します。大文字と小文字は区別されます。
- 管理パスワードは、「i-フィルター」の設定を行うための大切なものです。忘れてしまわないように大切に保管してください。
- 管理パスワードは、ほかの使用者に知られると設定の変更ができてしまうので、知られないようにしてください。
- [OK] ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

起動に関する表示とプロキシサーバーの設定をする

「i-フィルター」の起動に関する設定やプロキシサーバーの設定について説明しています。

「i-フィルター」の起動に関する設定をする

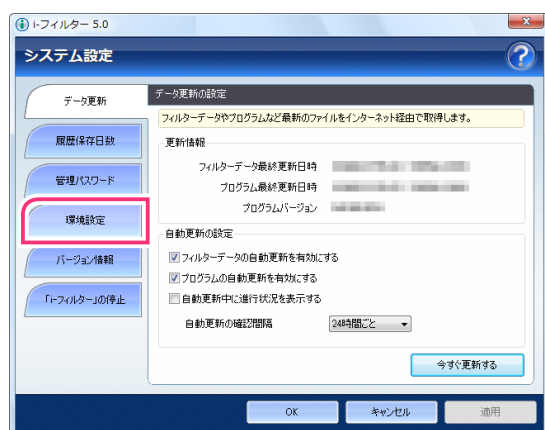
「i-フィルター」の起動に関する設定について説明しています。

■ 自動的に起動する／しない

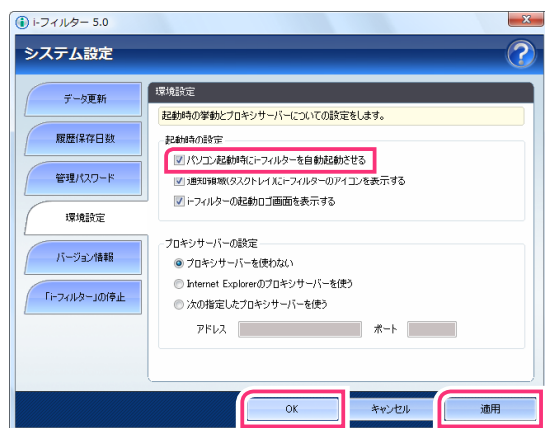
Windows を起動すると、自動的に「i-フィルター」が起動するよう設定できます。初期設定では、「i-フィルター」が自動的に起動するよう設定されています。セキュリティのために自動的に起動するよう設定しておくことをお勧めします。

1 設定画面のトップページで [システム設定] ボタンをクリックします。

2 [環境設定] ボタンをクリックします。




3 [起動時の設定] で [パソコン起動時にi-フィルターを自動起動させる] にチェックマークを付けて、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。






補足

- 自動的に起動させたくない場合は [パソコン起動時にi-フィルターを自動起動させる] のチェックマークをはずして、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。
- [OK] ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

■ 通知領域(タスクトレイ)にアイコンを表示する／しない

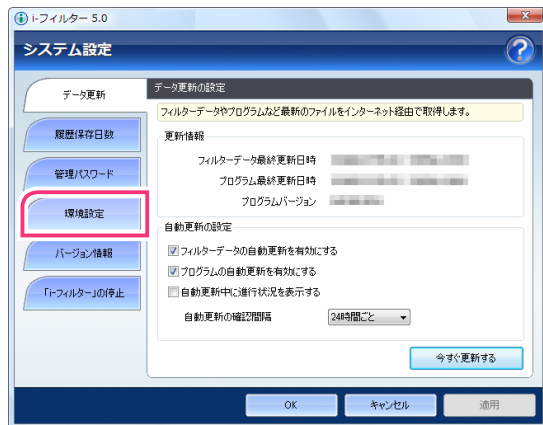
通知領域(タスクトレイ)に、「i-フィルター」のアイコン  を表示させる手順を説明しています。初期設定では通知領域(タスクトレイ)にアイコンを表示するよう設定されています。



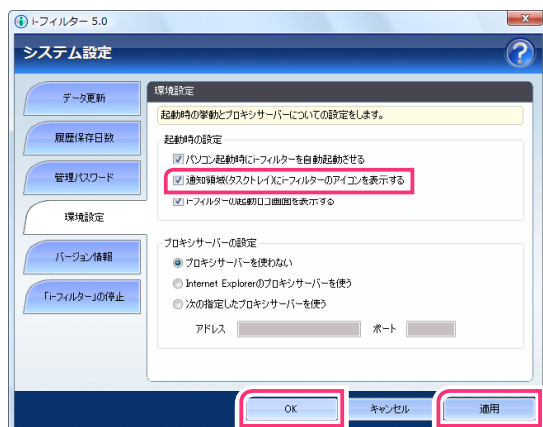
- 通知領域(タスクトレイ)の  から、「i-フィルター」の設定を行う設定画面を表示させることができます。詳しくは【設定画面を表示する】(P.9)をご覧ください。
- 通知領域(タスクトレイ)の  の状態から、「i-フィルター」のオン/オフや利用期限切れを知ることができます。詳しくは【通知領域(タスクトレイ)のアイコンを使う】(P.99)をご覧ください。
- 通知領域(タスクトレイ)の  にカーソルを合わせると、フィルタリングされる利用者がポップアップで表示されます。


1 設定画面のトップページで[システム設定] ボタンをクリックします。

2 [環境設定] ボタンをクリックします。



3 [起動時の設定] で [タスクトレイにi-フィルターのアイコンを表示する] にチェックマークを付けて、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。

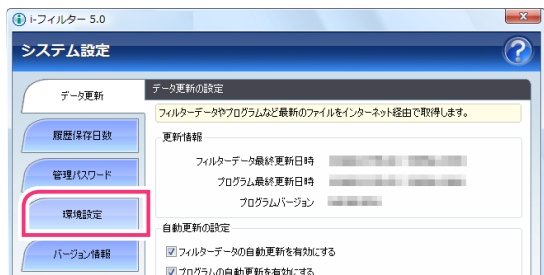


- 通知領域(タスクトレイ)に  を表示させたくない場合は、[タスクトレイにi-フィルターのアイコンを表示する] のチェックマークをはずして、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。
- 「i-フィルター」の再起動後に設定が有効になります。
- [OK] ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

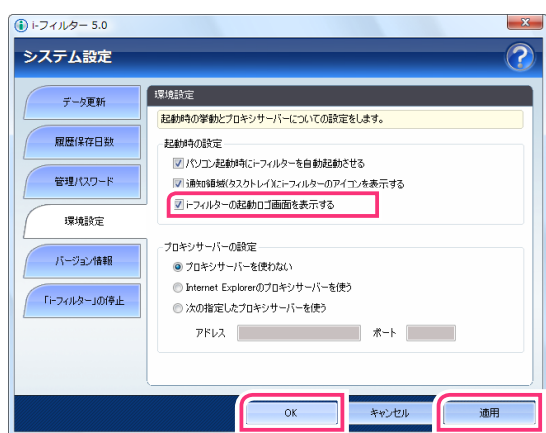
■ 起動時にロゴ画面を表示する／しない

「i-フィルター」の起動時にロゴ画面を表示させる方法を説明しています。

- 1 設定画面のトップページで[システム設定] ボタンをクリックします。
- 2 [環境設定] ボタンをクリックします。



- 3 [起動時の設定] で [i-フィルターの起動ロゴ画面を表示する] にチェックマークを付けて、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。



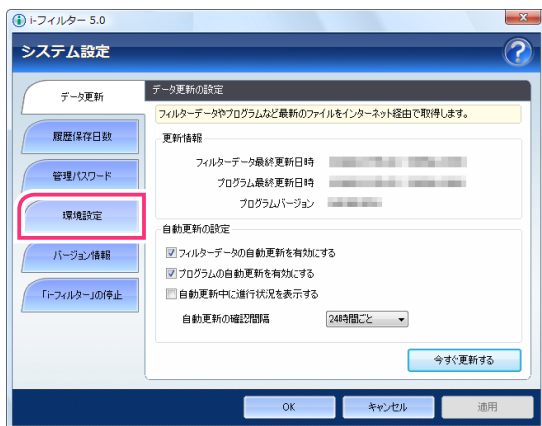
補足

- 起動時にロゴ画面を表示させたくない場合は、[i-フィルターの起動ロゴ画面を表示する] のチェックマークをはずして、[OK] ボタンまたは [適用] ボタンをクリックします。
- [OK] ボタンをクリックすると、システム設定画面が閉じます。

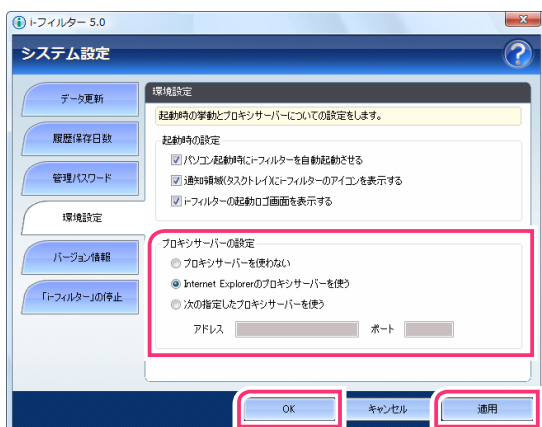
プロキシサーバーの設定をする

インターネットのアクセスにプロキシサーバーの設定をしているときは、「i-フィルター」でもプロキシサーバーの設定をする必要があります。通常は設定する必要はありません。

- 1 設定画面のトップページで[システム設定] ボタンをクリックします。
- 2 [環境設定] ボタンをクリックします。



- 3 [プロキシサーバーの設定] でプロキシサーバーの設定をして、[OK] ボタンまたは[適用] ボタンをクリックします。



設定項目	設定内容
プロキシサーバーを使わない	プロキシサーバーを使いません。 ※通常は、この設定を選んでください。
Internet Explorer のプロキシサーバーを使う	Internet Explorer のプロキシサーバー設定を自動で読み込みます。
次の指定したプロキシサーバーを使う	プロキシサーバーを手動で設定します。
アドレス	プロキシサーバーのアドレスを入力します。 ※認証プロキシには対応していません。 上位プロキシに認証が必要なプロキシサーバーを設定しないでください。 ※半角文字で入力してください。
ポート	プロキシサーバーのポートを入力します。 ※ほかのソフトウェアと重複しないものを入力してください。 ※半角数字で入力してください。



補足

- ・プロキシサーバーを手動で設定する場合は、アドレスとポートを指定する必要があります。

バージョン情報を見る

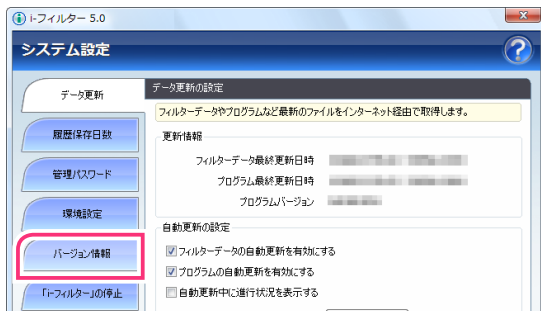
「i-フィルター」のバージョン情報、ライセンス情報を表示できます。プログラムのバージョンやサービスコード、最終認証日時、シリアル ID、利用期限がわかります。サポートをお受けいただく場合に必要となる情報です。



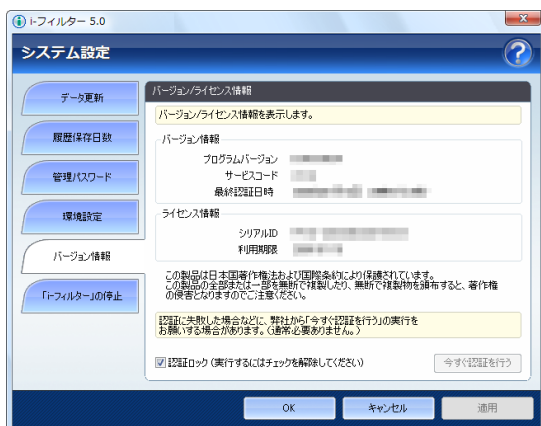
- 通知領域 (タスクトレイ) の をクリックして、[サポート] → [バージョン情報] をクリックしてもバージョン情報・ライセンス情報を見ることができます。
- Windowsのスタートボタンから [すべてのプログラム] (またはプログラム) → [i-フィルター 5.0] → [サポート] → [バージョン情報] をクリックしてもバージョン情報・ライセンス情報を見ることができます。

1 設定画面のトップページで[システム設定] ボタンをクリックします。

2 [バージョン情報] ボタンをクリックします。



バージョン情報とライセンス情報が表示されます。



表示・設定項目		表示・設定内容
バージョン情報	プログラムバージョン	「i-フィルター」のバージョンが表示されます。
	サービスコード	「i-フィルター」の製品コードが表示されます。
	最終認証日時	最後に「i-フィルター」のサーバーへ認証を行った日時が表示されます。
ライセンス情報	シリアル ID	「i-フィルター」のシリアル ID が表示されます。
	利用期限	お客さまが「i-フィルター」をお使いになれる期限が表示されます。
[認証ロック]		継続利用の手続きの後などに使う場合があります。

「i-フィルター」を停止／起動する

「i-フィルター」の停止方法と再起動方法について説明しています。

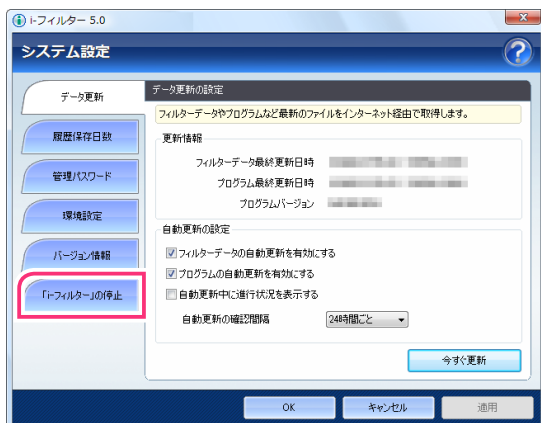
「i-フィルター」を停止する

「i-フィルター」を停止させることができます。「i-フィルター」を停止させると、「i-フィルター」の機能がご利用できなくなります。

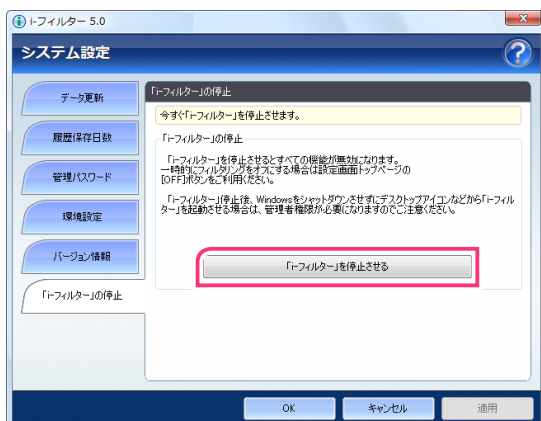


・「i-フィルター」を停止させることができるのは、Windowsの管理者権限を持つ利用者のみです。

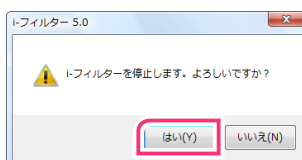
- 1 設定画面のトップページで[システム設定] ボタンをクリックします。
- 2 「i-フィルター」の停止] ボタンをクリックします。



- 3 「i-フィルター」を停止させる] ボタンをクリックします。



- 4 [[はい] ボタンをクリックします。

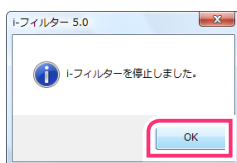


- 5 「あなたが開始したプログラムである場合は、続行してください。」というメッセージが表示されたら [続行] ボタンをクリックしてください。



・Windows XP, Windows 2000の場合は、この操作は必要ありません。手順 6に進んでください。

- 6 [OK] ボタンをクリックします。



「i-フィルター」が停止されます。



・「i-フィルター」は Windows の管理者権限を持つユーザーのみ停止することができます。



・「i-フィルター」を自動的に起動するように設定している場合は、Windows を再起動したり、ログオンし直したりすると「i-フィルター」が起動します。詳しくは【自動的に起動する/しない】(P.91) をご覧ください。

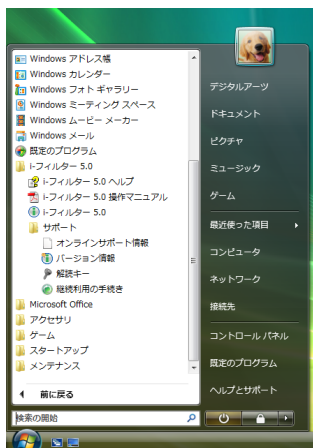
「i-フィルター」を起動する

「i-フィルター」を起動する方法を説明しています。



・「i-フィルター」を起動させることができるのは、Windows の管理者権限を持つ利用者のみです。

- 1 Windows のスタートボタンから [すべてのプログラム] (または [プログラム]) → [i-フィルター 5.0] → [i-フィルター 5.0] をクリックします。



・デスクトップの [i-フィルター 5.0] アイコンをダブルクリック (設定によってはシングルクリック) しても同様の操作です。

- 2 「プログラムを続行するにはあなたの許可が必要です」というメッセージが表示されたら、[続行] ボタンをクリックします。



・Windows XP, Windows 2000の場合は、この操作は必要ありません。

「i-フィルター」が起動されます。

6 その他




「i-フィルター」を使うための便利な機能をご紹介します。

通知領域(タスクトレイ)のアイコンを使う	99
「i-フィルター」の利用期限について	100
利用期限について	100
利用期限を知る	100
利用期限のお知らせ	101
利用期限の継続について	101
利用期限の継続手続きをする	102
ヘルプを見る	103
「i-フィルター」をアンインストールする	104
Windows 7、Vistaをお使いの場合	104
Windows XP、2000をお使いの場合	107

通知領域(タスクトレイ)のアイコンを使う


通知領域(タスクトレイ)に表示される「i-フィルター」アイコンから「i-フィルター」の設定や利用者の切り替えなどを行えます。

通知領域(タスクトレイ)のアイコンで、フィルター機能の状態がわかります。

 (緑色)	フィルター機能がオンです。詳しくは【フィルターをオン/オフする】(P.12)をご覧ください。
 (灰色)	フィルター機能がオフです。詳しくは【フィルターをオン/オフする】(P.12)をご覧ください。
	「i-フィルター」の利用期限が過ぎています。継続利用の手続きを行ってください。 詳しくは、【利用期限の継続手続きをする】(P.102)をご覧ください。




補足

- 「i-フィルター」の設定画面が表示されている場合は、通知領域(タスクトレイ)のアイコンからの操作は行えません。
- お客さまの設定により、アイコンが隠れている場合があります。通知領域(タスクトレイ)のアイコンにある  をクリックすると、隠れていた通知領域(タスクトレイ)のアイコンが表示されます。
- お客さまの設定により、通知領域(タスクトレイ)のアイコンが表示されないよう設定している場合があります。詳しくは【通知領域(タスクトレイ)にアイコンを表示する/しない】(P.92)をご覧ください。



■ 通知領域(タスクトレイ)のアイコンからできること

通知領域(タスクトレイ)の  をクリックすると、ポップアップメニューが表示されます。メニューから項目をクリックすると、指定した項目を実行できます。



通知領域(タスクトレイ)のアイコンから実行できるメニューは、以下のとおりです。

設定画面	設定画面が表示されます。詳しくは【設定画面を表示する】(P.9)をご覧ください。	
利用者の切り替え	利用者切り替え画面が表示されます。詳しくは【利用者を切り替える】(P.18)をご覧ください。 ※利用者が1人の場合は、[利用者の切り替え]がグレーで表示され、選ぶことができません。	
サポート	ヘルプ表示	ヘルプが表示されます。詳しくは【ヘルプを見る】(P.103)をご覧ください。
	オンラインサポート情報	「i-フィルター」のサポート情報サイトが表示されます。
	解読キーの入力	管理パスワードを表示するための解読キー入力画面が表示されます。 詳しくは【困ったときには(管理パスワード)】(P.111)をご覧ください。
	継続利用の手続き	「i-フィルター」の利用期限を延長するための手続きを行うことができます。 詳しくは【利用期限の継続手続きをする】(P.102)をご覧ください。
	バージョン情報	バージョン情報画面が表示されます。詳しくは【バージョン情報を見る】(P.95)をご覧ください。

「i-フィルター」の利用期限について

「i-フィルター」には利用期限があります。ぜひ利用期限をご延長いただき、安全・安心・快適なインターネットをお楽しみください。

利用期限について

「i-フィルター」には、利用期限があります。利用期限について説明します。

「i-フィルター」は、ユーザー登録時から1年間(365日)ご利用になれます。継続利用のお手続きをされないまま利用期限である1年間(365日)を過ぎると、「i-フィルター」の機能は使えなくなってしまいます。

利用期間中は、無料でテクニカルサポートを受けることができるほか、バージョンアップも無料で行えます。

利用期限を知る

「i-フィルター」の利用期限を知る方法について説明しています。

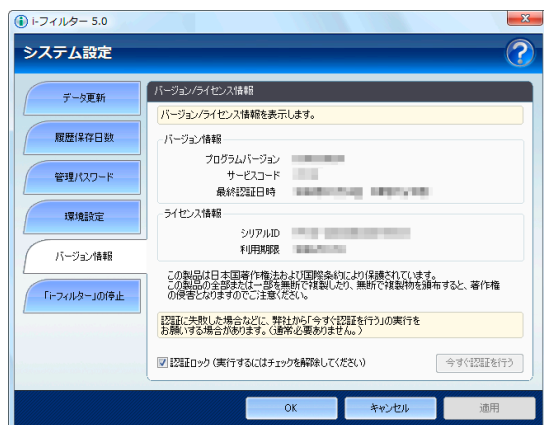
- ・ 設定画面のトップページから知る

設定画面のトップページに利用期限が表示されます。



・バージョン情報から知る

バージョン情報・ライセンス情報画面に利用期限が表示されます。バージョン情報・ライセンス情報の表示方法については【バージョン情報を見る】(P.95)をご覧ください。



利用期限のお知らせ

利用期限が近づくと、以下の方法で利用期限についてお知らせします。

・メール

利用期限の60日前、30日前、15日前、7日前にユーザー登録時にご登録いただいた E-Mail アドレスにメールを送付させていただきます。

利用期限の継続について

利用期限を継続するには、以下の方法があります。


・「i-フィルター」の設定画面から利用期限を継続

「i-フィルター」の設定画面で、以下の操作を行います。

[継続利用の手続き] ボタンをクリックすると、利用状況をお知らせする画面が表示されます。以降の手順について詳しくは【利用期限の継続手続きをする】(P.102)をご覧ください。



補足

- ・通知領域 (タスクトレイ) の  をクリックして、[サポート] → [継続利用の手続き] をクリックしても継続利用のお手続きに進んでいただけます。
- ・Windowsのスタートボタンから [すべてのプログラム] (または [プログラム]) → [i-フィルター 5.0] → [サポート] → [継続利用の手続き] をクリックしても継続利用のお手続きに進んでいただけます。
- ・デジタルアーツ株式会社のホームページ (<http://www.daj.jp/>) でも、利用期限を継続するお手続きをわかりやすく説明しています。

利用期限の継続手続きをする

「i-フィルター」を引き続きお使いいただくための継続利用の手続きの手順を説明します。

- 以下のものを用意します。
 - シリアル ID (バージョン情報で確認できます)
 - クレジットカード (クレジットカード決済をする場合)

- 利用期限の継続手続き画面を表示させます。

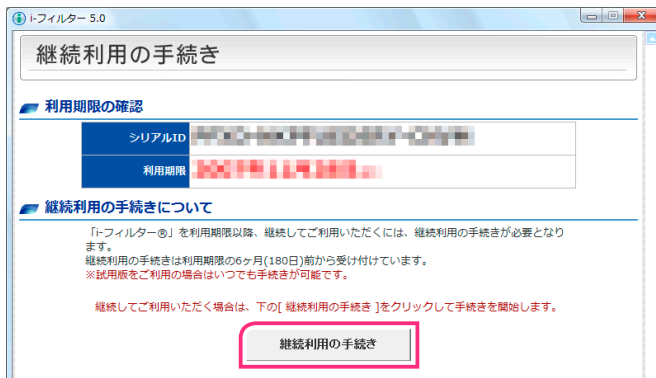


・利用期限の継続手続き画面を表示させる方法については【利用期限の継続について】(P.101) をご覧ください。

- 利用状況を確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

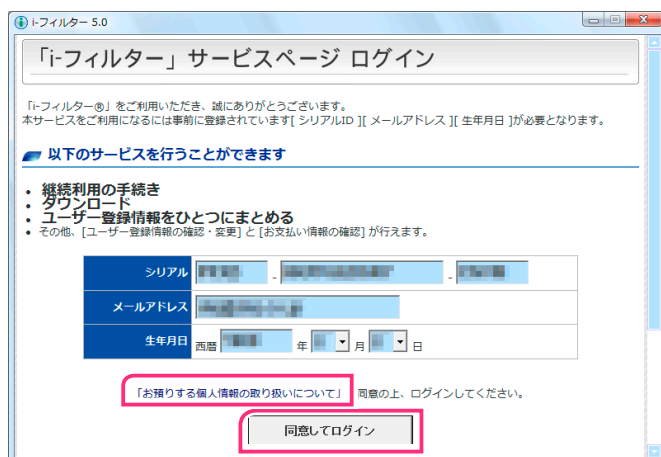


- [継続利用の手続き] ボタンをクリックします。



・継続利用の手続きは 180日前から行うことができます。

- 5 必要な情報を入力し、「お預かりする個人情報の取り扱いについて」をクリックしてご確認いただいた上で、[同意してログイン] ボタンをクリックします。



補足

- ・個人情報保護方針について書かれたページは、ご確認後閉じてください。

- 6 画面の指示に従い、継続利用の手続きを完了させてください。

ヘルプを見る

「i-フィルター」について、わからない点や知りたいことがあったときは、ヘルプを見ることができます。





補足

- ・かんたんナビゲーションを使うと、「i-フィルター」の使い方を目的別に探せます。ヘルプと併せてご覧ください。詳しくは【かんたんナビゲーションで操作がすぐわかる】(P.13) をご覧ください。

- 1 設定画面のトップページで、[ヘルプ] ボタンをクリックします。



補足

- ・システム設定画面、詳細履歴画面でヘルプを見るには、 をクリックします。
- ・Windowsのスタートボタンから [すべてのプログラム] (またはプログラム) → [i-フィルター 5.0] → [i-フィルター 5.0ヘルプ] をクリックしてもヘルプを表示できます。
- ・通知領域 (タスクトレイ) の  をクリックし、[サポート] → [ヘルプ表示] をクリックしてもヘルプを表示できます。

「i-フィルター」をアンインストールする

「i-フィルター」をアンインストールする手順を説明しています。

Windows 7、Vistaをお使いの場合

Windows 7、Vistaをお使いの場合に、「i-フィルター」をアンインストールする方法を説明しています。



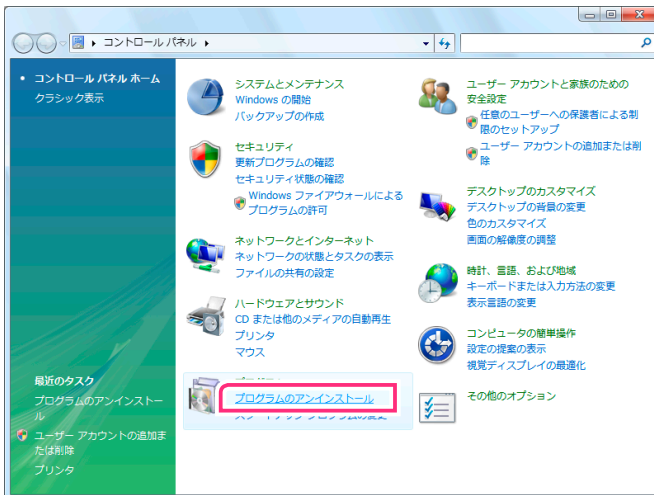
・「i-フィルター」をアンインストールするときは、必ず管理者 (Administrator) 権限でログオンして行ってください。

注意

- 1 ほかのアプリケーションを終了させます。
- 2 Windows のスタートボタンから [コントロールパネル] をクリックします。



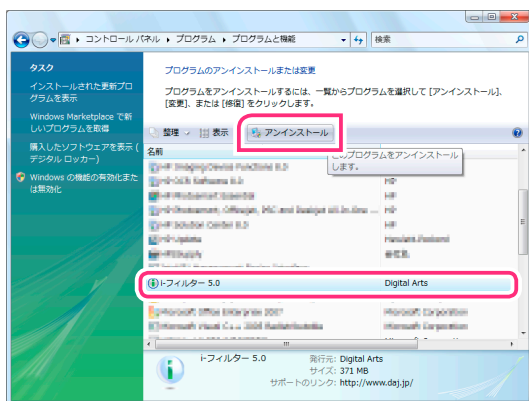
- 3 [プログラムのアンインストール] をクリックします。



補足

・上記画面と異なる画面が表示された場合は、画面左上にある [コントロールパネル ホーム] をクリックしてください。

4 [i-フィルター 5.0] をクリックし、[アンインストール] をクリックします。



5 「続行するにはあなたの許可が必要です」というメッセージが表示されたら、[続行] ボタンをクリックします。

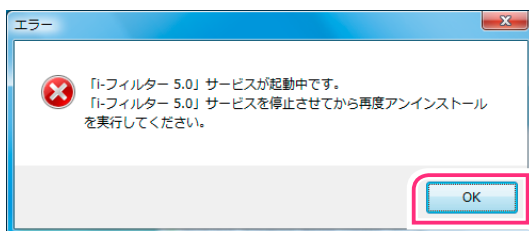


補足

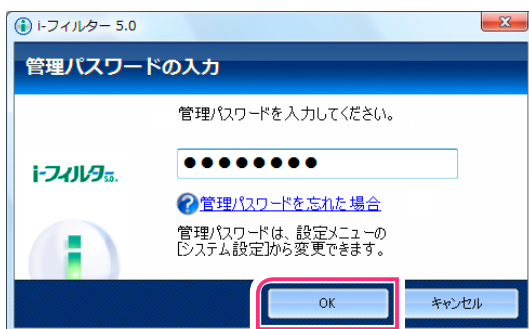
・Windows 7 の場合は、この操作は必要ありません。手順 6 に進んでください。

6 「i-フィルター」が起動中の場合は以下の手順を行ってください。

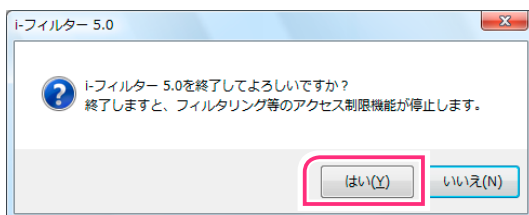
- ① 以下の画面が表示されたら [OK] ボタンをクリックします。
この画面が表示されない場合は、7 へお進みください。



- ② 管理パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



- ③ [はい] をクリックします。



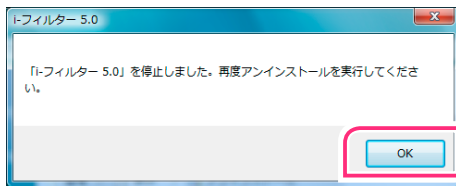
- ④ 「続行するにはあなたの許可が必要です」というメッセージが表示されたら [続行] ボタンをクリックします。



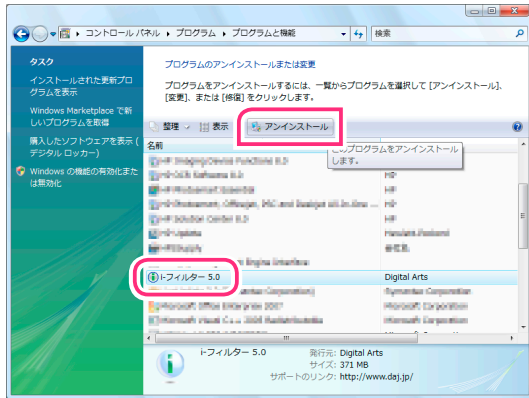
補足

・Windows 7 の場合は、「次のプログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか？」というメッセージが表示されるので [はい] をクリックします。

- ⑤ 以下の画面が表示されたら [OK] ボタンをクリックします。



- ⑥ [i-フィルター 5.0] をクリックし、[アンインストール] をクリックします。



- ⑦ 「続行するにはあなたの許可が必要です」というメッセージが表示されたら、[続行] ボタンをクリックします。



補足

- ・Windows 7 の場合は、この操作は必要ありません。手順 7 に進んでください。

- 7 [すべてアンインストール] ボタンをクリックします。



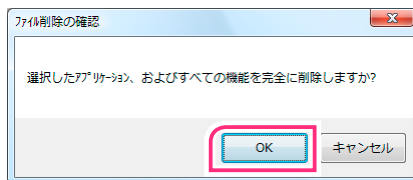
補足

- ・「i-フィルター」の設定や履歴を残してアンインストールしたい場合は、[設定・履歴を残してアンインストール] ボタンをクリックしてください。

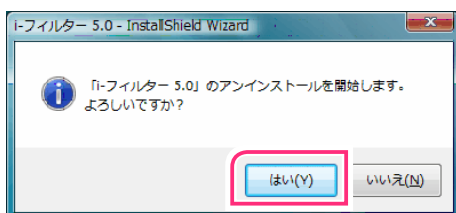


注意

- ・インストールした時の「i-フィルター」のバージョンによっては、以下の画面が表示される場合があります。この場合は、[OK] ボタンをクリックして9におすすみください。



- 8 以下の画面が表示されたら [はい] ボタンをクリックします。



9 [完了] ボタンをクリックします。



補足

- ・すぐに Windowsを終了させたくない場合は、[後ほど手動でコンピュータを再起動する。] を選択し、[完了] ボタンをクリックしてください。

Windowsが再起動され、「i-フィルター」のアンインストールが完了します。

Windows XP、2000をお使いの場合

Windows XP、Windows 2000をお使いの場合に、「i-フィルター」をアンインストールする方法を説明しています。

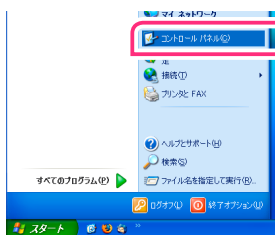


注意

- ・「i-フィルター」をアンインストールするときは、必ず管理者 (Administrator) 権限でログオンして行ってください。

1 ほかのアプリケーションを終了させます。

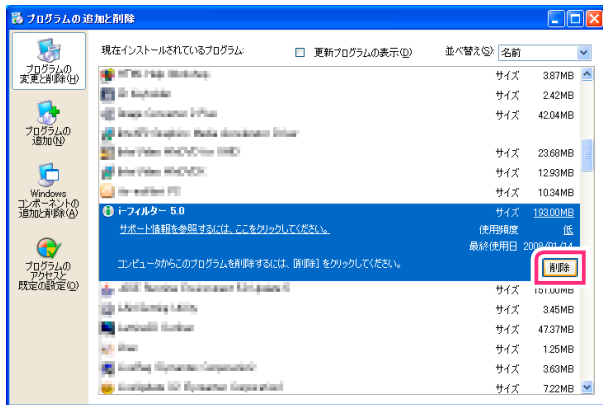
2 Windows のスタートボタンから、[コントロールパネル] をクリック (または [設定] をクリックした後、[コントロールパネル] をダブルクリック) します。



3 [プログラムの追加と削除] をクリック (または [アプリケーションの追加と削除] をダブルクリック) します。

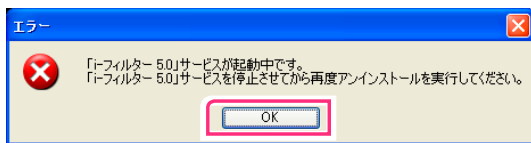


4 [i-フィルター 5.0] をクリックして、[削除] ボタンをクリックします。

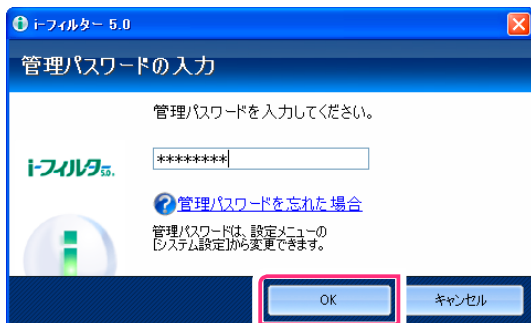


5 「i-フィルター」が起動中の場合は以下の手順を行ってください。

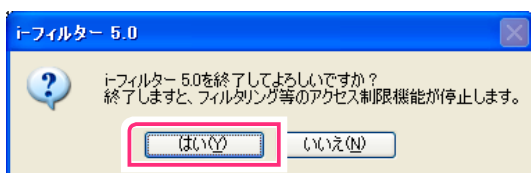
①以下の画面が表示されたら [OK] ボタンをクリックします。



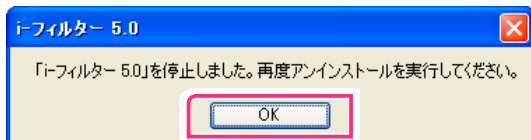
②管理パスワードを入力し、[OK] ボタンをクリックします。



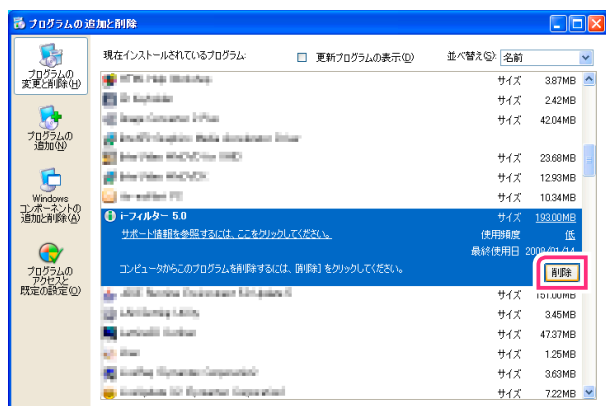
③ [はい] ボタンをクリックします。



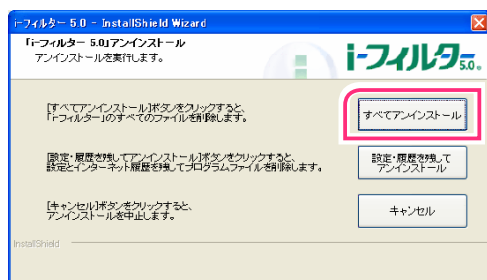
④以下の画面が表示されたら [OK] ボタンをクリックします。



⑤ [i-フィルター 5.0] をクリックして、[削除] ボタンをクリックします。



6 [すべてアンインストール] ボタンをクリックします。



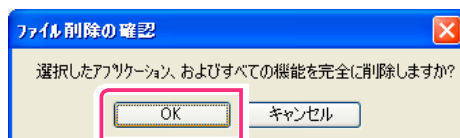
補足

・「i-フィルター」の設定や履歴を残してアンインストールしたい場合は、[設定・履歴を残してアンインストール] ボタンをクリックしてください。

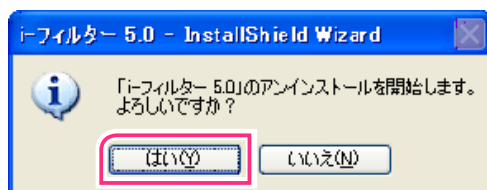


注意

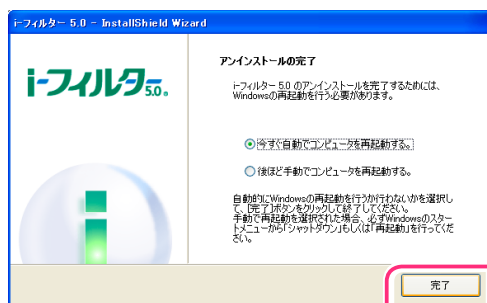
・インストールした時の「i-フィルター」のバージョンによっては、以下の画面が表示される場合があります。この場合は、[OK] ボタンをクリックして 8におすすみください。



7 以下の画面が表示されたら [はい] ボタンをクリックします。



8 [完了] ボタンをクリックします。



補足

・すぐに Windowsを終了させたくない場合は、[後ほど手動でコンピュータを再起動する。] を選択し、[完了] ボタンをクリックしてください。

Windowsが再起動され、「i-フィルター」のアンインストールが完了します。

付録

困ったときの解決方法や「i-フィルター」の便利な使い方など、「i-フィルター」についての役立つ情報を記載しています。

Q&A

お客さまからよくいただく質問とその回答を記載しています。困ったときや、「i-フィルター」について知りたいときにご覧ください。

困ったときには(インストール)

インストールに関することで困ったときにお読みください。

Q1. インストールに時間がかかる、インストール終了間際でパソコンを操作できなくなる

A1. 他社セキュリティ対策ソフトが動作しているとインストールに時間がかかることがあります。他社セキュリティ対策ソフト上で適切な設定を行ってください。それでも解決しない場合は、他社セキュリティ対策ソフトを一時的に停止させてください。他社セキュリティ対策ソフトの設定について詳しくは、他社セキュリティ対策ソフトの取扱説明書やヘルプをご覧くださいの上、ご利用のメーカー様にお問い合わせください。

Q2. 「シリアル ID が違います」と表示される

A2. シリアル ID を間違えている可能性があります。正しいシリアル番号を必ず半角英数で入力してください。

Q3. ファイアウォール製品などから、警告が表示されました。

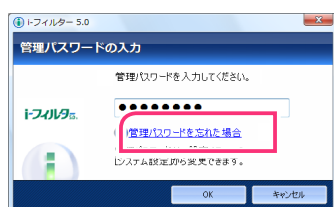
A3. 「i-フィルター」は、インストール中および使用中にインターネットに接続する必要があります。ファイアウォール※が警告を表示した場合には、すべて許可・つねに許可にするよう設定してください。
※一般的なウイルス対策製品には、ファイアウォールの機能が含まれています。

困ったときには(管理パスワード)

Q4. 管理パスワードを忘れてしまった

A4. 管理パスワードを忘れた場合、「解読キー」を入手することで、設定済みの管理パスワードを表示できます。以下の手順で解読キーを入手し、管理パスワードを確認してください。解読キー入手には、シリアルIDが必要です。

- ① 管理パスワードの入力画面で[管理パスワードを忘れた場合]をクリックします。




- ② 画面の指示に従って、解読キーの申し込みをします。デジタルアーツ株式会社 サポートセンターより、メールまたはお電話にてご連絡差し上げます。到着するまでお待ちください。



補足

・解読キーには、有効期限があります。有効期限内に以下の手順を行ってください。

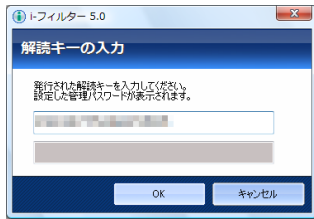
- ③ 通知領域(タスクトレイ)の  をクリックして、[サポート] → [解読キーの入力] をクリックします。



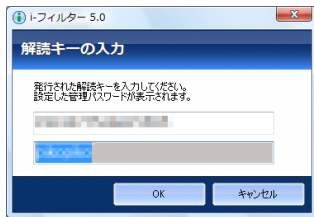
補足

・Windowsのスタートボタンから、[すべてのプログラム] (または[プログラム]) → [i-フィルター 5.0] → [サポート] → [解読キーの入力] をクリックしても同様の操作です。

- ④ [解読キーの入力] に手順 2 で発行された解読キーを入力して、[OK] ボタンをクリックします。



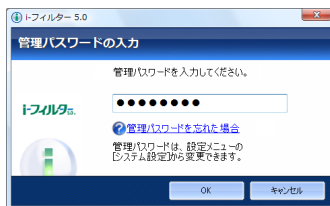
- ⑤ 管理パスワードが表示されます。



補足

・管理パスワードは、忘れたり、他の利用者に知られないよう、大切に保管してください。

- ⑥ 管理パスワードの入力画面に、表示された管理パスワードを入力します。



Q5. 管理パスワードが不正ですと表示される

- A5. 管理パスワードを大文字で入力している可能性があります。正しい管理パスワードを入力してください。管理パスワードはアルファベットの大文字・小文字が区別されます。キーボードの CapsLock 機能がオンになっていないか確認してください。



補足

・CapsLock機能とは、入力する英字の大文字・小文字を切り替える機能のことです。キーボードの [CapsLock] キーを押すたびに、機能のオン/オフが切り替わるようになっていて、オフの状態では小文字が、オンの状態では大文字が入力されます。

困ったときには(起動・停止)

「i-フィルター」の起動/終了に関することで困ったときにお読みください。

Q6. Windows 起動時に「i-フィルター」が起動されない

- A6. Windows 起動時に「i-フィルター」が自動起動するように設定しないと、Windows 起動時に「i-フィルター」は起動されません。セキュリティのため、「i-フィルター」を自動起動する設定をするようお勧めします。詳しくは【自動的に起動する/しない】(P.91) をご覧ください。

Q7. 「i-フィルター」を停止できない

- A7. 起動中の「i-フィルター」は、常駐動作しています。「i-フィルター」の設定画面を閉じた状態では、「i-フィルター」は停止していません。「i-フィルター」の停止方法について詳しくは【「i-フィルター」を停止する】(P.96) をご覧ください。

困ったときには(フィルタリング)

フィルタリングに関することで困ったときにお読みください。

Q8. 以下の3つの方法があります。いずれかを行ってください。

- A8. ・フィルター機能をオフにする
フィルター機能をオフにしている間は、フィルタリングされません。詳しくは【i-フィルター】をオフにする】(P.12)をご覧ください。
- ・いつもフィルター OFF に設定する
いつもフィルター OFF にすれば、フィルタリングされません。ただし、インターネットタイマーと個人情報保護機能を有効にできます。詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】(P.26)をご覧ください。
- ・「i-フィルター」を停止する
「i-フィルター」を終了すれば、フィルタリングされません。詳しくは【「i-フィルター」を停止する】(P.96)をご覧ください。

Q9. ブロックしたいサイトが表示されてしまう

A9. 以下の理由が考えられます。

- ・フィルター機能がオフになっている
フィルターを設定しても、フィルター機能をオンにしないと、フィルタリングされません。「i-フィルター」がオンになっていることをご確認ください。詳しくは【「i-フィルター」をオンにする】(P.12)をご覧ください。
- ・すべてのサイトにアクセスできるよう設定されている
フィルター強度設定で【いつもフィルター OFF】が設定されていると、フィルタリングはされません。詳しくは【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】(P.26)をご覧ください。
- ・見せて良いサイト、ホワイトリストの登録方法が間違っている
見せて良いサイト、ホワイトリストでは、登録された URL の部分的に一致するサイトを表示許可します。見せて良いサイト、ホワイトリストに「http://」などを登録してしまうと、ほとんどすべてのサイトが表示されます。見せて良いサイトについて詳しくは【見せて良いサイトを登録する(許可 URL)】(P.27)をご覧ください。ホワイトリストについて詳しくは【登録したサイトだけを見せる(ホワイトリスト)】(P.68)をご覧ください。
- ・ブラウザのキャッシュが残っている
ブラウザのキャッシュが残っていると、キャッシュが表示されることがあります。キャッシュを削除することをお勧めします。一時的には、キーボードの【Ctrl】キーを押しながら【F5】キーを押して、ページを更新できます。

【ブラウザ(Internet Explorer)のキャッシュの削除方法】

① Internet Explorerの【ツール】→【インターネットオプション】をクリックします。

② インターネットオプション画面の【全般】で、以下のいずれかの操作を行います。

< Internet Explorer 7 の場合 >

【閲覧の履歴】の【削除】ボタンをクリックし、【インターネット一時ファイル】の【ファイルの削除】ボタンをクリックして、さらに【はい】ボタンをクリックします。

< Internet Explorer 6 の場合 >

【インターネット一時ファイル】の【ファイルの削除】ボタンをクリックして、さらに【OK】をクリックします。

- ・利用期限が切れたまま使用している
利用期限が終了してしまうと、「i-フィルター」の機能をお使いになれません。継続利用の手続きを行って、「i-フィルター」をお使いください。詳しくは【利用期限の継続手続きをする】(P.102)をご覧ください。
- ・フィルターデータに登録されていない
上記可能性のどれにも該当しない場合は、フィルターデータに登録されていない可能性があります。【「i-フィルター」を今すぐ更新する】(P.88)をご覧くださいになり、フィルターデータを更新してください。「i-フィルター」のフィルターデータは、世界のメディアに関する研究成果に基づいた高い精度を誇っていますが、すべてのサイトをフィルタリングできるわけではありません。万が一、お客さまにとって有害と思われるサイトが見えてしまったら、大変お手数ですが、弊社ホームページにアクセスしてください。フィルターデータ追加修正依頼フォーム

から該当サイトの URL をご指摘いただければ幸いです。当社の格付け基準と照合し、フィルタリングの強化に反映させていただきます。また、見せたくないリストに登録いただければ、該当サイトはすみやかにフィルタリングされます。詳しくは【見せたくないサイトを登録する】(P.33) をご覧ください。

Q10. 表示されるはずのサイトがブロックされてしまう。

A10. 以下の理由が考えられます。

- 見せたくないサイトの登録方法が間違っている
見せたくないサイトとして URL が登録されると、その URL が部分的に一致するサイトをブロックします。見せたくないサイトとして「http://」、などを登録してしまうと、ほとんどすべてのサイトがブロックされます。見せたくないサイトについて詳しくは【見せたくないサイトを登録する（禁止 URL）】(P.32) をご覧ください。
- ホワイトリスト機能を有効にしている
ホワイトリストの機能が有効になっていると、フィルター強度設定、見せたくないサイト、見せて良いサイト、検索結果フィルター、単語フィルター、ページスキャン、PICS フィルター、ダウンロード禁止は、無効になります。
ホワイトリスト機能を使わずフィルタリングするには、ホワイトリスト機能を無効にする必要があります。ホワイトリスト機能について詳しくは【登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）】(P.68) をご覧ください。

Q11. ブラウザーにサイトは表示されるが、一部灰色で表示される部分がある。

A11. 「i-フィルター」では画像（バナーなど）に対してもフィルター機能が動作し、ブロックすることができます。画像がブロックされた場合、画像部分が灰色で表示されます。

Q12. ブロック画面にブロックされた理由が表示されない。

A12. ブロック画面にブロックされた理由を表示させるには、以下の条件を満たすブロック画面を設定している必要があります。

- ブロック画面 1～3 のいずれかを選ぶ
- ブロックした理由を表示するよう設定している（[ブロックした理由を表示する] にチェックマークが付いている）
ブロック画面の設定方法は【ブロック画面の設定をする（ブロック画面）】(P.64) をご覧ください。

Q13. [フィルター強度設定] ボタン、[見せたくないサイトを登録する] ボタン、[見せて良いサイトを登録する] ボタンのほか、詳細設定画面でいくつかのボタンがグレーで表示されてクリックできない。

A13. 以下のいずれかの設定がされていると、上記のボタンはグレーで表示されて操作できなくなります。

- いつもフィルター OFF の設定をしている
いつもフィルター OFF を設定すると、インターネットタイマーと個人情報保護機能以外のフィルターはすべて無効となります。フィルター強度設定画面でカテゴリセットを選ぶと、グレー表示されていた箇所が通常の表示にもどり、設定ができるようになります。フィルターを設定する手順については、【フィルターを設定する】(P.11)、【フィルター強度を設定する】(P.23) をご覧ください。
- ホワイトリスト機能を有効にしている
ホワイトリスト機能とは、ホワイトリストに登録したサイトだけにアクセスできるフィルターです。インターネットタイマー、個人情報保護、ブロック画面設定以外のフィルター設定は、すべて無効となります。ホワイトリスト機能を無効にすると、グレー表示されていた箇所が通常の表示にもどり、設定ができるようになります。ホワイトリスト機能の操作方法については【登録したサイトだけを見せる（ホワイトリスト）】(P.68) をご覧ください。

困ったときには(警告・表示)

表示に関することで困ったときにお読みください。

Q14. インストール中にファイアウォール製品などから、警告が表示されました。

A14. 「i-フィルター」は、インストール中および使用中にインターネットに接続する必要があります。ファイアウォール

製品が警告を表示した場合、下記の名称については、すべて許可・つねに許可するように設定をしてください。

- ・「i-フィルター 5.0」で始まるすべてのソフトウェア(プログラム)、ifp5GC(.exe)、ifp5control_maneger(.exe)
ファイアウォールの設定はファイアウォールの取扱説明書などをご覧の上、ご利用のメーカー様へお問い合わせください。

Q15. 利用期限切れのメッセージが表示される

A15. 利用期限が過ぎてしまうと「i-フィルター」の機能が使えなくなってしまう。ぜひ、「i-フィルター」を継続利用いただき、安全で快適なインターネットライフをお楽しみください。
継続利用について詳しくは【利用期限の継続手続きをする】(P.102) をご覧ください。

Q16. バージョンがわからない

A16. バージョン情報を見る方法については【バージョン情報を見る】(P.95) をご覧ください。

教えて! 「i-フィルター」

「i-フィルター」について詳しく知りたいときにお読みください。

Q17. フィルタリングって何?

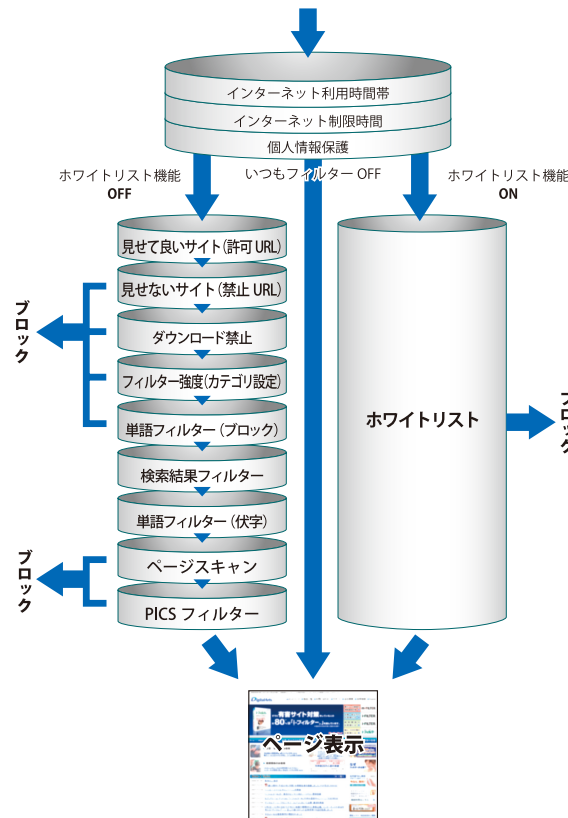
A17. 「i-フィルター」では、インターネット上のホームページの内容を判別して、表示を許可したりブロックしたりすることをフィルタリングと呼んでいます。

Q18. どのような項目をフィルタリングしているの?

A18. 弊社が分類したカテゴリに該当するサイトにフィルタリングします。そのサイトがどのカテゴリに属し、どの強度に該当するのかという格付け基準は、各国のメディアに関する研究結果や事例などをふまえ、デジタルアーツ株式会社が独自に定めたものを使っています。詳しくは【フィルターの 카테고리 一覧】(P.119) をご覧ください。

Q19. 複数のフィルターの設定ができる「i-フィルター」、フィルタリングする順番は?

A19. 「i-フィルター」では、サイトをブロックするフィルターとサイトを表示するフィルター(ホワイトリスト)を同時にかけることはできません。ホワイトリスト機能を有効にすると、インターネットタイマーと個人情報保護で以外のすべてのフィルターは無効となります。「i-フィルター」でフィルタリングする順番は、以下のとおりです。



Q20. 規制対象サイトはいつどのように更新されるの？

A20. どのサイトをフィルタリングするかを決めているのは、フィルターデータです。「i-フィルター」のフィルターデータは、日本語・英語・中国語圏の専任スタッフが完全目視で随時収集・強化しています。更新されたフィルターデータは、データ更新機能によりダウンロードしてデータ更新できます。お好きなときに手動でデータ更新したり、自動更新機能を使って指定した期間ごとにデータ更新を行ってください。なお、データ更新の対象はフィルターデータのほかに、「i-フィルター」のプログラムデータがあります。より高いフィルタリング精度を保つため、自動更新機能をオンにすることをお勧めします。詳しくは【「i-フィルター」を最新の状態にする（データ更新）】(P.87) をご覧ください。

Q21. インターネットを使っていないときに「i-フィルター」を起動したらどうなるの？

A21. インターネットを使っていないとき、または接続していないときに、「i-フィルター」を起動しても、何も起こりません。また、動作に問題は起こりません。インターネットに接続されると、フィルタリングを行います。

Q22. 管理パスワードを設定しなくても使えるの？

A22. 管理パスワードは設定しなくても使えますが、セキュリティ上、設定することをお勧めします。

Q23. インターネットを使う制限時間（インターネット利用タイマー）はどのようにカウントされているの？

A23. インターネット利用タイマーは、ブラウザを起動してなんらかのサイトに最初にアクセスしたときからカウントが開始されます。また、ブラウザを閉じたときにカウントが終了します。なお、[1日のインターネット制限時間の設定] で設定時間を再設定したときにカウントされた時間は元にもどります。

Q24. インターネットに接続していない状態でサイトを読んでいる場合（キャッシュに残ったサイトを見ているだけ）もインターネットアクセス時間制限にカウントされますか？

A24. ブラウザーを起動している間は制限時間がカウントされます。

Q25. ゲームのカテゴリを規制しているのに、子どもがゲームで遊んでいるようだ。

A25. 「i-フィルター」はインターネットブラウザーを利用するときにフィルタリングを行います。ソフト自体の動作やブラウザーを利用しないソフトの通信は遮断できません。

Q26. 「i-フィルター」の機能をオフにすることといつもフィルター OFF はどう違うの？

A26. 『「i-フィルター」をオフ』は、[OFF] ボタンをクリックして設定します。フィルターの設定は一時的にすべて無効になり、インターネットアクセスや情報発信に制限をかけることができなくなります。「i-フィルター」を再起動することで再び [ON] になります。
『いつもフィルター OFF』は、フィルター強度設定から [いつもフィルター OFF] ボタンをクリックして設定します。インターネットタイマー、個人情報の保護、ブロック画面の設定以外のフィルター設定は無効となります。「i-フィルター」をオフにする操作は【「i-フィルター」をオフにする】(P.12)、すべてのサイトを見ること許可する設定は【個人情報を守りつつインターネットのアクセスを許可する】(P.26) をご覧ください。

Q27. いつも見たいサイトがブロックされてしまうので、カスタマイズ（変更）したい。

A27. ブロックされている理由（カテゴリ）からそれぞれの内容を確認して設定を変更しましょう。ブロック画面にカテゴリが表示されていない場合には、ブロックしている理由を表示するように設定を変更してください。詳しくは【ブロック画面にオリジナルのコメントを設定する】(P.67) をご覧ください。

・書き込みブロック

特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。掲示板、ブログ、SNS、チャットなど、コミュニケーションカテゴリ（Webメール、ホスティングを除く）に属するサイトへの書き込みを許可する場合は、書き込みブロックを無効にしてください。
詳しくは、【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】(P.24) をご覧ください。

・購入ページブロック

特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。
詳しくは【見せて良いサイトを登録する】(P.27) をご覧ください。
ショッピングカテゴリ、または金融・経済カテゴリ（投資情報、不動産を除く）に該当するサイトに属するサイトへの購入操作を許可する場合は、購入ページブロックを無効にしてください。
詳しくは【ショッピングを禁止する】(P.25) をご覧ください。

・見せたくないサイト

見せたくないサイトとして登録されていますので、その設定を変更してください。
詳しくは【見せたくないサイトを削除する】(P.37) をご覧ください。

・インターネットタイマー

インターネットタイマーで利用可能な時間帯の設定または1日のインターネット制限時間の設定がされています。時間帯を変更する場合は【インターネットを使う時間帯を制限する】(P.39) をご覧ください。

・個人情報保護

直前で入力した文字列が保護する個人情報として登録されていますので、その設定を変更してください。
詳しくは【個人情報を守る（個人情報保護）】(P.41) をご覧ください。

・単語フィルター

そのサイトに記載されている単語が見せたくない単語として登録されています。
一時的にフィルターをオフにしてサイトの内容を確認してから、設定を変更してください。
詳しくは【見せて良いサイトを登録する】(P.27) をご覧ください。
見せたくない単語を伏字表示させたり、単語フィルターを無効にしてください。
詳しくは【見せたくない単語を設定する（単語フィルター）】(P.47) をご覧ください。

・ページスキャン

特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。
詳しくは【見せて良いサイトを登録する】(P.27) をご覧ください。
サイトの内容を自動的に判断してブロックさせたくない場合は、ページスキャンを無効にしてください。
詳しくは【サイトの内容を自動的に判断する（ページスキャンの設定）】(P.56) をご覧ください。

- PICS フィルター

特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。

詳しくは【見せて良いサイトを登録する】(P.27) をご覧ください。

PICS ラベルが付いているかどうかで判断してブロックさせたくない場合は、PICS フィルターを無効にしてください。詳しくは【規制信号のあるサイトを見せたくない (PICS フィルター)】(P.57) をご覧ください。

- ダウンロード禁止

特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。

詳しくは、【見せて良いサイトを登録する】(P.27) をご覧ください。

ダウンロードしたいファイルの拡張子が登録されていますので、その設定を変更してください。

詳しくは、【ファイルをダウンロードさせない (ダウンロード禁止)】(P.58) をご覧ください。

- ホワイトリスト

ホワイトリストの設定を変更してください。詳しくは、【ホワイトリストを登録する】(P.69) をご覧ください。

- その他カテゴリ名称が表示されている

カテゴリの内容については【フィルターのカテゴリ一覧】(P.119) をご覧ください。

特定のサイトのみブロックしたくない場合は、見せて良いサイトとして登録してください。

詳しくは【見せて良いサイトを登録する】(P.27) をご覧ください。

表示されているカテゴリすべて見せて良い場合には、設定を変更してください。

詳しくは【フィルター強度を設定する】(P.23) をご覧ください。

フィルターのカテゴリー一覧

フィルター強度設定画面でブロックしたいカテゴリーにチェックマークを付けて指定すると、フィルターを細かく設定できます。カテゴリーにチェックマークを付けると、該当するサイトがブロックされるよう設定されます。詳しくは【フィルター強度を設定する】(P.23)をご覧ください。

カテゴリーの種類と説明は、以下のとおりです。

カテゴリー		説明
アダルト	性行為・性風俗	過激なヌードや性行為の表現、性風俗店
	ヌード・アダルトグッズ	ヌードの表現、アダルトグッズ
	グラビア	水着・下着姿など露出度の高い姿態の表現
	性教育・性の話題	性の話題、性教育、避妊、性病
犯罪・暴力	グロテスク	過激な暴力などの表現・画像
	犯罪・武器	犯罪テクニック、爆弾、凶器、傷口
	不適切な薬物使用	麻薬・脱法ドラッグ、薬物・健康食品の乱用促進や個人輸入代行
	カルト・テロリズム	テロ組織・カルト集団、破壊活動に関わったとされる団体の情報
コミュニケーション	出会い	出会い系サイト、メル友募集、恋愛・結婚の斡旋
	掲示板	掲示板、掲示板専用レンタルサーバー
	ブログ	ブログ、ブログ専用レンタルサーバー
	SNS	会員同士のつながりを促進するコミュニティサイト
	会員向け掲示板	会員向け Q&A型コミュニティサイト
	ソーシャルブックマーク	インターネットを介したブックマーク共有サービス
	ウェブメール	ブラウザでのメール送受信、メール転送サービス
	チャット	チャット、チャット専用レンタルサーバー
	メールマガジン	メールマガジン配信サイト
ホスティング	個人ホームページスペース、ホスティング・レンタルサーバー	
エンターテイメント	芸能	芸能プロダクション、タレント公式サイト・ファンサイト、芸能ニュース
	映画・演劇	映画製作・配給会社、作品、劇団、映画俳優
	音楽	音楽レーベル、アーティスト公式サイト・ファンサイト、楽曲販売、歌詞検索
	TV・ラジオ	放送局、番組
	漫画・アニメ	漫画家公式サイト、作品、ウェブ漫画、漫画ダウンロード販売
	動画・音楽配信	インターネットラジオ、インターネットTV、動画・音楽配信
	ゲーム	ゲーム会社公式サイト、ゲーム情報、ブラウザゲーム
	スポーツ	競技団体・スポーツメーカー・選手公式サイト スポーツニュース
ショッピング	占い・超常現象	占い、UFO、心霊現象、都市伝説
	ショッピング	ショッピングサイト、商品情報検索・比較
	オークション	ネットオークション
	コンピュータ用品	パソコンメーカー直販サイト
不正 IT技術	オフィス用品	オフィス用品メーカー直販サイト
	不正アクセス技術	ハッキング・クラッキングの技術
	ウイルス技術情報	ウイルスやスパイウェアなどのプログラム配布・製作技術
	違法ソフト・反社会行為	違法ソフトウェアコピー、シリアル配布などの権利侵害行為、フィッシング詐欺
地域	クラッシャーサイト	ブラウザを介してパソコンに悪影響を及ぼすサイト
	旅行・観光	旅行・観光情報、旅行代理店
	タウン情報	地域ポータル、地域限定の情報検索サイト
	アミューズメント施設	遊園地、遊戯場、テーマパーク、多目的施設
	旅客鉄道	公共交通機関、道路港湾施設、交通運行情報
仕事	グルメ	飲食店情報紹介・検索
	求人	求人情報サイト、再就職支援、人材派遣

カテゴリ		説明
金融・経済	投資情報	金融・株式・投資商品の紹介、取引のアドバイス
	オンライントレード	オンライン金融商品取引
	消費者金融	オンラインキャッシング、カードローン、銀行・信販系の個人向け金融
	インターネット銀行	インターネット銀行、オンラインでの銀行取引
	不動産	不動産物件の賃貸・販売情報
ギャンブル	ギャンブル	競馬・競輪・競艇・オンラインカジノ・パチンコ、その他の賭博行為
	懸賞・くじ	宝くじ・ナンバーズ・ロトくじ、懸賞サイト(期間限定は除く)
アルコール・タバコ	アルコール・タバコ	タバコ・酒造メーカー、成人嗜好品
情報サービス	ニュース	ニュースサイト、ニュース検索
	ポータル	総合情報サイト
	検索エンジン	ウェブ検索サービス
	画像・動画検索エンジン	画像・動画・音声ウェブ検索サービス
ツール	総合ソフトウェアダウンロード	ソフトウェア紹介・配布総合サイト
	オンラインストレージ	インターネットを介したファイル保存サービス
	アップローダー	不特定多数ユーザーでのファイル共有サイト、ファイル共有ソフトウェア情報
	ウェブ翻訳・URL変換	ウェブサイト翻訳
	匿名アクセス・プロキシ	プロキシサーバー、匿名メール発信、匿名化を目的としたアクセス中継
宗教	宗教	宗教全般
主張	誹謗・中傷	誹謗、中傷、糾弾、差別
	主張	個人的嗜好、対立を招く恐れのある表現
	いたづら	下品な表現、ドッキリ、カンニング
行政・教育	政府・自治体	政府・自治体の運営するサイト
	学校・教育施設	学校・公的教育機関の運営するサイト
	軍事・防衛関連	国軍などの公的な軍事・防衛組織、軍事・防衛産業企業の公式サイト
その他	緊急	緊急性・事件性の高いサイト
	特殊	今ある他のカテゴリに属さない話題性・フィルタリング需要の高いサイト

用語集

「i-フィルター」で使う用語を説明しています。

■ PICS

PICS(自主規制信号)とは、サイト作成者がそのサイト内に自主的に発信している規制信号のことです。

■ PICS フィルター

【規制信号のあるサイトを見せたくない(PICSフィルター)】(P.57)をご覧ください。

■ URL

インターネット上の情報がどこにあるかを表すものです。サイトにアクセスするには、URLを指定します。

■ ウェブサイト (サイト)

ひとまとまりに公開されているウェブページの集まりやそのインターネット上での場所のことを指します。

■ ウェブページ

インターネット上で公開されている文書のことです。ウェブブラウザに一度に表示されるデータのまとまりのことを指します。

■ Windows アカウント

Windows のユーザーアカウントのことです。ユーザー アカウントを使うと、そのパソコンを使う人それぞれが、個別のファイルを保存したり、見た目などのさまざまな設定を個別に持つことができます。

■ Windows アカウント連携

【「i-フィルター」の利用者とは】(P.15)、【新しい利用者を作る】(P.15)をご覧ください。

■ 「アクセス禁止」画面

【ブロック画面の設定をする(ブロック画面)】(P.64)をご覧ください。

■ インターネットタイマー

【インターネットを使う日時を制限する(インターネットタイマー)】(P.38)をご覧ください。

■ 解読キー

【困ったときには(管理パスワード)】(P.111)をご覧ください。

■ 書き込みブロック

【掲示板・ブログへの書き込みを禁止する】(P.24)をご覧ください。

■ 拡張子

ファイルの種類を示す文字です。ファイル名の最後に付いている「.(ドット)」の後の文字が拡張子に当たります。例えば「.txt」(テキストファイル)や「.jpg」(画像ファイル)などがあります。

■ カテゴリ

【フィルター強度を設定する】(P.23)、【フィルターのカテゴリー一覧】(P.119)をご覧ください。

■ かんたんナビゲーション

【かんたんナビゲーションで操作がすぐわかる】(P.13)をご覧ください。

■ 管理パスワード

【「i-フィルター」設定用の管理パスワードを変える】(P.90)、【困ったときには(管理パスワード)】(P.111)をご覧ください。

■ 既定で起動する利用者

【起動時の利用者を選ぶ】(P.19)をご覧ください。

■ キャッシュ

キャッシュ(一時ファイル)とは、ウェブブラウザで一度表示したサイトをパソコンに一時的に蓄えておくことです。これによって、次から同じサイトを表示するときにインターネット上にあるサイトではなくパソコンの中の一時ファイルを読み込むことで表示を速くすることができます。代表的なウェブブラウザではこのような機能を標準で持っています。

■継続利用

【利用期限の継続手続きをする】(P.102) をご覧ください。

■検索結果フィルター

【見せたくないサイトを検索結果に表示させない(検索結果フィルター)】(P.46) をご覧ください。

■購入ページブロック

【ショッピングを禁止する】(P.25) をご覧ください。

■個人情報

個人を識別できる情報のことです。氏名、住所、電話番号、生年月日はもとより、勤務先や所属学校名、クレジットカード番号など複数の情報を組み合わせれば個人を識別できる情報も個人情報に当たります。

■個人情報保護

【個人情報を守る(個人情報保護)】(P.41) をご覧ください。

■シリアル ID

【バージョン情報を見る】(P.95) をご覧ください。

■設定画面

【設定画面を表示する】(P.9) をご覧ください。

■ダウンロード

ダウンロードとは、インターネットなどから自分のパソコンに情報を取り寄せ、ファイルに保存することです。ダウンロード(Download)は、略してDLと表記されることもあります。

■通知領域 (タスクトレイ)

通常、Windowsのデスクトップ画面右下に表示される場所のことです。時刻表示やWindows上でつねに動いているソフトウェア(プログラム)のアイコンが表示されています。

■データ更新

【「i-フィルター」を最新の状態にする(データ更新)】(P.87) をご覧ください。

■認証

シリアル IDが有効かどうか、ライセンスを管理しているサーバーに確認することです。

■バージョン情報

【バージョン情報を見る】(P.95) をご覧ください。

■ファイアウォール

ファイアウォール(防火壁)とは、インターネット(外部)からパソコンなど(内部ネットワーク)への不正なアクセスを防ぐためのものです。

■フィルター ON/OFF

【フィルターをオン/オフする】(P.12) をご覧ください。

■フィルターデータ

【「i-フィルター」を最新の状態にする】(P.87) をご覧ください。

■フィルター強度 (カテゴリセット)

【フィルターを設定する】(P.11) をご覧ください。

■伏字

【見せたくない単語を伏字にする】(P.47) をご覧ください。

■プロキシ (プロキシサーバー)

企業など、直接インターネットに接続できないコンピューターの「代理」としてインターネット接続を行う機器または、ソフトウェアのことです。ご家庭では必要ありません。

■プログラムデータ

【「i-フィルター」を最新の状態にする(データ更新)】(P.87) をご覧ください。

■ブロック

【ブロック画面の設定をする(ブロック画面)】(P.64) をご覧ください。

■「ページが見つからない」画面

【ブロック画面の設定をする(ブロック画面)】(P.64) をご覧ください。

■ページスキャン

【サイトの内容を自動的に判断する(ページスキャンの設定)】(P.56) をご覧ください。

■ホスト名

ネットワークに接続されたコンピューターを識別しやすいようにつける名前のことです。
例えば「http://www.daj.jp/ask/」という URL の場合には「www.daj.jp」がホスト名になります。

■ホワイトリスト

【登録したサイトだけを見せる(ホワイトリスト)】(P.68) をご覧ください。

■見せて良いサイト

【見せて良いサイトを設定する(許可 URL)】(P.27) をご覧ください。

■見せたくないサイト

【見せたくないサイトを設定する(禁止 URL)】(P.32) をご覧ください。

■ライセンス情報

【バージョン情報を見る】(P.95) をご覧ください。

■利用期限

【「i-フィルター」の利用期限について】(P.100) をご覧ください。

■利用者

【利用者について】(P.15) をご覧ください。

■履歴

【インターネット利用状況を知ろう】(P.75) をご覧ください。


お問い合わせ

お困りのときに、【Q&A】(P.111) やデジタルアーツ株式会社のサポート情報をご覧になっても解決できないときは、サポートセンターにお問い合わせください。

■ お問い合わせの前に

お客さまからよくお寄せいただく質問については、デジタルアーツ株式会社のウェブサイト (<http://www.daj.jp/>) のサポートサイトに掲載しています。

お問い合わせの前に、お客さまのお問い合わせの内容に関する情報があるかどうかご確認ください。

通知領域(タスクトレイ)の  をクリックし、[サポート] → [オンラインサポート情報] をクリックすると、サポート情報をご覧いただけます。



補足

Windowsのスタートボタンから[すべてのプログラム] (または[プログラム]) → [i-フィルター 5.0] → [サポート] → [オンラインサポート情報] をクリックしても同様の操作です。

■ お問い合わせの際にご用意いただくもの

サポート窓口にご連絡いただく前に、あらかじめ以下の項目について確認し、お伝えいただくと、的確な調査や回答を行いやすくなります。このページを印刷して以下のメモ欄に書き込んでいただき、ご利用ください。

ご用意いただくもの	メモ	
「i-フィルター」のシリアルID (例：ABCD-EFGHIJKLMN-OPQR)		
パソコンのメーカー名/機種名 (例：A社製 PC-123)		
お使いのWindowsのバージョン (例：Windows Vista Home Premium)		
お使いのブラウザの名前とバージョン (例：Internet Explorer 7)		
具体的なお困りの症状 (エラー発生日、エラーメッセージなど)		
「i-フィルター」のバージョン ※バージョンの確認方法について 詳しくは、【バージョン情報を見る】(P.95) をご覧ください。	プログラムバージョン	
	サービスコード	
	最終認証日時	年 月 日 時 分 秒
	利用期限	/ /

デジタルアーツ株式会社 サポートセンター

お問い合わせフォーム: <http://www.daj.jp/ask/>

電話受付: 0570-00-1334 10:00～18:00

※ 弊社指定休業日は、お電話の受付はお休みさせていただいております。また、お問い合わせフォームやE-Mailでのお問い合わせも営業日に順次ご回答させていただいております。

「i-フィルター 5.0」操作マニュアル
2011年 11月 14日 第7版

デジタルアーツ株式会社 <http://www.daj.jp/>
